

第19回 都城市市民意識調査

調査結果報告書

令和7年11月

総合政策部 秘書広報課

目次

第1章	調査の概要	1
第2章	調査結果の分析	
1	回答者の属性	2
2	市の取り組みについて	3
3	住みやすさについて	13
4	市の情報について	18
5	日本のひなた宮崎国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について	19
6	霧島酒造スポーツランド都城について	20
7	スポーツについて	21
8	国際交流について	22
9	男女共同参画について	23
10	環境問題について	24
11	使用済小型家電製品のリサイクルについて	26
12	郷土料理と食について	27
13	市の対外的PRについて	29
14	ふるさと納税について	30
15	中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」について	31
16	都城市物価高騰対策！暮らし応援券について	33
17	福祉の充実について	34
18	子育てについて	35
19	心の健康について	36
20	道路について	37
21	都城教育の日について	38
22	家庭の日について	39
23	文化財について	40
24	市議会活動について	41
25	各設問の「その他」の意見	別冊
第3章	資料	
1	全体集計	42
2	アンケート調査票	53

第1章 調査の概要

1 調査目的

- (1) 市民の意識を把握し、市政運営の基礎資料とする。
- (2) 市政に対する市民の関心と理解を深める。

2 調査方法

郵送自書式 もしくは Web回答方式

3 調査期間

令和7年6月12日(木)から令和7年7月16日(水)まで

4 調査対象

令和7年4月30日時点で都城市在住の満18歳以上の男女 3,000人（住民基本台帳より無作為抽出とした）

5 回答結果

1,197人（回答率 39.9%）
※7月31日到着分までを有効回答として分析

6 調査内容

- | | | |
|------------------------------|----------------------|------------|
| (1) 市の取り組み | (11) 郷土料理と食 | (21) 家庭の日 |
| (2) 住みやすさ | (12) 市の対外的PR | (22) 文化財 |
| (3) 市の情報 | (13) ふるさと納税 | (23) 市議会活動 |
| (4) 国民スポーツ大会・全国障害者
スポーツ大会 | (14) 中心市街地中核施設 | |
| (5) 霧島酒造スポーツランド都城 | (15) 都城市物価高騰対策暮らし応援券 | |
| (6) スポーツ | (16) 福祉の充実 | |
| (7) 国際交流 | (17) 子育て | |
| (8) 男女共同参画 | (18) 心の健康 | |
| (9) 環境問題 | (19) 道路 | |
| (10) 使用済小型家電製品のリサイクル | (20) 都城教育の日 | |

7 集計方法

階層別集計及びクロス集計

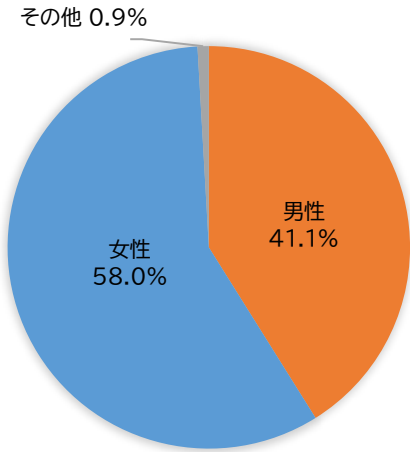
8 数値の端数処理方法

回答比率は、少数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、回答の合計が100%にならない場合がある。

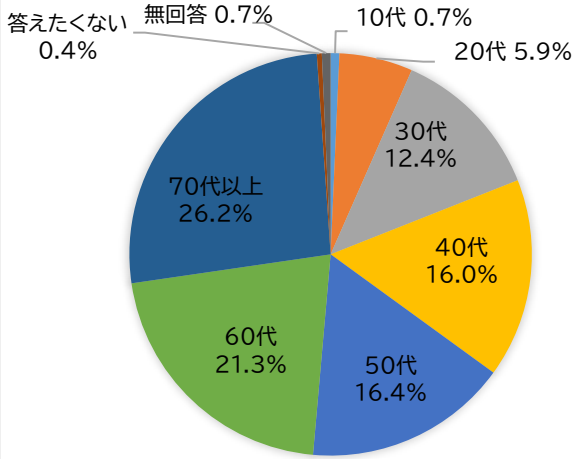
第2章 調査結果の分析

1 回答者の属性

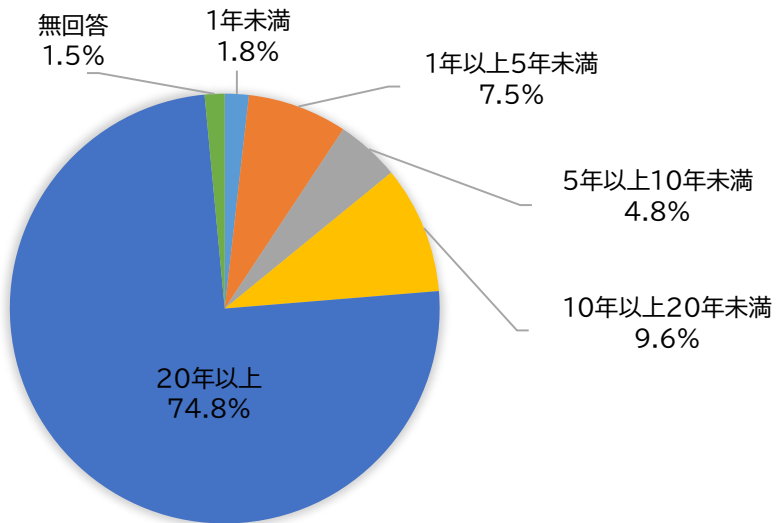
1-1 性別



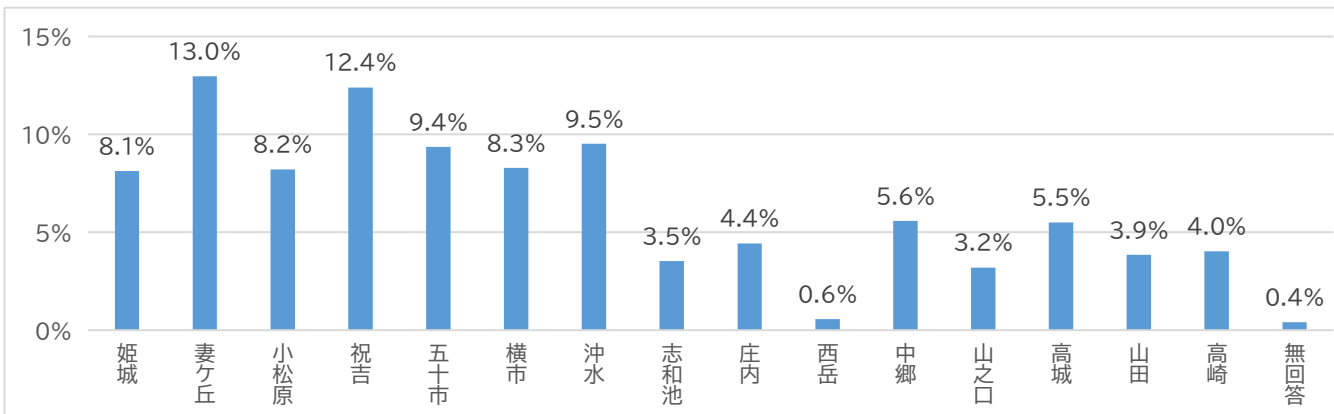
1-2 年代



1-3 居住年数



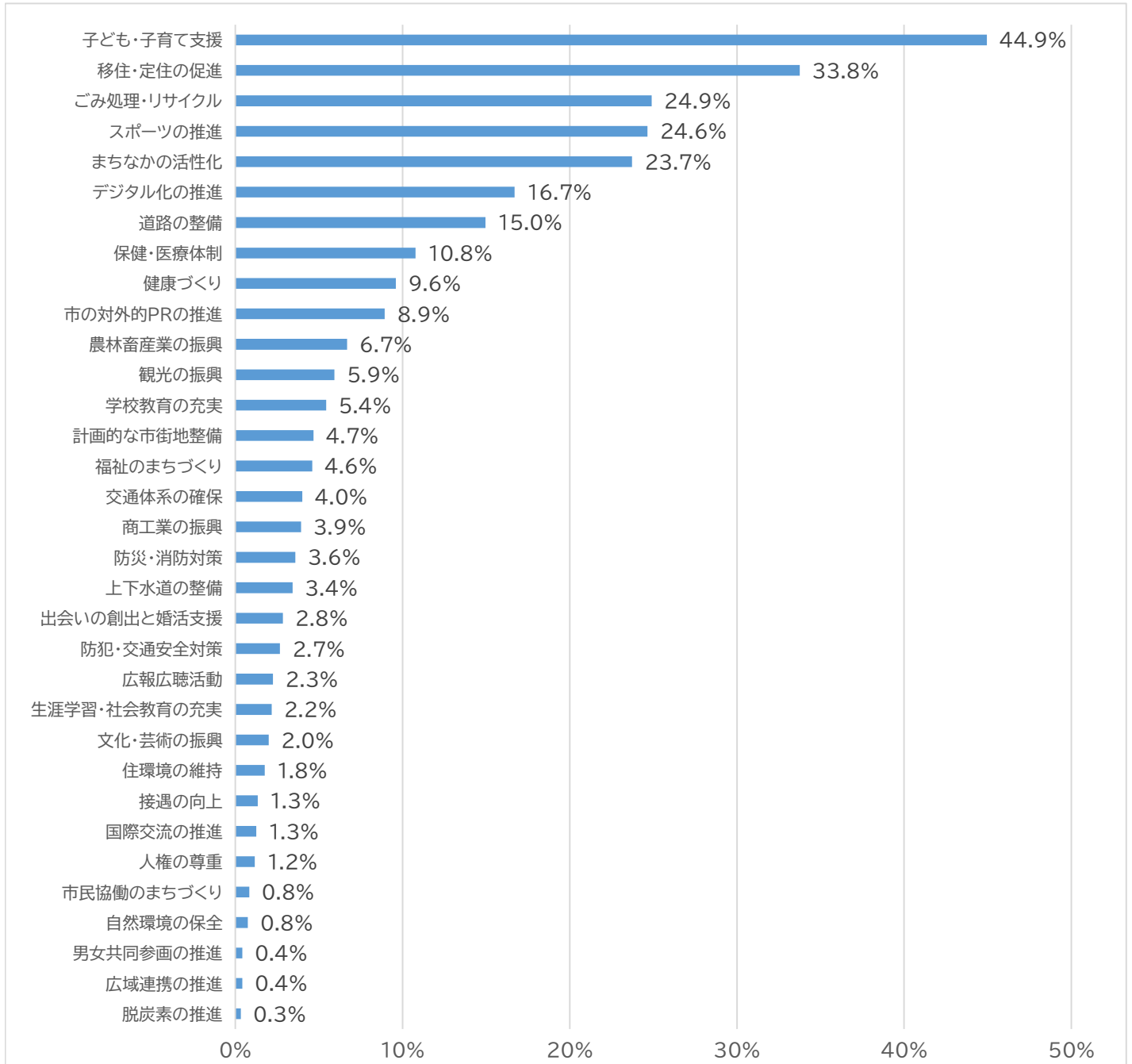
1-4 地区



2 市の取り組みについて

2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

全体



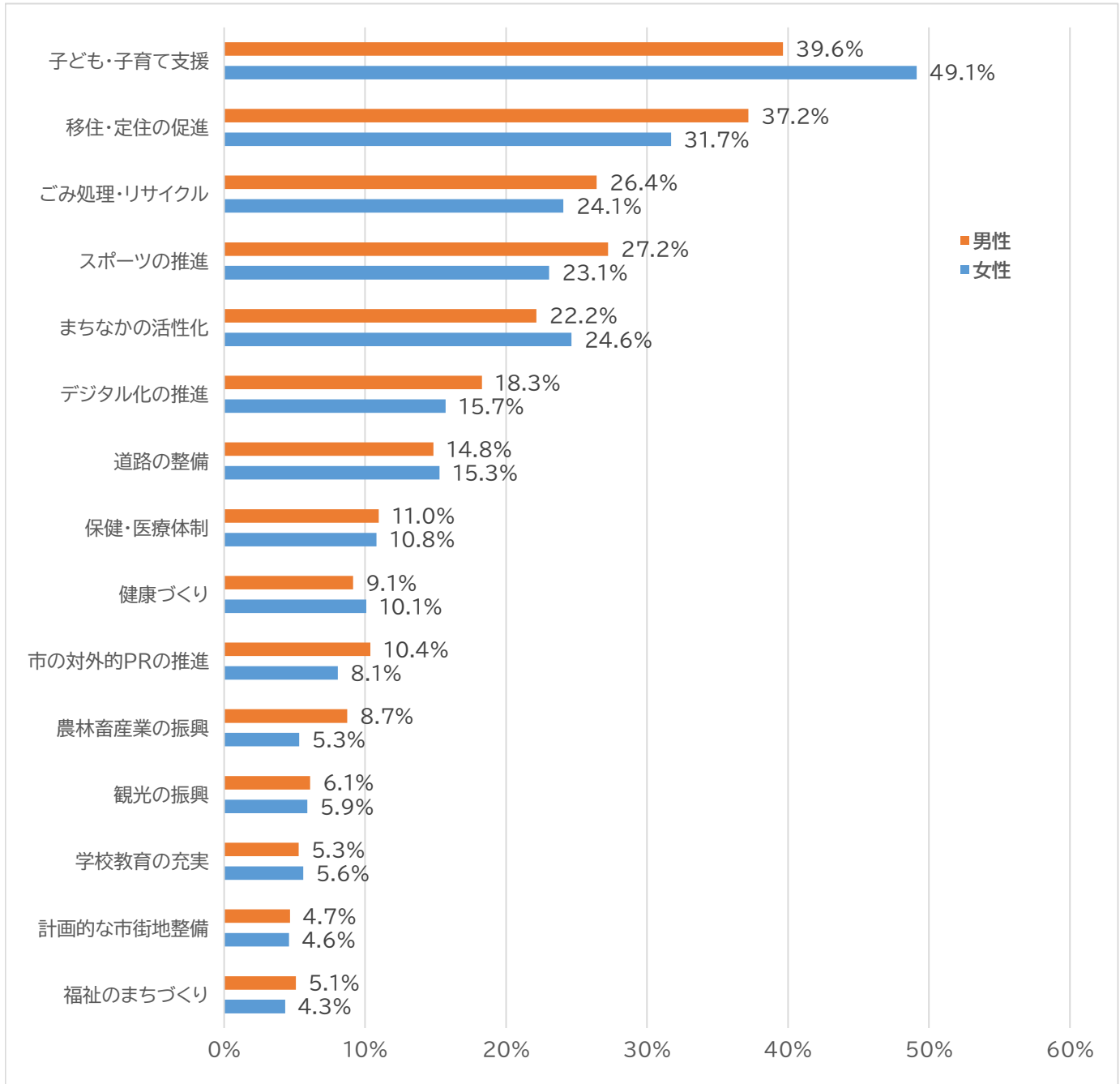
・「子ども・子育て支援」の項目が44.9%と最も高く、次いで「移住・定住の促進」33.8%、「ごみ処理・リサイクル」24.9%となりました。

・前回(令和6年度)の調査結果と比較すると、上位3つの項目は同様ですが、「スポーツの推進」は、昨年度7番目(10.8%)から4番目(24.6%)に上昇しています。

2 市の取り組みについて

2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

男女別 (総計上位15項目 *「無回答」除く)



・男女共に「子ども・子育て支援」が1番目という結果になりました。

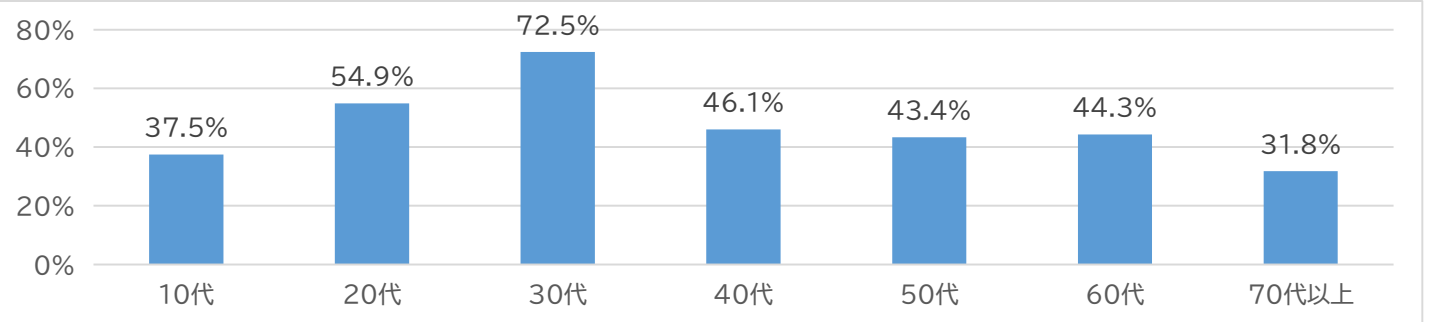
・男女で回答に差のある項目が複数ある結果となりました。男女による差が大きかった項目のうち、男性が高いものが「移住・定住の促進」で差が5.5ポイントとなっていて、女性が高い項目は、「子ども・子育て支援」で差が9.5ポイントでした。

2 市の取り組みについて

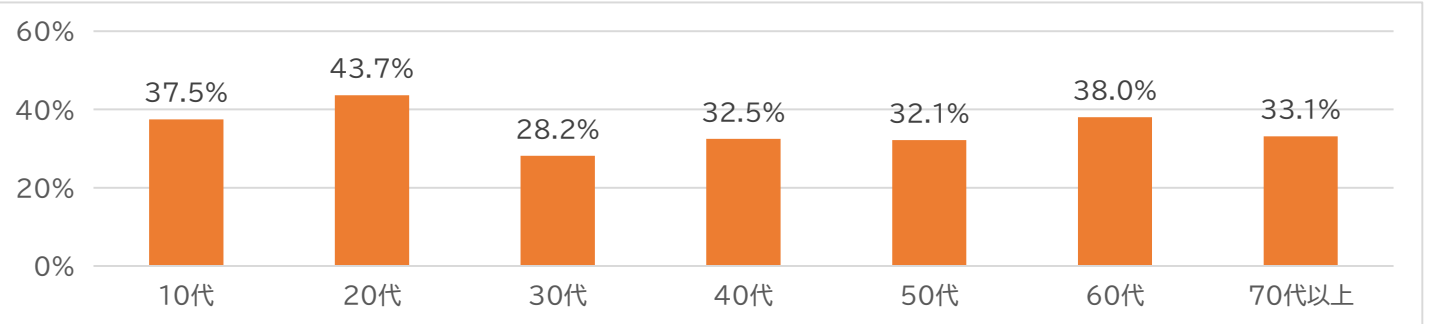
2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

年代別

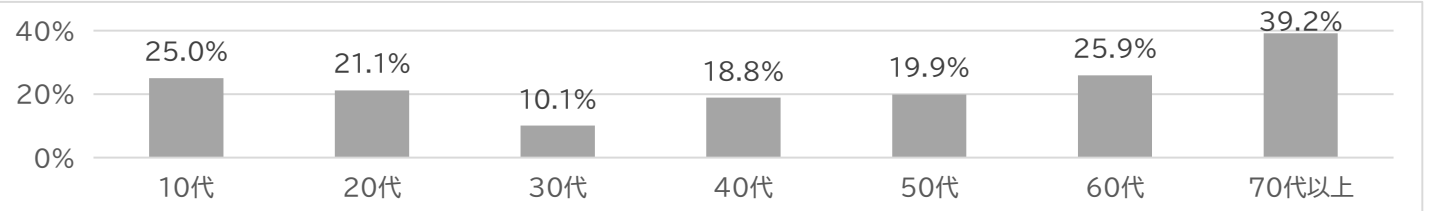
子ども・子育て支援



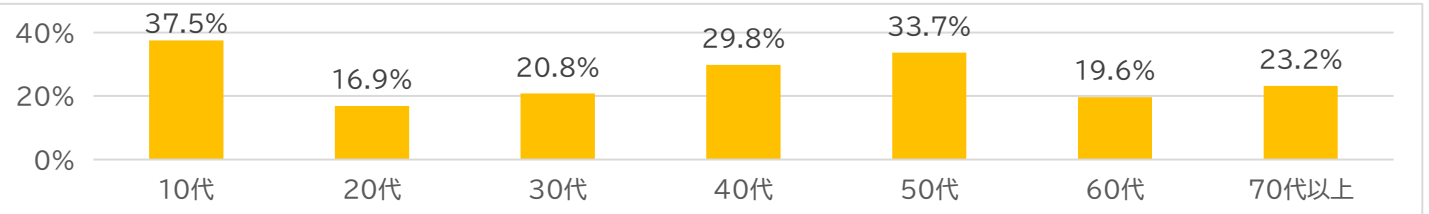
移住・定住の促進



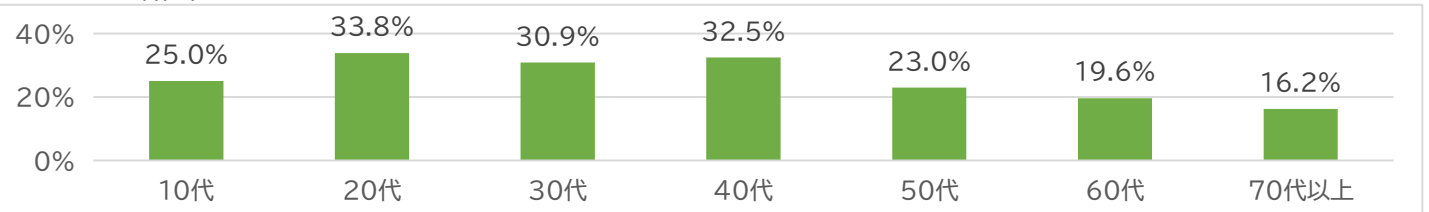
ごみ処理・リサイクル



スポーツの推進



まちなかの活性化

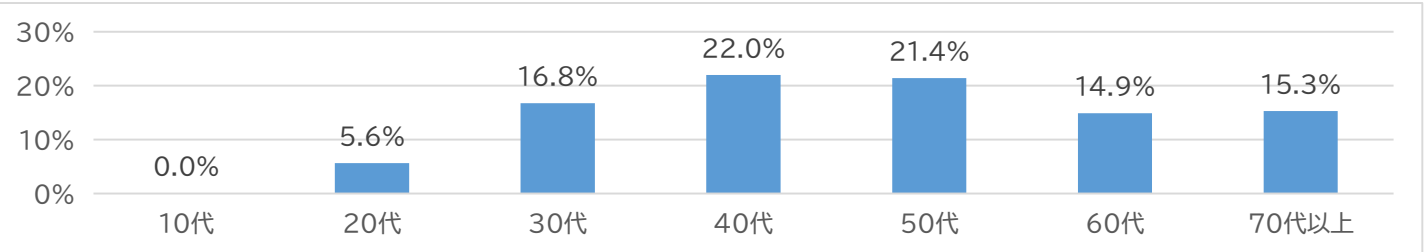


2 市の取り組みについて

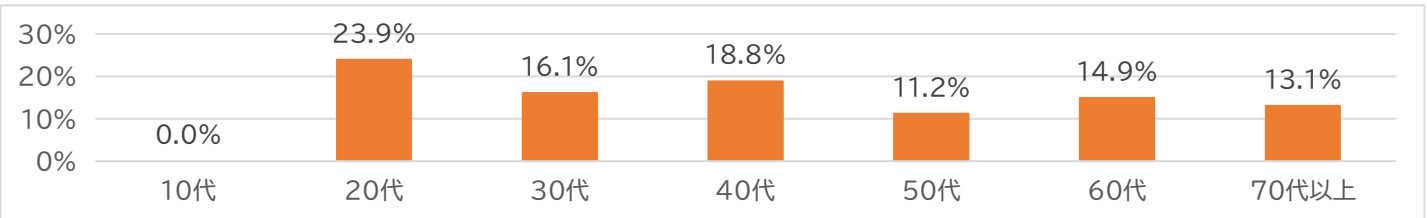
2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

年代別

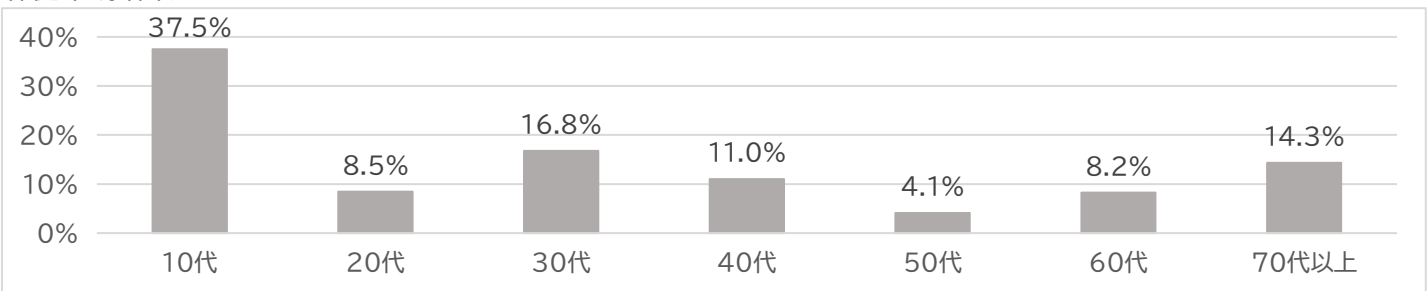
デジタル化の推進



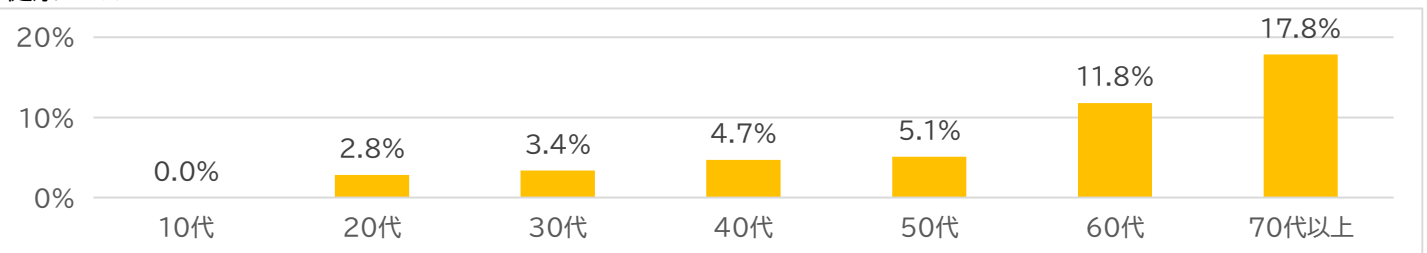
道路の整備



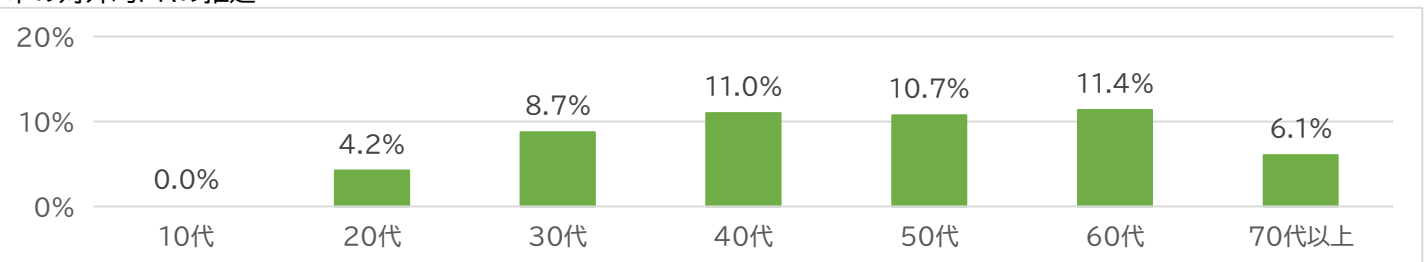
保健・医療体制



健康づくり



市の対外的PRの推進

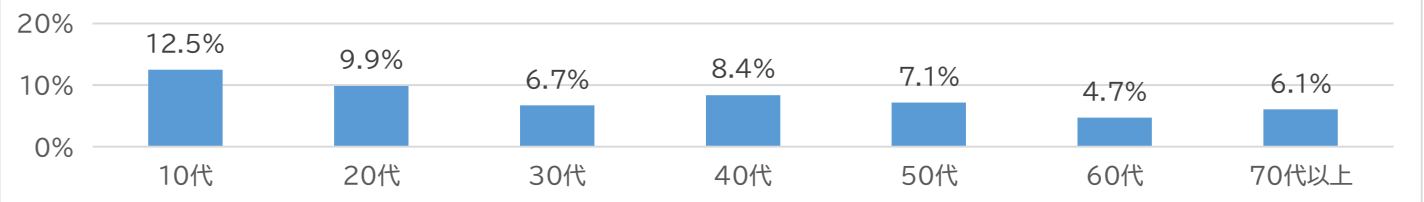


2 市の取り組みについて

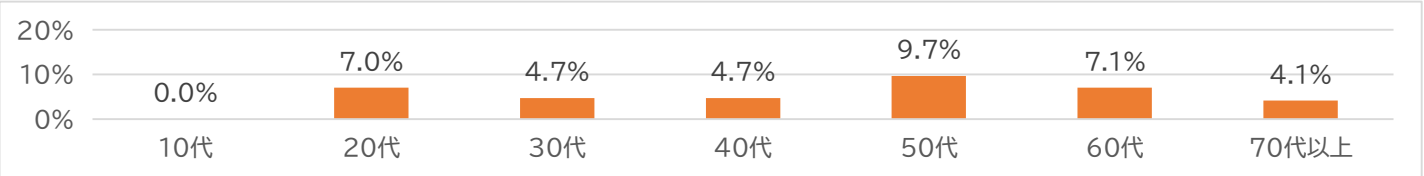
2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んでください。

年代別

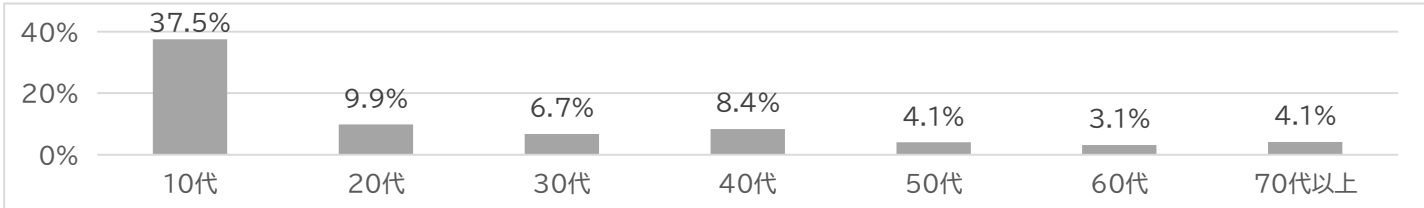
農林畜産業の振興



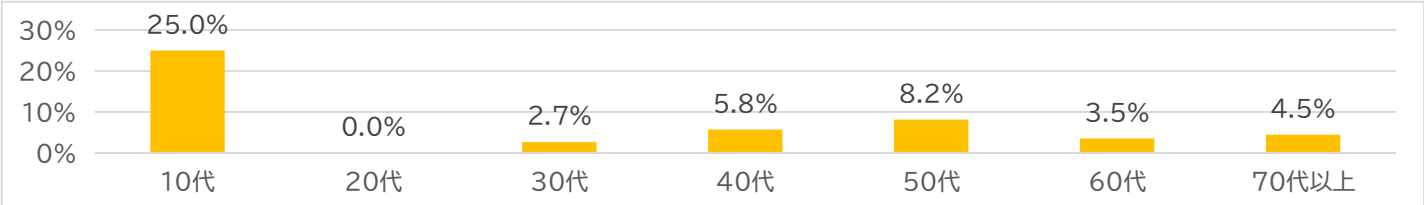
観光の振興



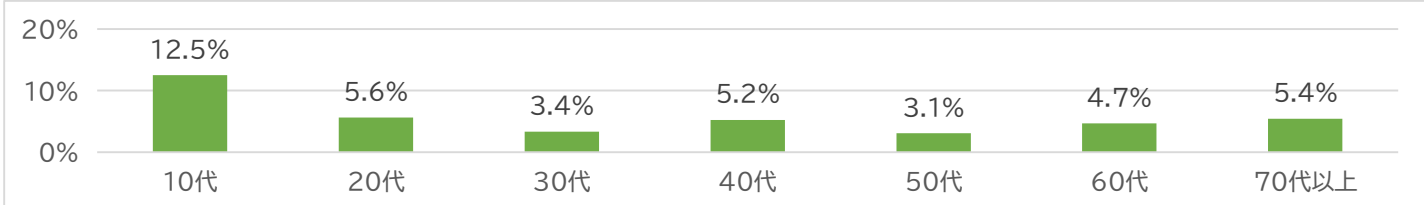
学校教育の充実



計画的な市街地整備



福祉のまちづくり



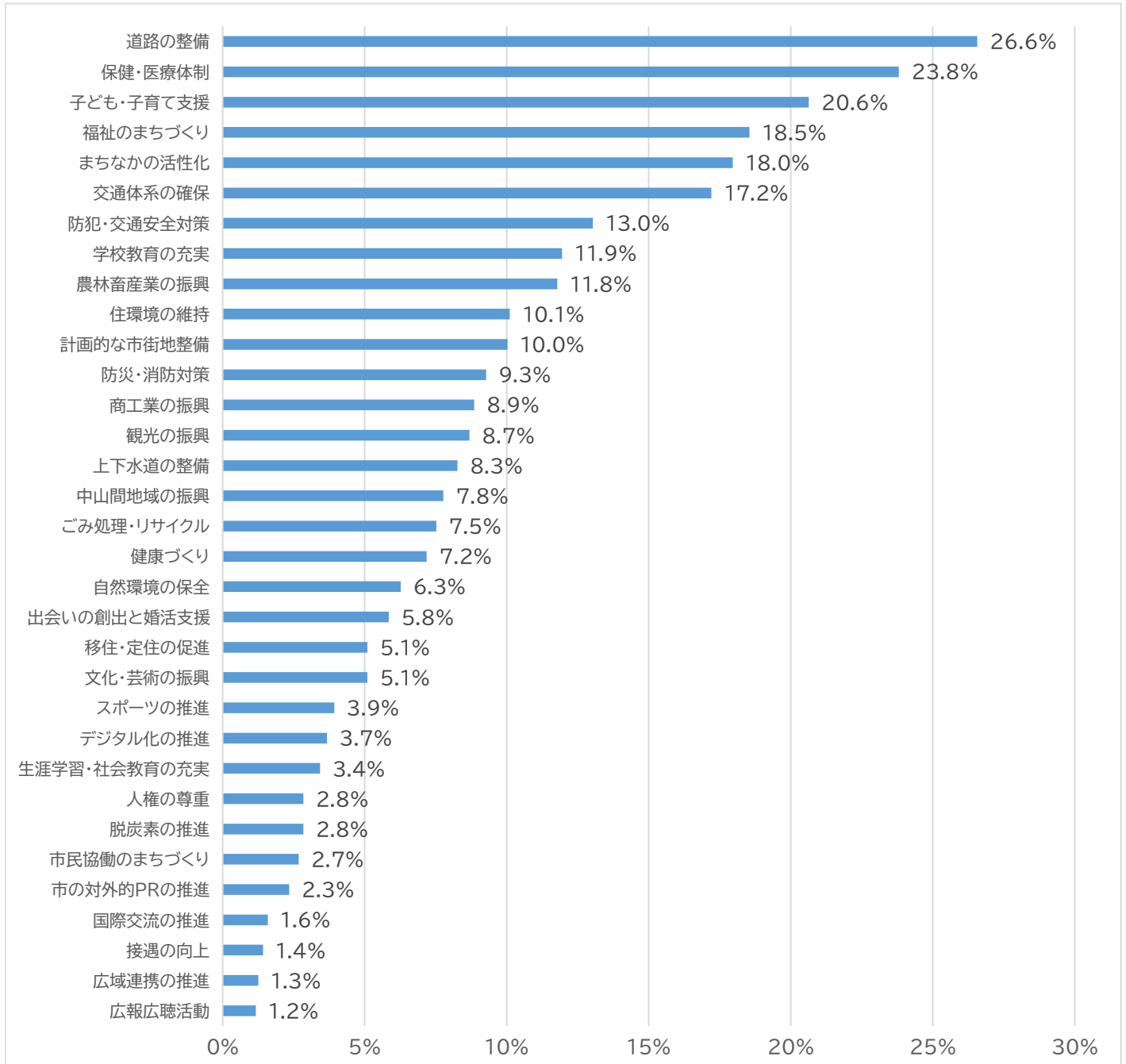
・年代別に見ると、「子ども・子育て支援」「移住・定住の促進」が幅広い年齢層から高い結果となりました。特に「子ども・子育て支援」は、20代、30代の回答が高い結果となりました。

・20代から40代では「まちなかの活性化」が30%を超え、60代以上では「ごみ処理・リサイクル」への関心が目立ちます。これらの結果は、各世代の生活様式や興味の違いが反映されています。

2 市の取り組みについて

2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

全体



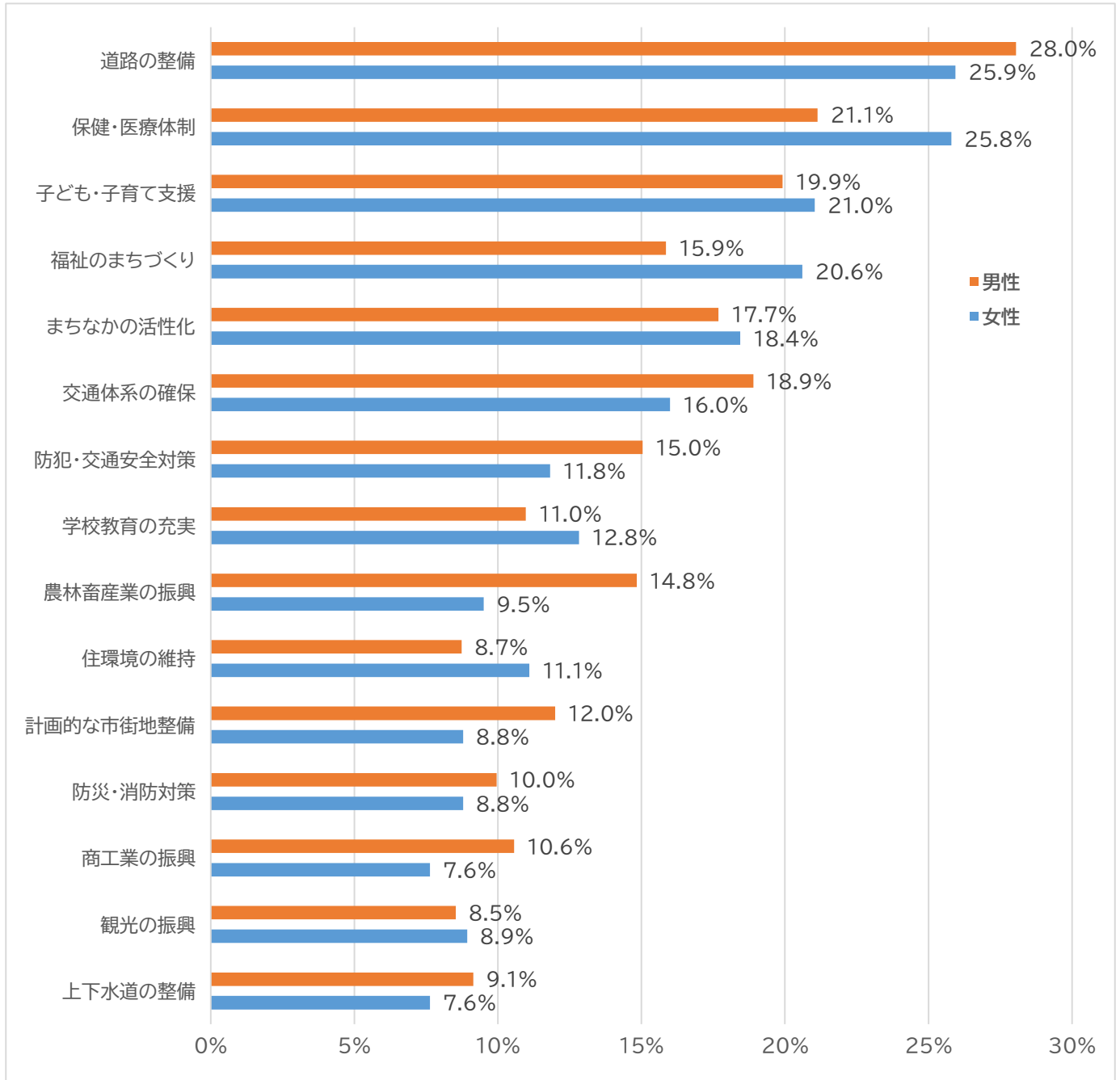
・「今後、もっと力を入れてほしいもの」として「道路の整備」が最も高い優先度を示し、次いで「保健・医療体制」「子ども・子育て支援」が続いています。回答者は、インフラ整備、健康・医療サービス、次世代育成に高い関心を持っていることが分かります。

・前項の「良くなっているもの」への回答と比較すると「子ども・子育て支援」は、改善が市民へ認識されつつも、さらなる充実が求められています。一方、「道路の整備」「保健・医療体制」は、今後の重点的な取組が期待されています。

2 市の取り組みについて

2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

男女別 (総計上位15項目 *「無回答」除く)



・全体でも1番に今後力を入れてほしいと回答のあった「道路の整備」については、男女別で見ても男性28.0%、女性25.9%と最も高い結果になりました。

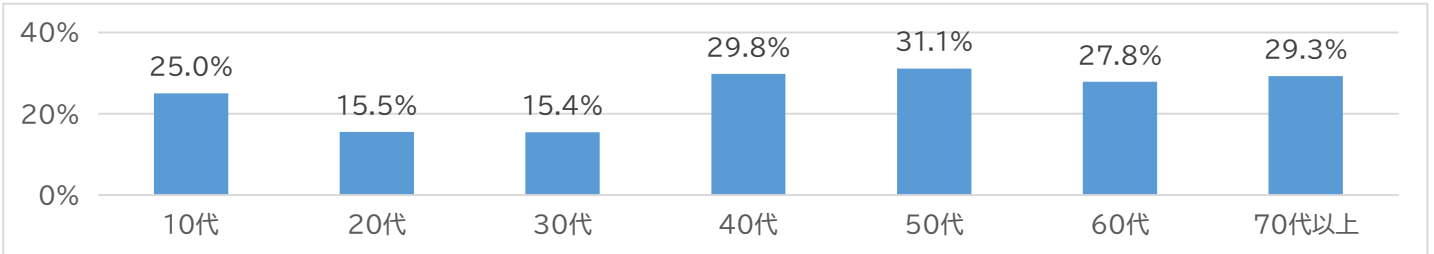
・男女による差が大きかった項目のうち、男性が高い項目は「農林畜産業の振興」で差が5.3ポイント、女性が高い項目は「福祉のまちづくり」で差が4.7ポイントでした。

2 市の取り組みについて

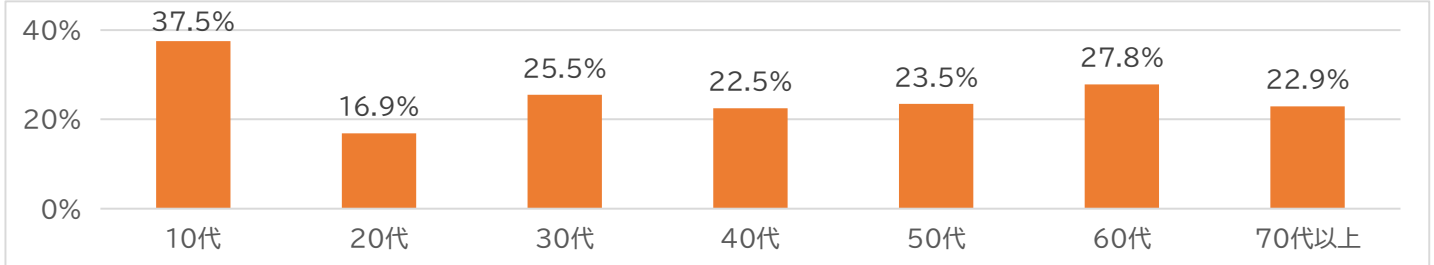
2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

年代別

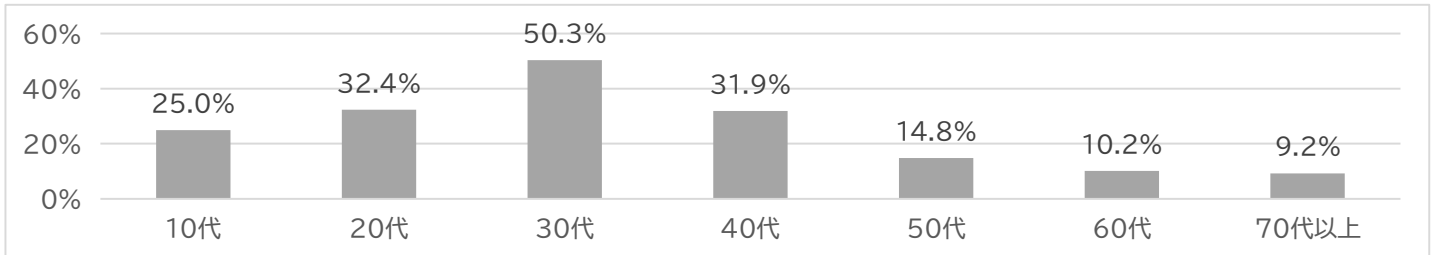
道路の整備



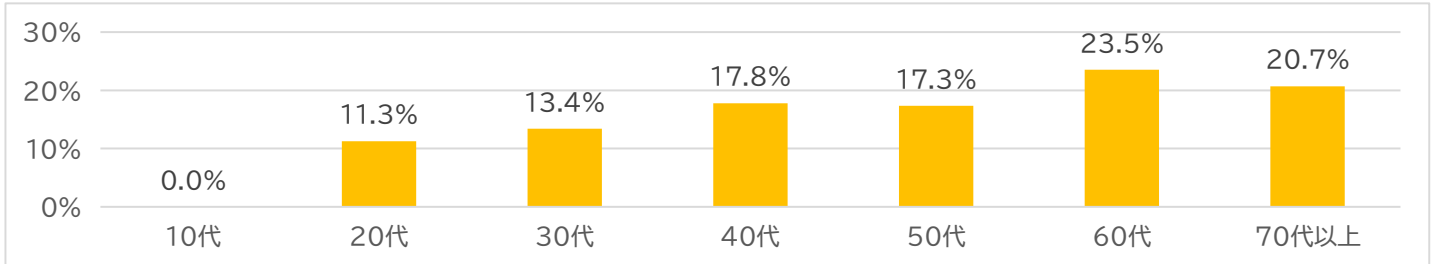
保健・医療体制



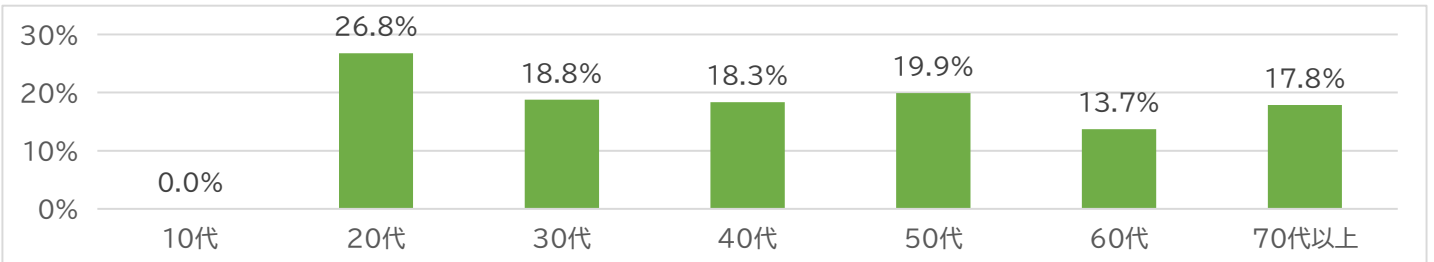
子ども・子育て支援



福祉のまちづくり



まちなかの活性化

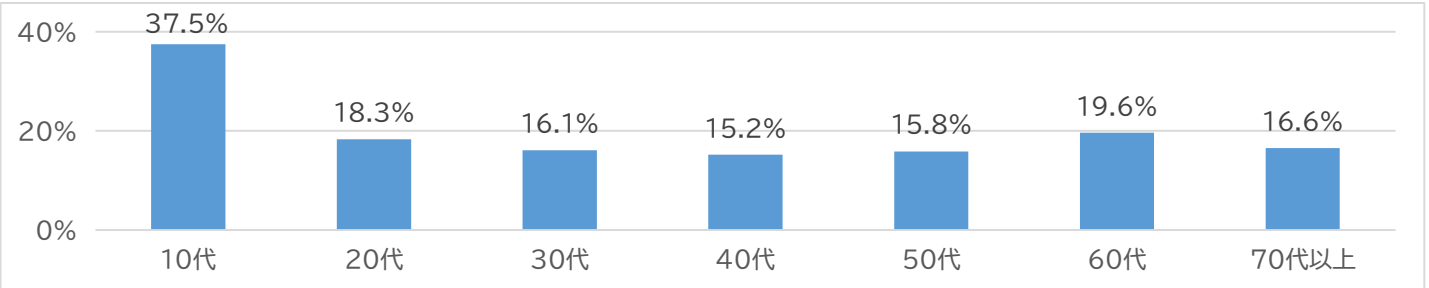


2 市の取り組みについて

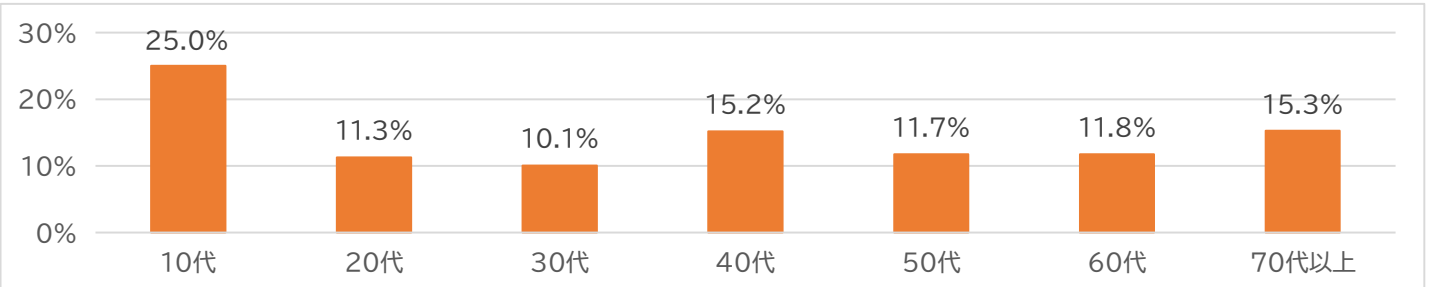
2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

年代別

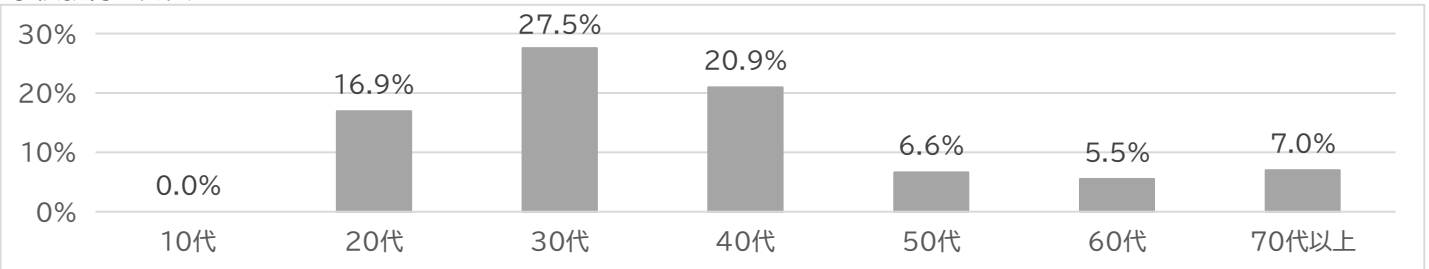
交通体系の確保



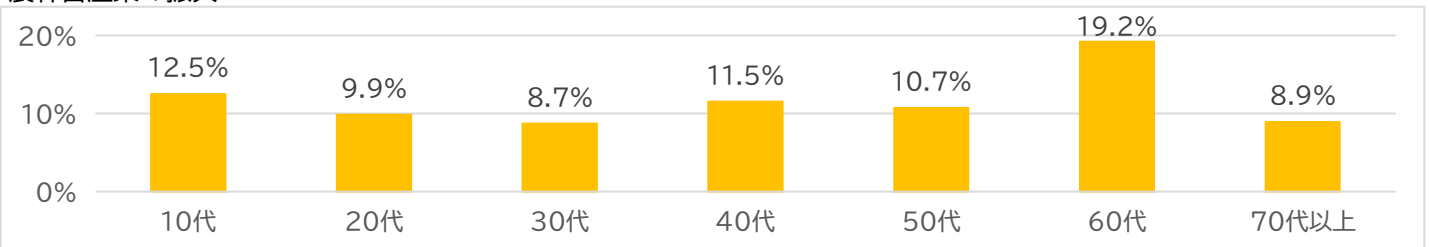
防犯・交通安全対策



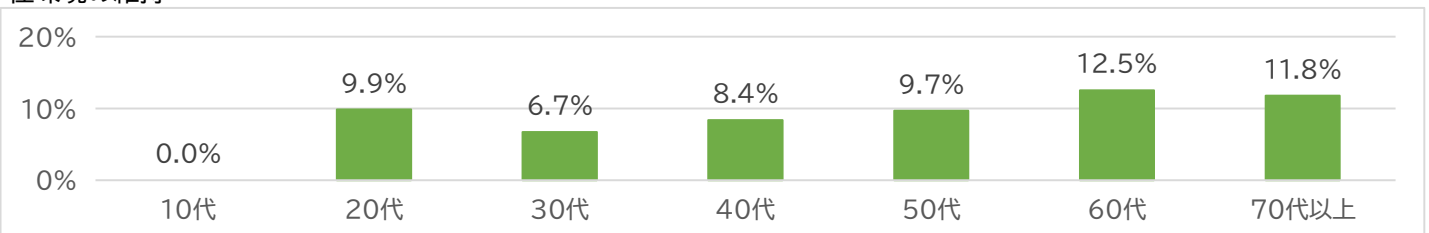
学校教育の充実



農林畜産業の振興



住環境の維持

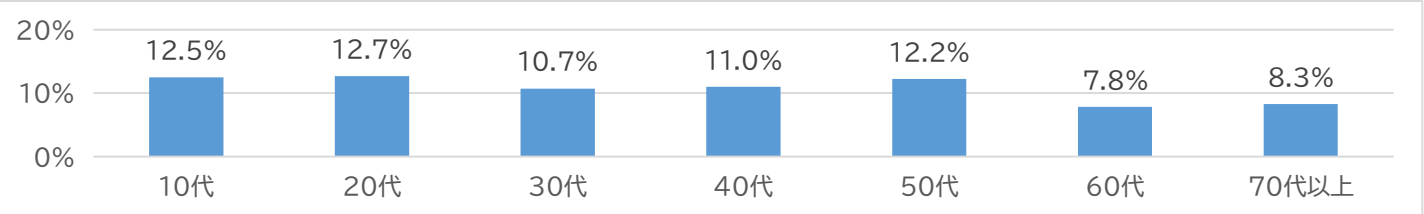


2 市の取り組みについて

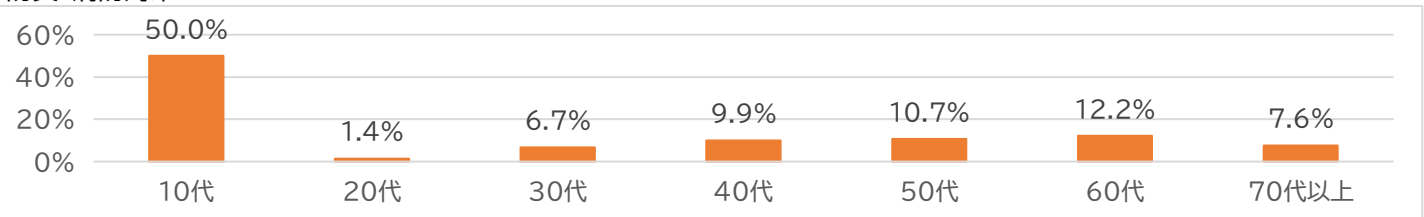
2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んでください。

年代別

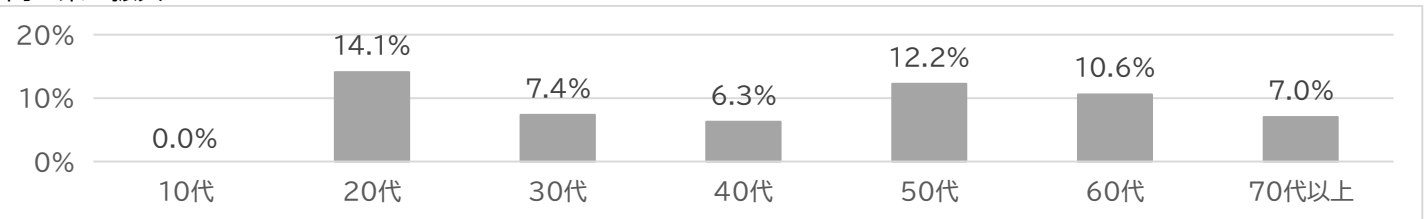
計画的な市街地整備



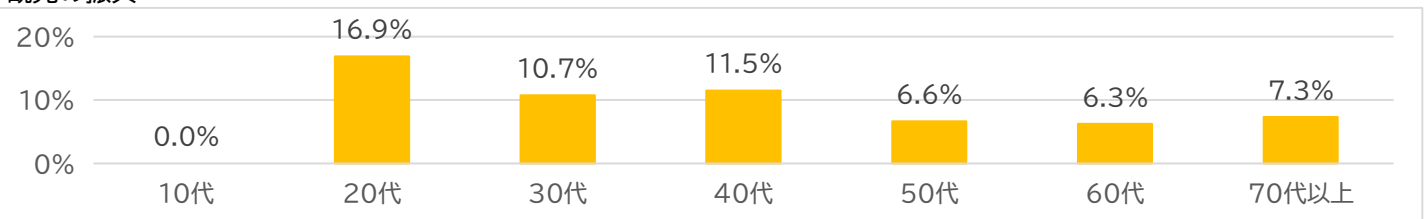
防災・消防対策



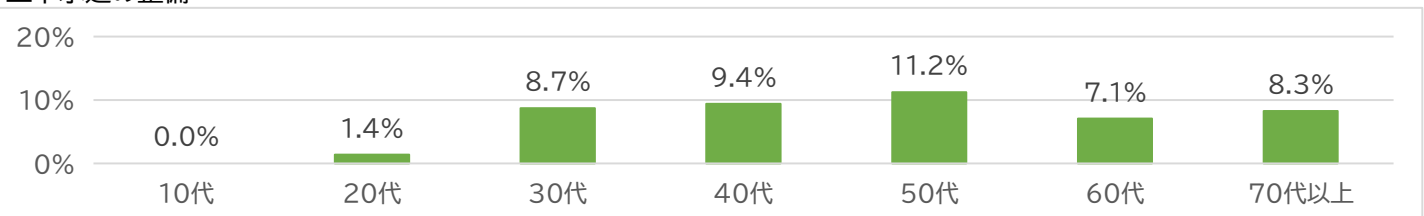
商工業の振興



観光の振興



上下水道の整備



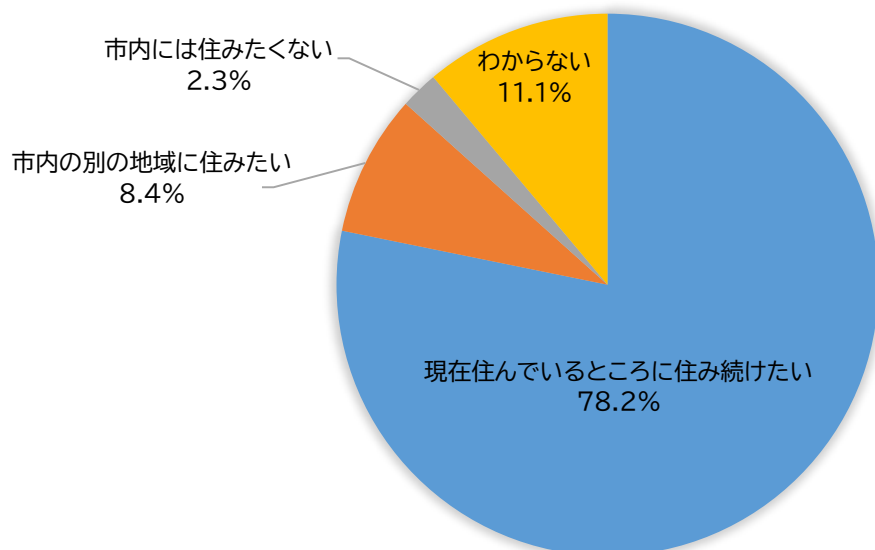
・市民の年齢層によって重視する施策に明確な傾向の違いが見られました。20代から40代では「子ども・子育て支援」、「学校教育の充実」が強く求められています。

・「道路の整備」、「保健・医療体制」は全年代で関心が高く、市政運営において各世代のニーズを踏まえたバランスの取れた施策展開が求められています。

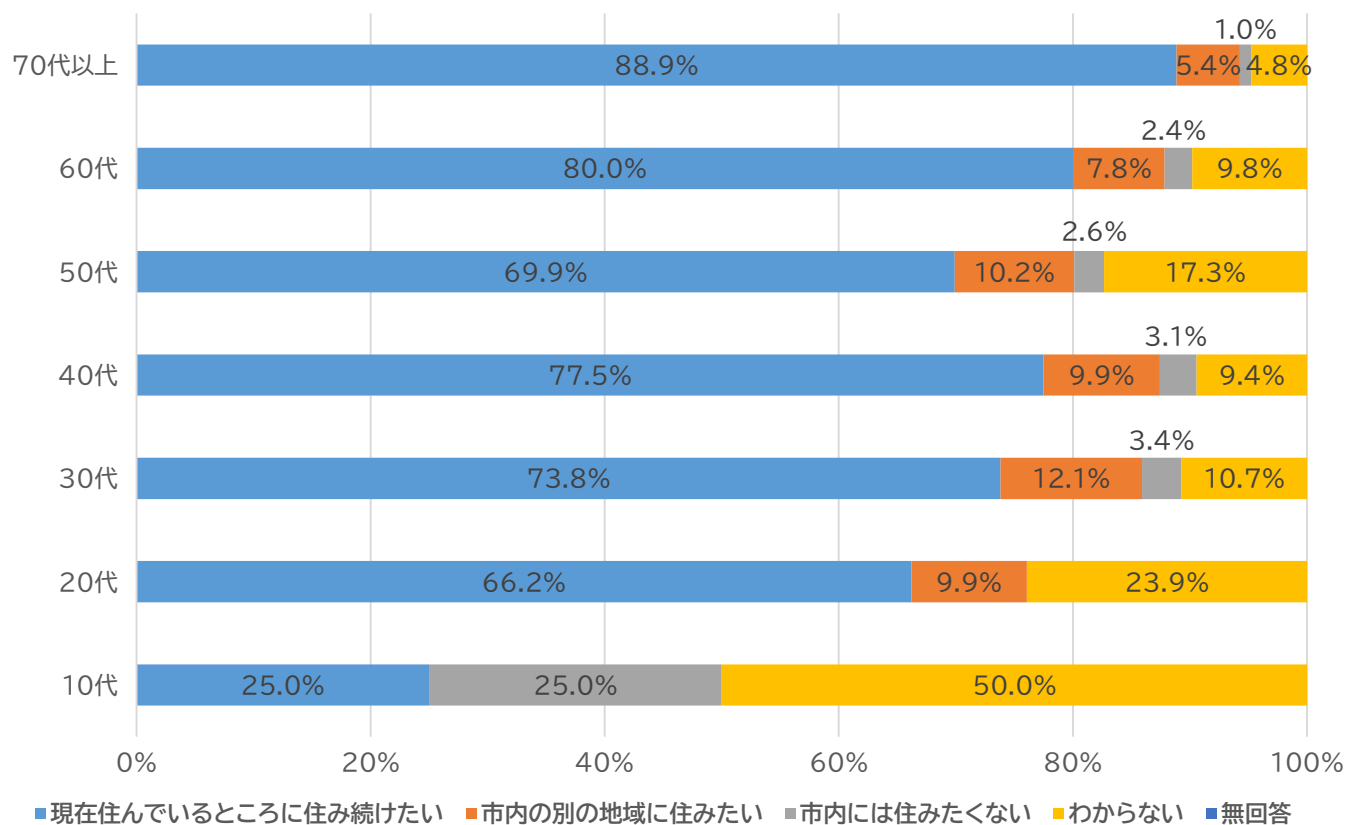
3 住みやすさについて

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

全体



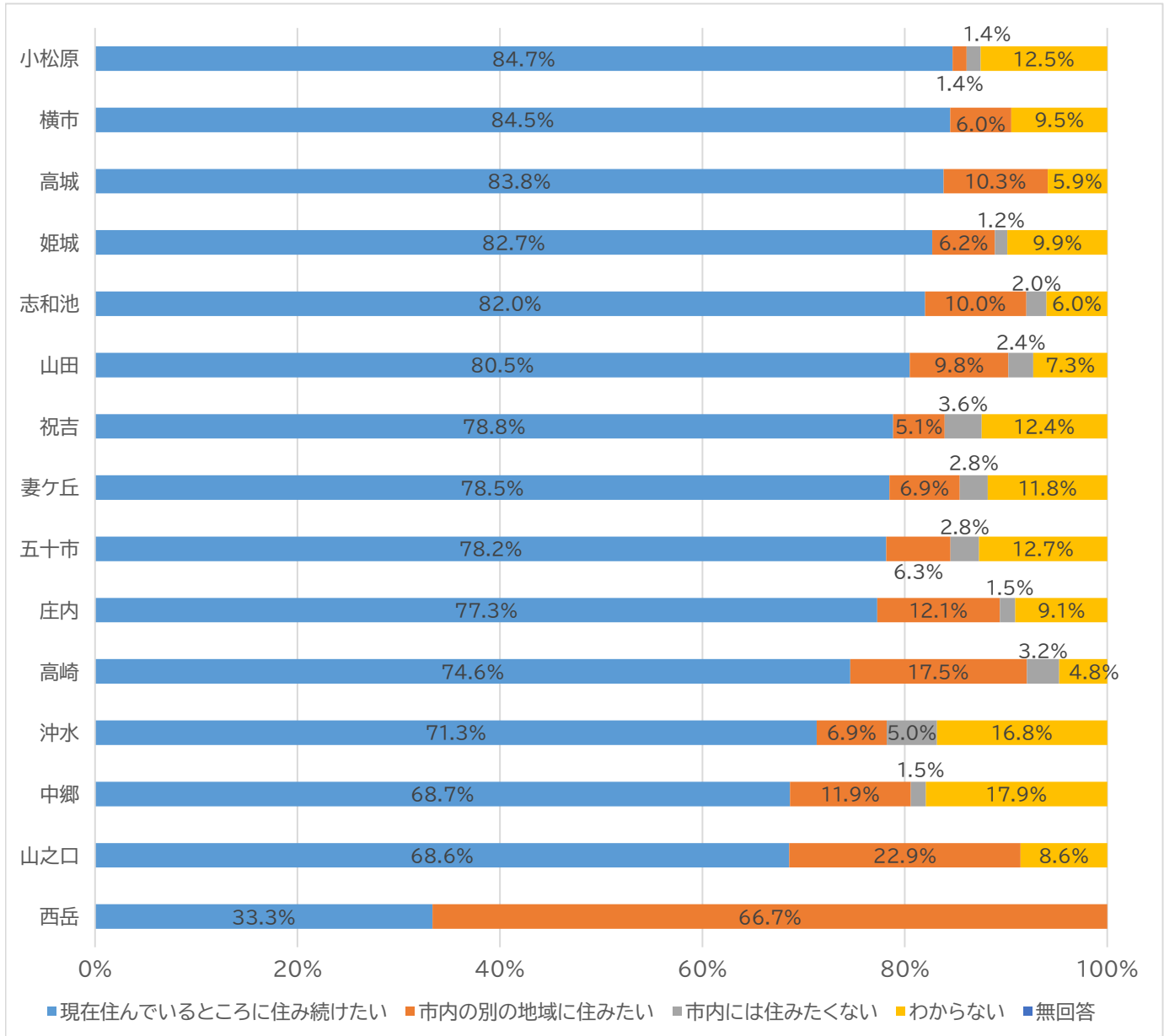
年代別



3 住みやすさについて

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

地区別



・全体で見ると、「現在住んでいるところに住み続けたい」と感じている人が78.2%でした。前回(令和6年度)の調査結果76.5%と比較すると、1.7ポイント増加しています。

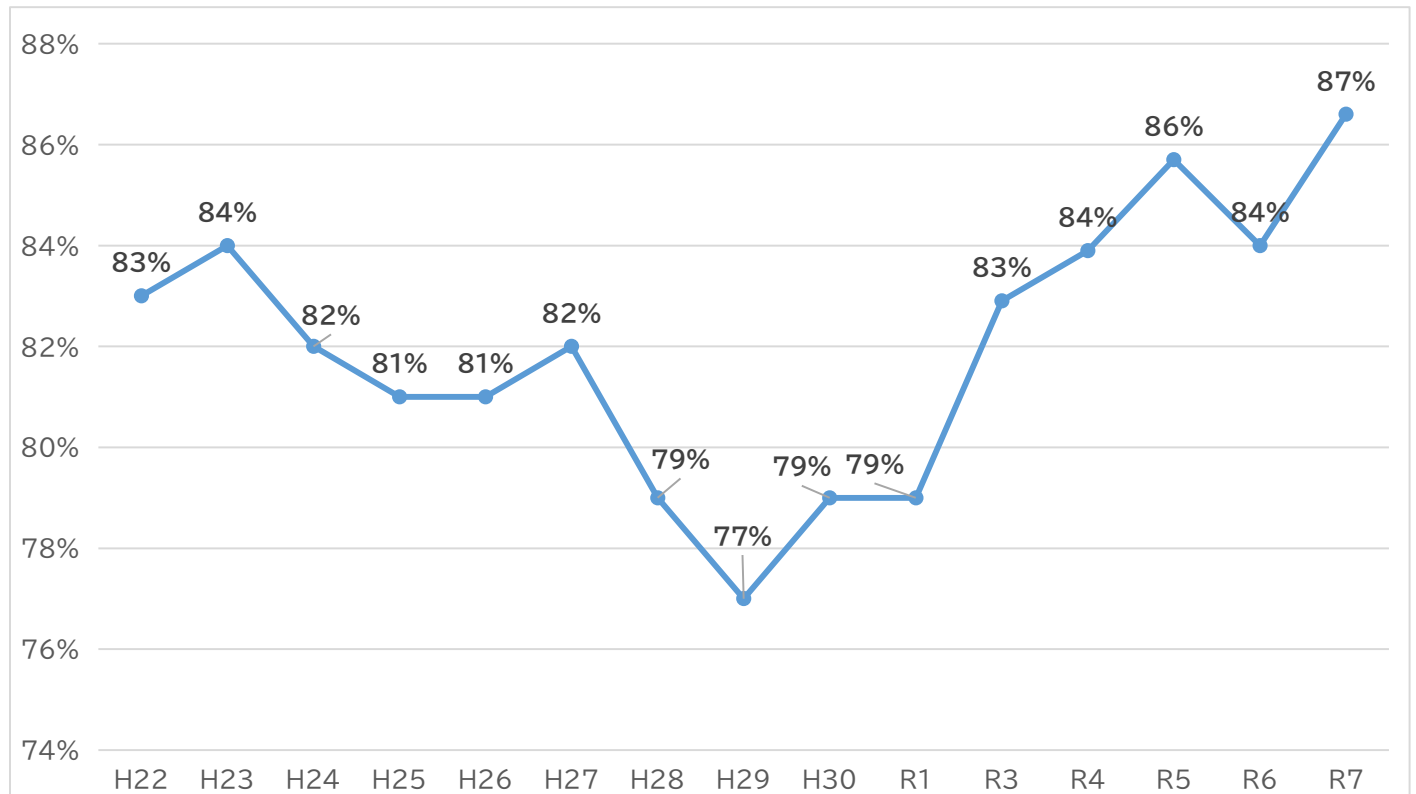
・年代別で見ると、「現在住んでいるところに住み続けたい」の割合は、70代以上が88.9%と最も高く、次いで60代の80%となっています。

・地区別で見ると、小松原地区の84.7%が最も高く、次いで横市地区の84.5%、高城地区の83.8%となっています。

3 住みやすさについて

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

推移

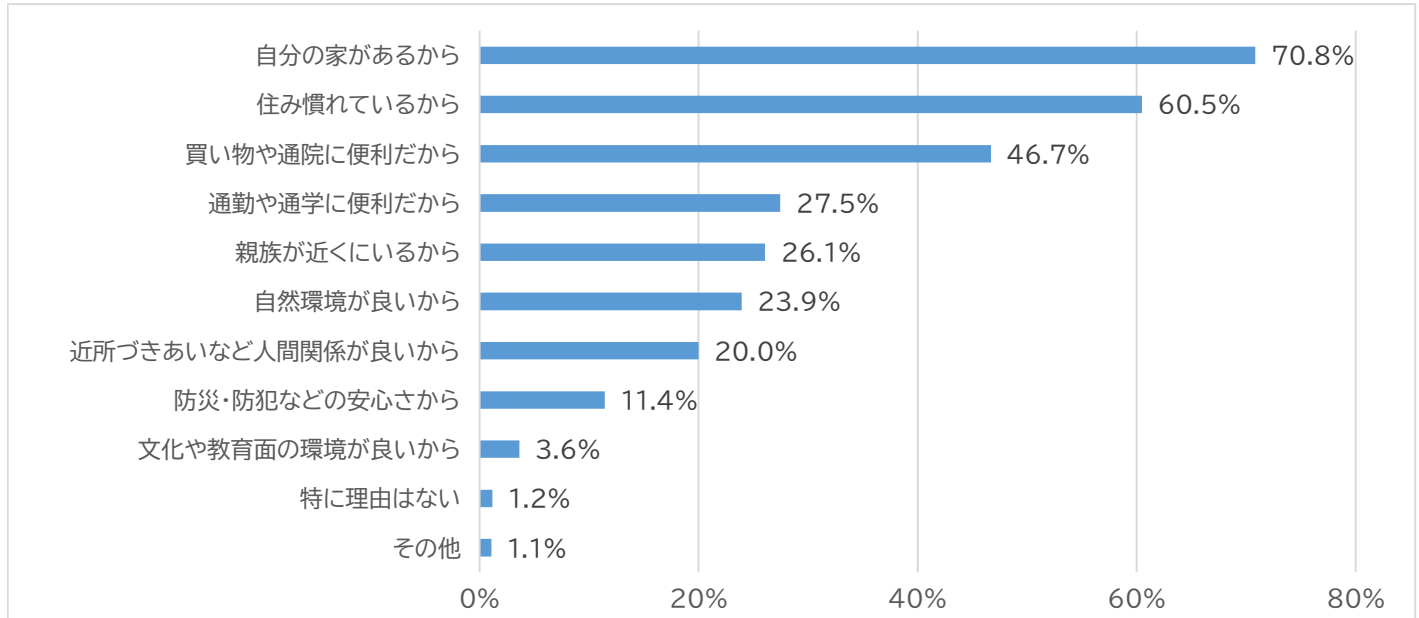


・「現在住んでいるところに住み続けたい」、「市内の別の地域に住みたい」を合計した、都城市に「住み続けたい」の数値は、約87%となりました。令和6年度と比較すると、「現在住んでいるところに住み続けたい」は1.7ポイントの増加、「市内の別の地域に住みたい」は0.6ポイントの増加となっています。

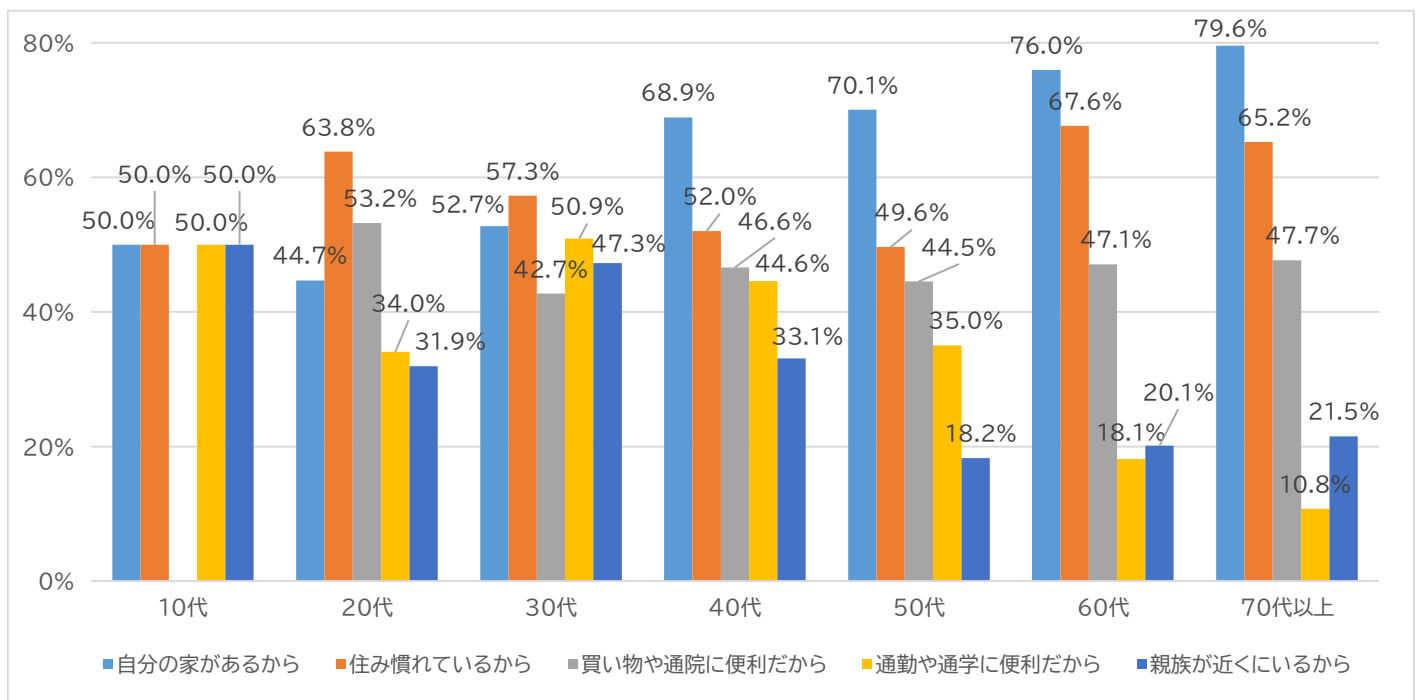
3 住みやすさについて

3-2 質問3-1で「1.現在住んでいるところに住み続けたい」と回答した方にお尋ねします。住み続けたいと答えた理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別 (総計上位5項目)



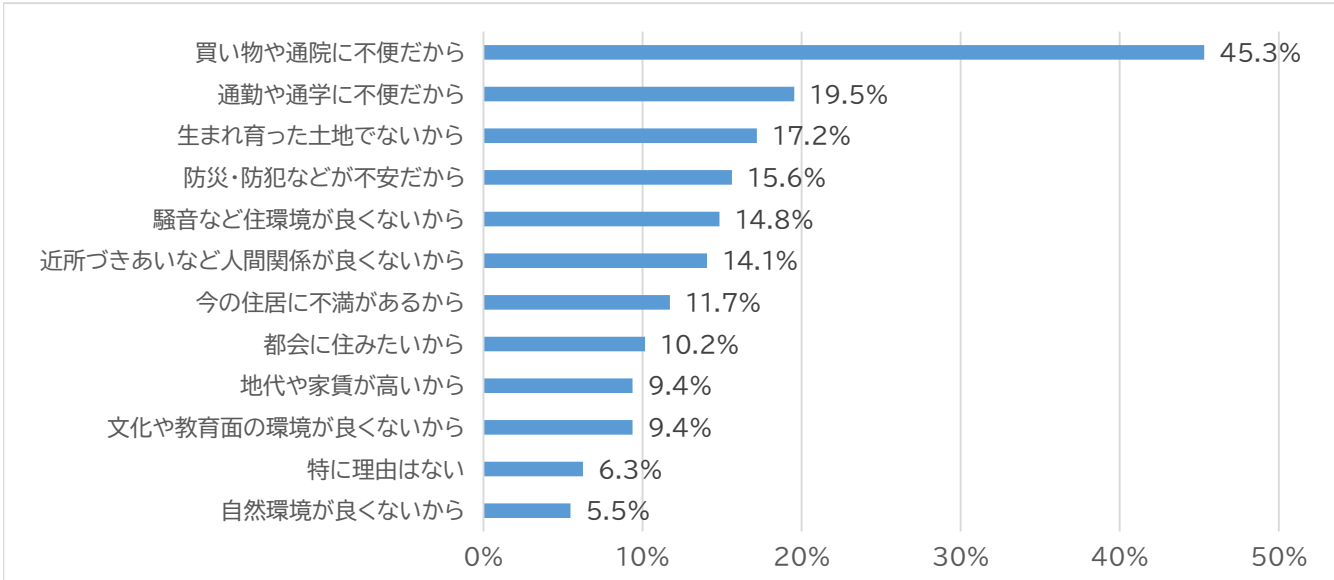
・「自分の家がある」、「住み慣れている」の2項目が高い結果となりましたが、この2項目は年代が上がるにつれて高くなっている項目でもあるため、全体の回答者数の年代分布も影響していると考えられます。

・20代以上の各年代でも4割以上の方が「買い物や通院に便利」と感じており、子育て世代を中心に「通勤や通学に便利」の項目が高い結果となりました。

3 住みやすさについて

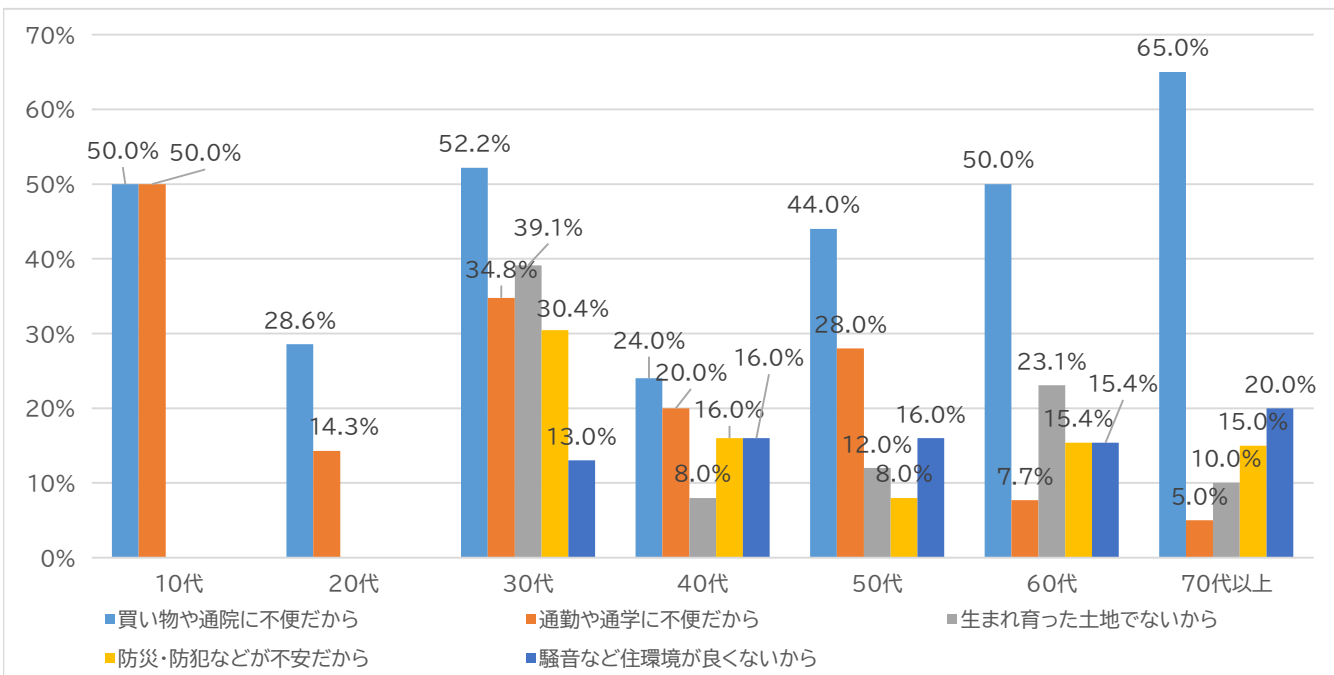
3-3 質問3-1で「2.市内の別の地域に住みたい」「3.市内には住みたくない」と回答した方にお尋ねします。別の地域に住みたい、市内には住みたくないと答えた理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別

(総計上位5項目)



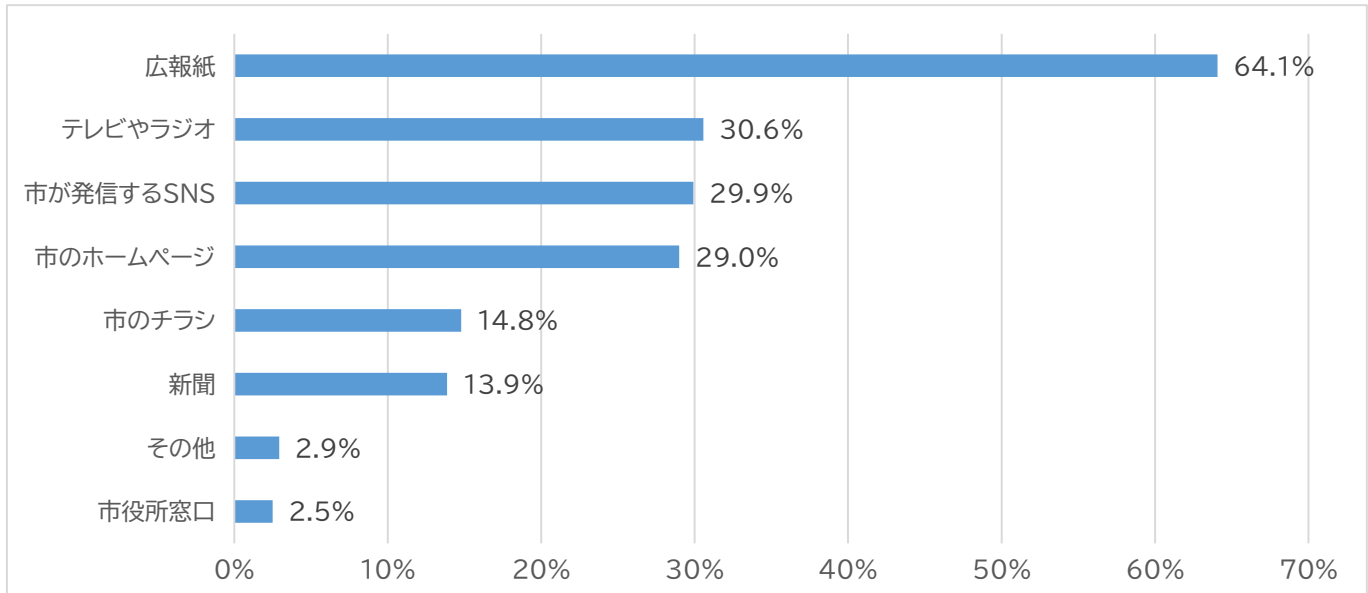
・「市内の別の地域に住みたい」、「市内には住みたくない」理由としては、「買い物や通院が不便だから」の45.3%が最も高い結果となり、次いで「通勤や通学に不便だから」の19.5%となっています。

・年代別で見ると、「買い物や通院が不便」と感じている人は70代が65.0%と最も高く、次いで30代が52.2%となっています。「通勤や通学に不便」と感じている人が10代で50%となり、次いで30代が34.8%となっています。

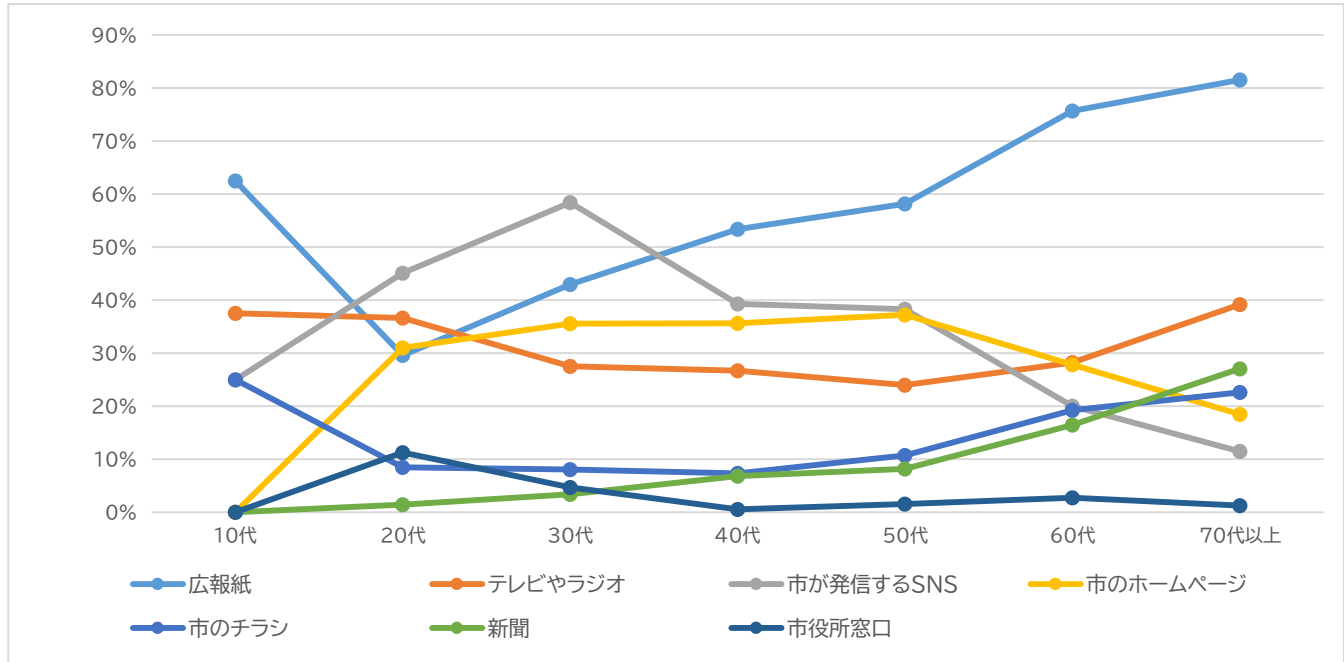
4 市の情報について

4 あなたは市の情報をどのような方法で得ていますか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別



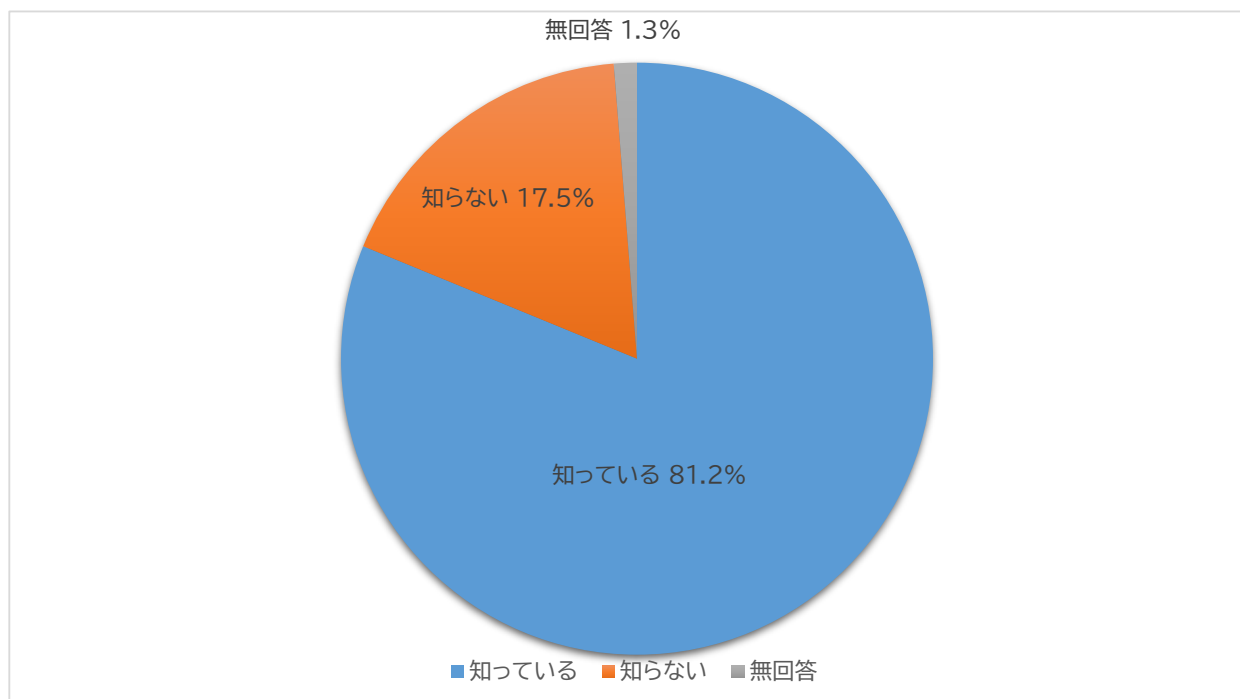
・「市の情報をどのような方法で得ているか」については、「広報紙」が64.1%と最も高く、次いで「テレビやラジオ」が30.6%となりました。

・年代別では10代を除くと年齢が高くなるにつれ、「広報紙」から情報を得ています。また、20代及び30代の多くは、「市が発信するSNS」から情報を得ています。

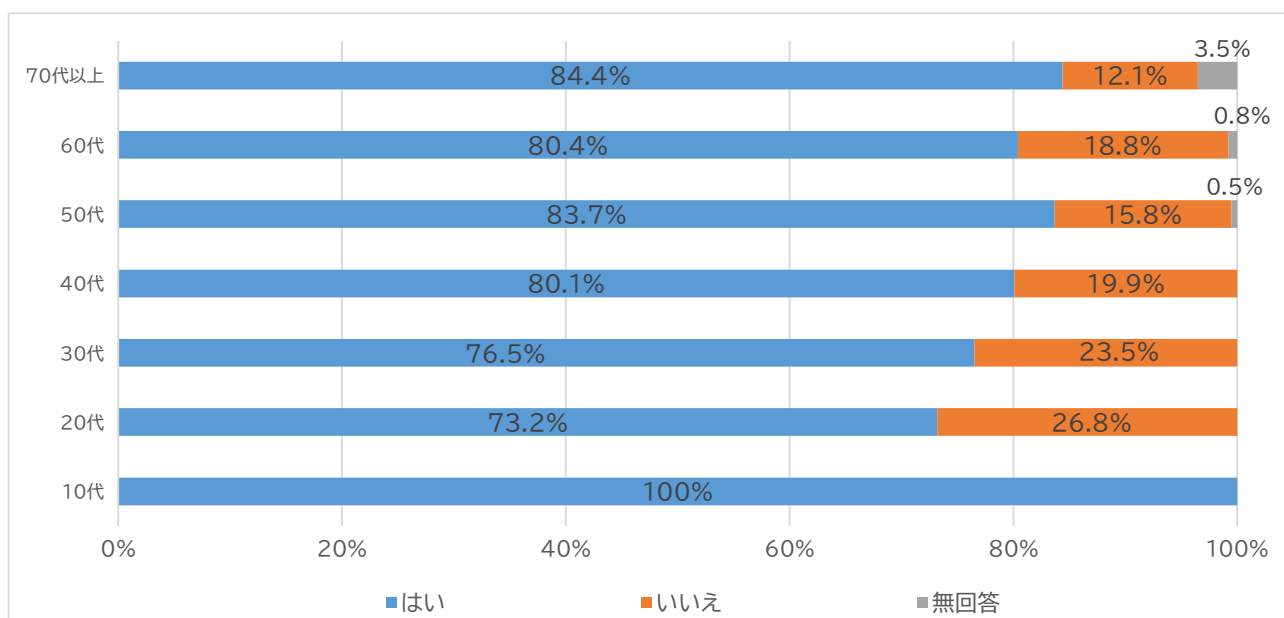
5 日本のひなた宮崎 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

5 令和9年に宮崎県で日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会)が開催されることを知っていますか。

全体



年代別



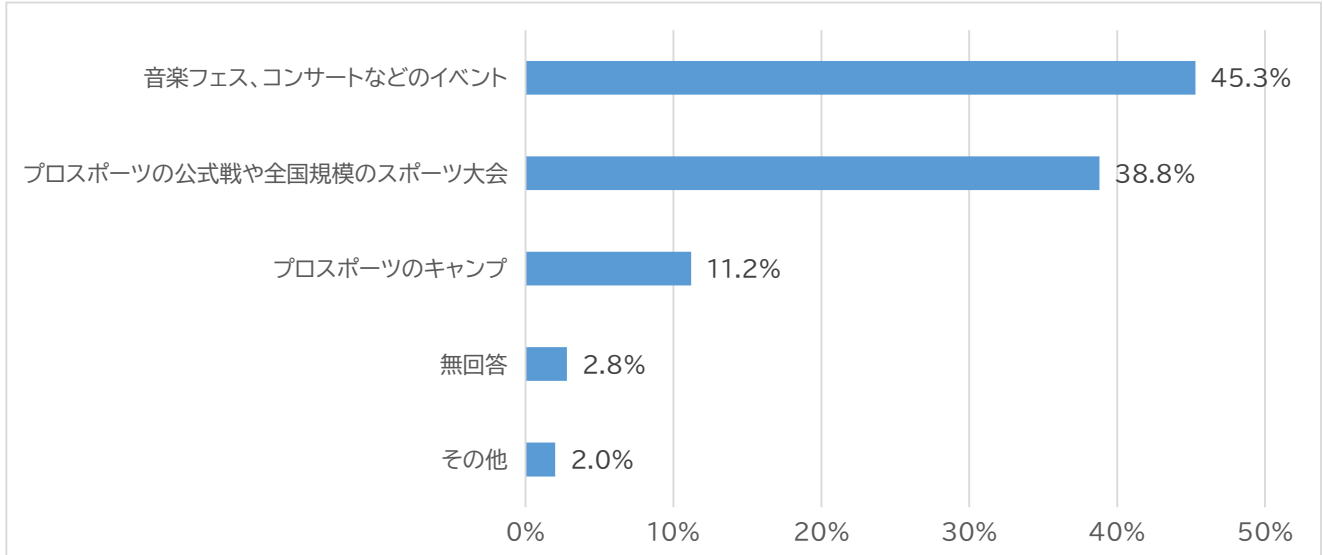
・「令和9年に宮崎県で日本のひなた宮崎国スポ・障スポが開催されることを知っているか」については、「知っている」が81.2%と広く周知されていることが分かる結果となりました。

・年代別では10代の100%「知っている」を筆頭に、どの年代でも70%を超える人が「知っている」と答えています。

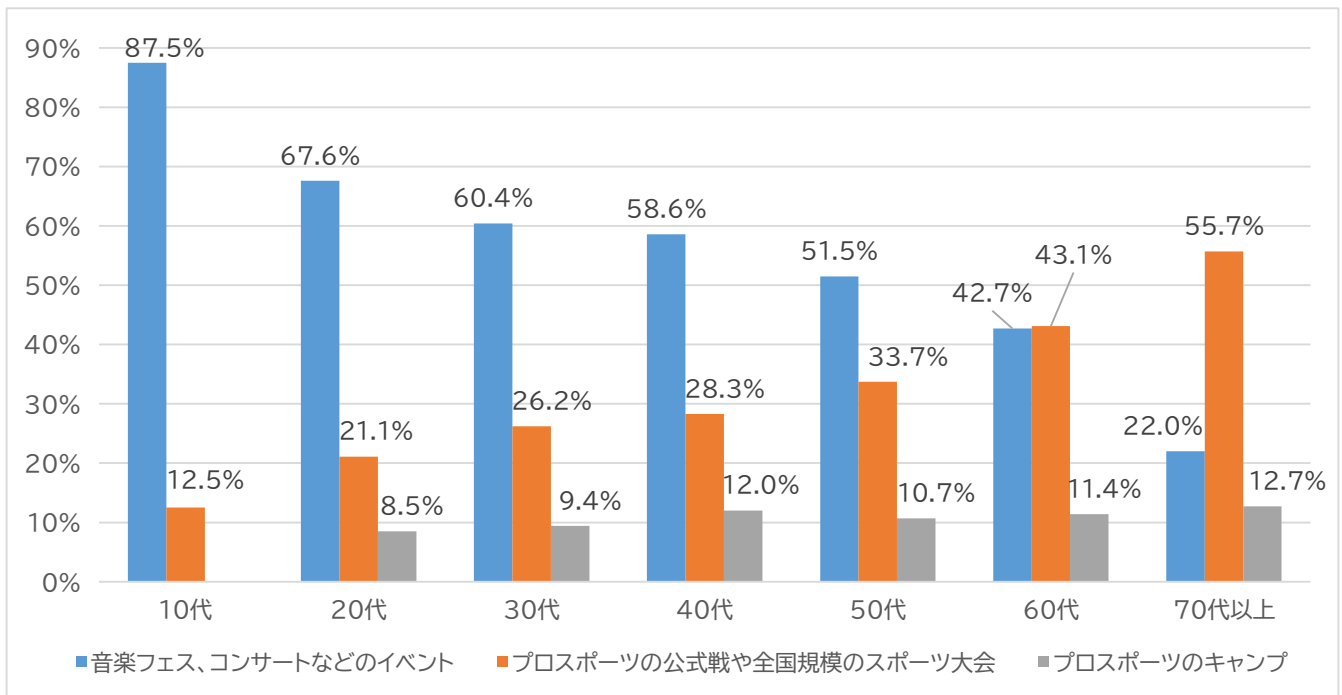
6 霧島酒造スポーツランド都城について

6 令和7年4月、霧島酒造スポーツランド都城がオープンしました。今後どのような行事が行われることを期待しますか。
(最も当てはまるもの1つに○)

全体



年代別



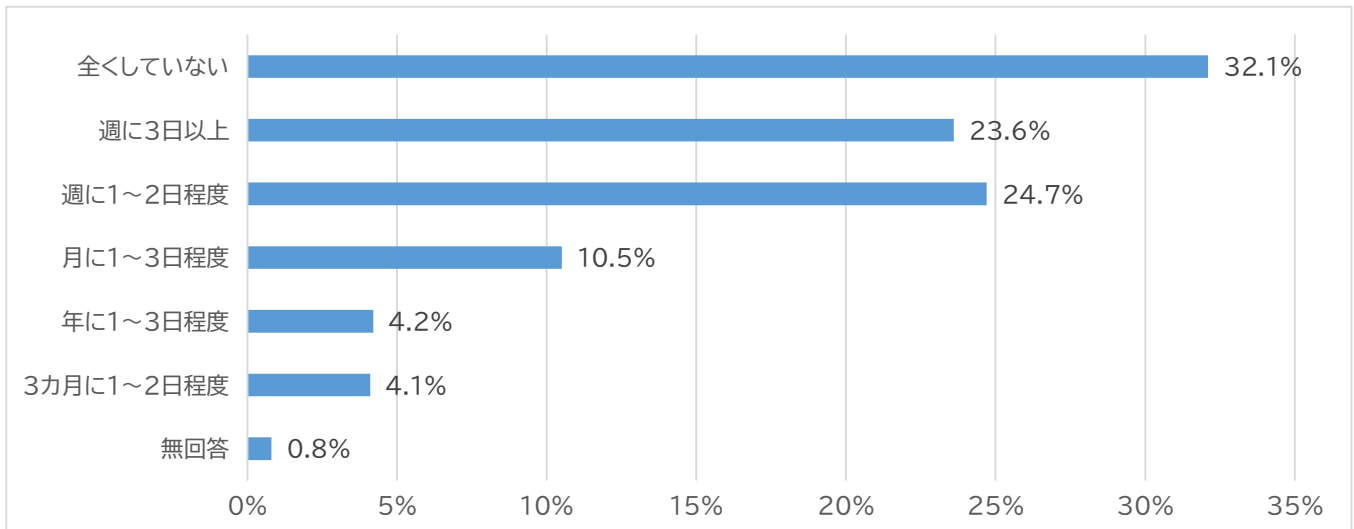
・霧島酒造スポーツランド都城で「今後どのような行事が行われることを期待するか」については、「音楽フェス、コンサートなどのイベント」が45.3%、次いで「プロスポーツの公式戦や全国規模のスポーツ大会」が38.8%となりました。

・年代別では「音楽フェス、コンサートなどのイベント」が10代で87.5%が最も多く、20代、30代でも60%以上となるなど、若年層ではスポーツだけでなく、スポーツ以外のイベント開催にも期待していることが分かる結果となりました。また、60代以上では「プロスポーツの公式戦や全国規模のスポーツ大会」が一番高い結果となりました。

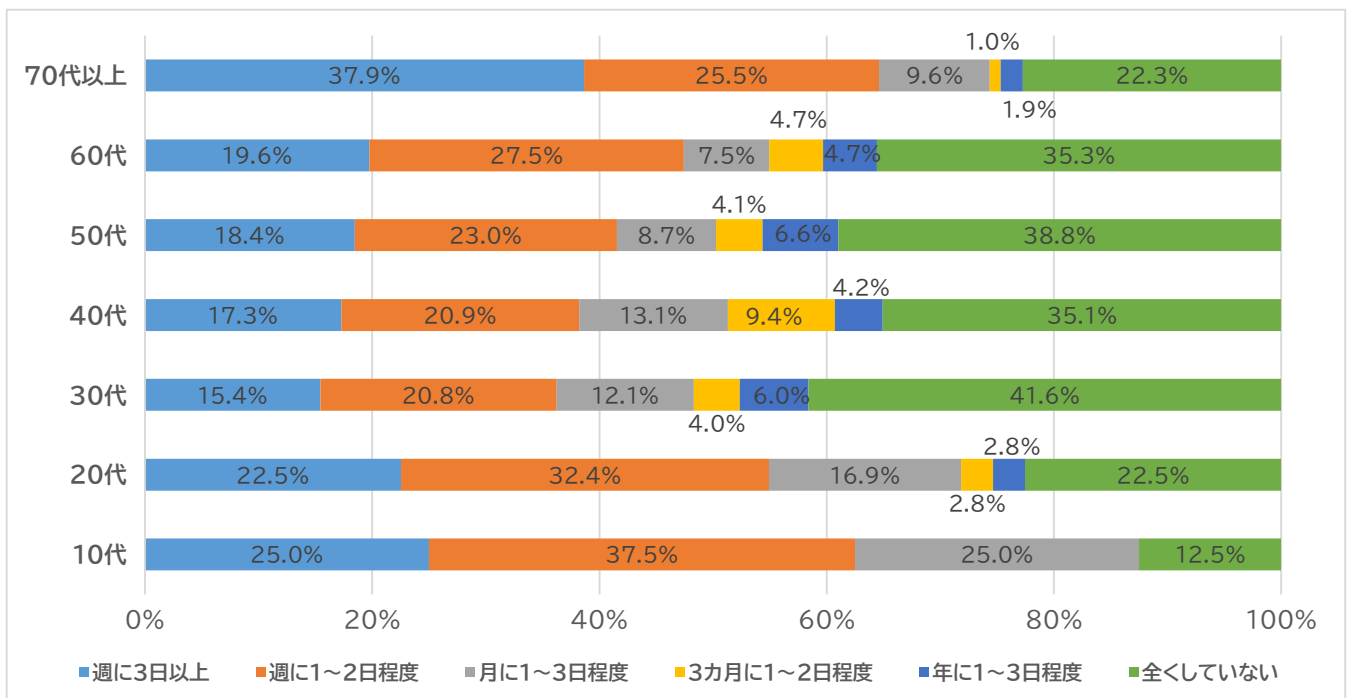
7 スポーツについて

7 あなたは、健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っていますか。

全体



年代別



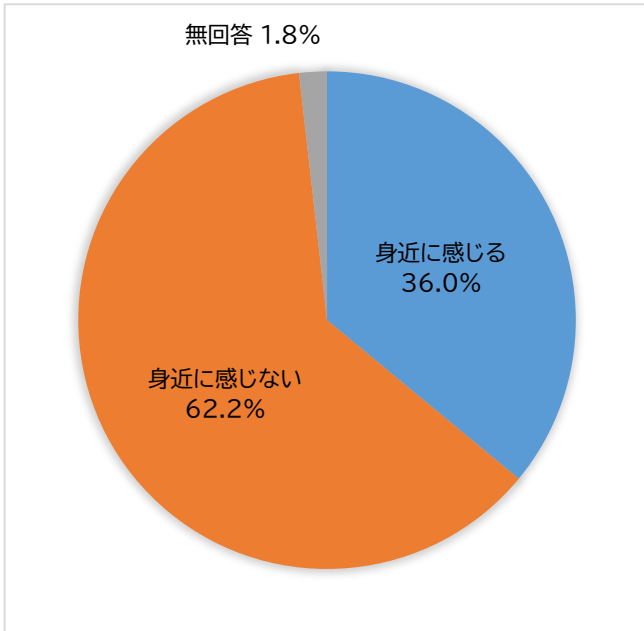
・「運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っているか」について、「週に3日以上」と答えた人が23.6%、「週に1～2日程度」と答えた人が24.7%となりました。

・年代別では、前回(令和6年度)と比較すると、「週に3日以上」では20代が22.5%(前回13.6%)で8.9ポイント、40代が17.3%(前回12.8%)で4.5ポイント増加しました。

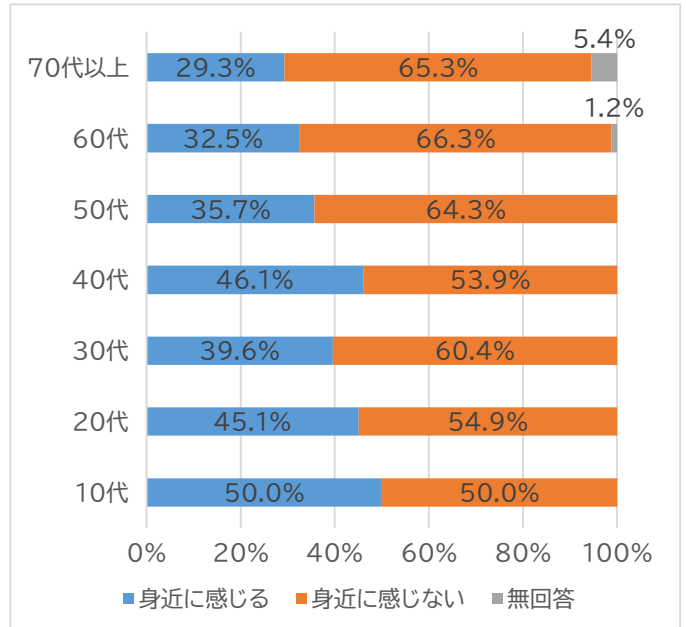
8 国際交流について

8-1 外国の方を身近に感じますか。

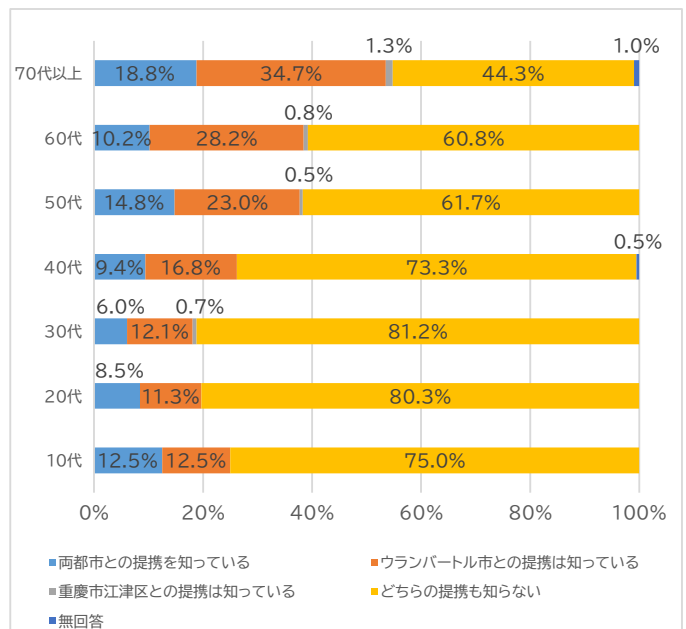
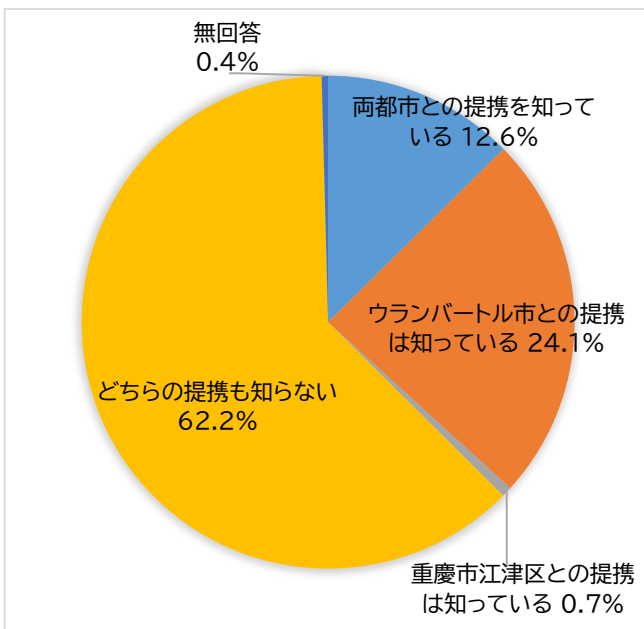
全体



年代別



8-2 都城市が、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っていますか。



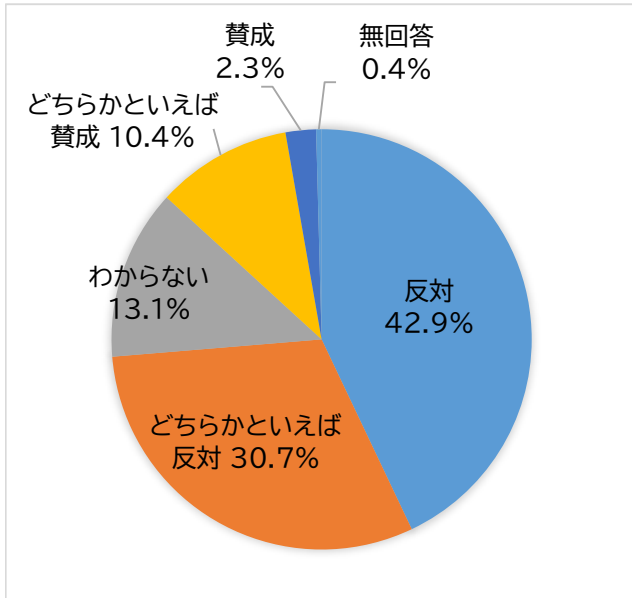
・「外国の方を身近に感じるか」について、「身近に感じる」と答えた人が36.0%に対して「身近に感じない」と答えた人が62.2%となりました。「身近に感じる」と答えた人は、前回(令和6年度)の調査結果33.2%と比較すると、2.8ポイント増加しています。

・「中国重慶市江津区及びモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っているか」については、「どちらの提携も知らない」と答えた人が最も高く62.2%でした。次いで「ウランバートル市との提携は知っている」と答えた人が24.1%でした。

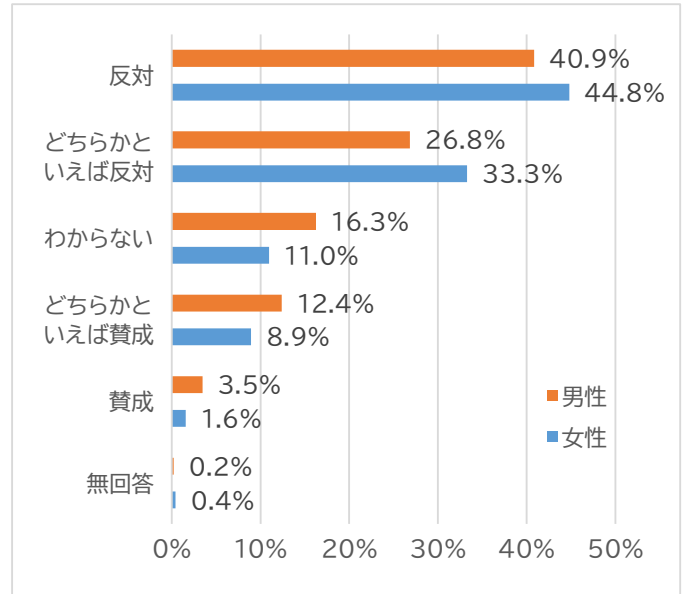
9 男女共同参画について

9-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

全体

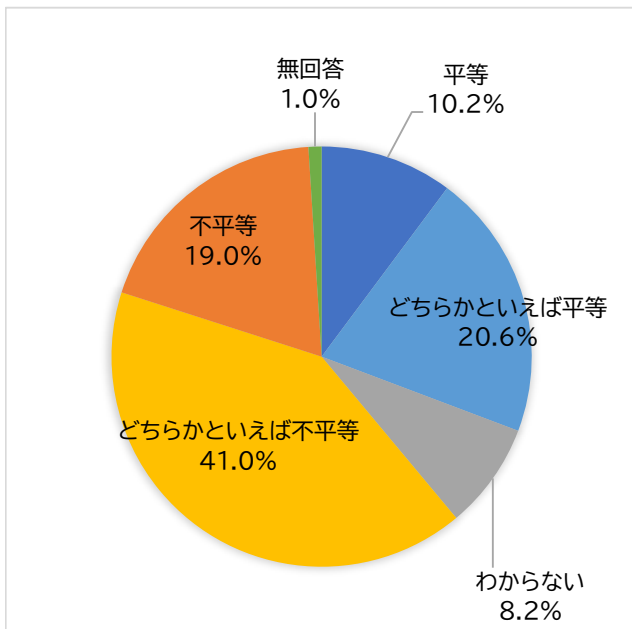


男女別

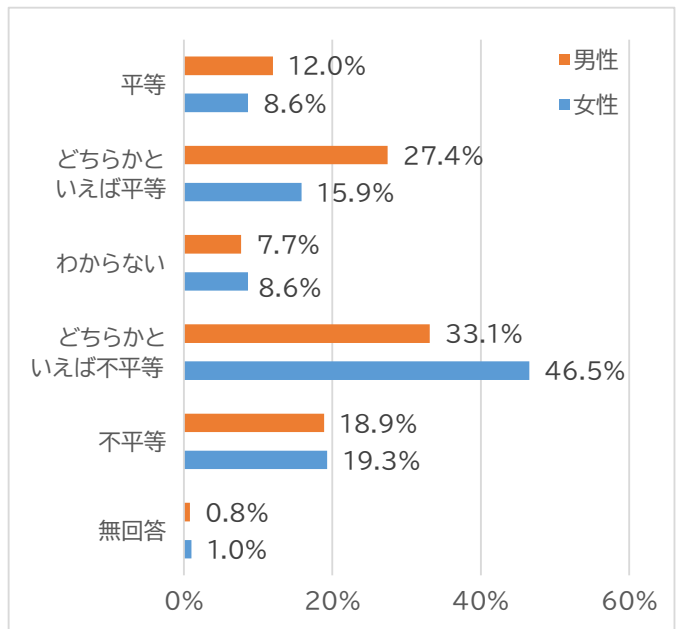


9-2 「社会(政治や職場など)において、男女の地位は平等」だと思いますか。

全体



男女別



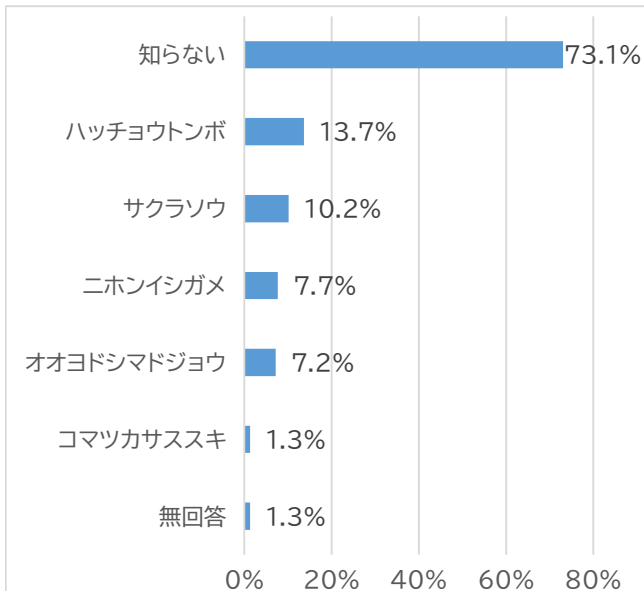
・性別によって役割を固定する考え方について、「反対」、「どちらかといえば反対」と答えた人が73.6%となりました。男女別で見ると、男性は67.7%、女性は78.1%という結果となり、前回(令和6年度)の男性70.1%、女性71.2%と比較すると、男性は2.4ポイントの減少、女性は6.9ポイントの増加となりました。

・「男女の地位は平等だと思うか」については、「不平等」、「どちらかというと不平等」と答えた人が60.0%となりました。男女別で見ると、男性は52.0%、女性は65.8%という結果となり、前回(令和6年度)の男性54.0%、女性67.0%と比較すると、男性は2.0ポイント、女性は1.2ポイント減少しました。

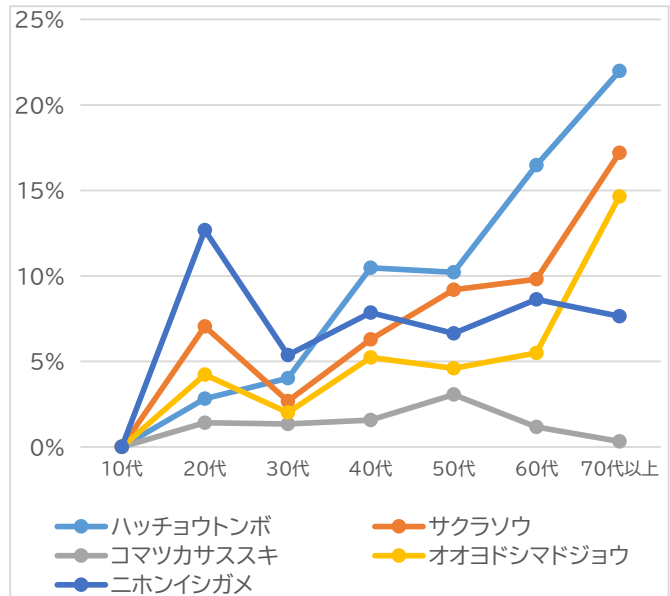
10 環境問題について

10-1 野生生物や希少な動植物の減少または絶滅が環境問題になっています。市内に生息していると知っている希少な動植物は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体

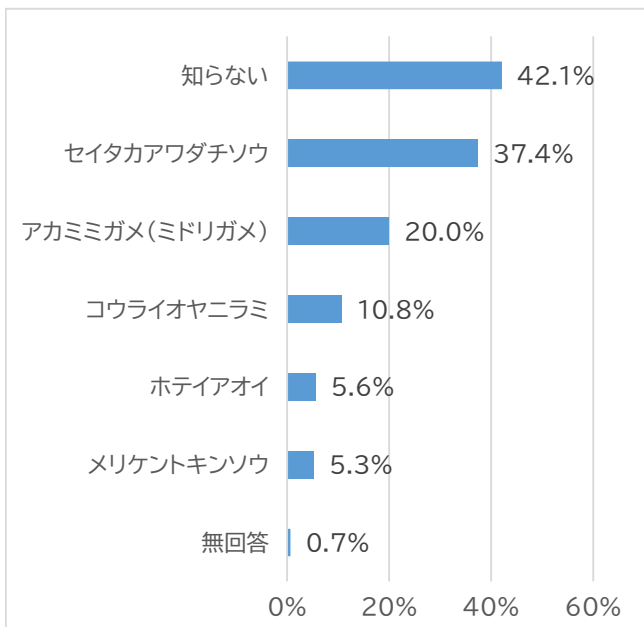


年代別 (「知らない」を除く)

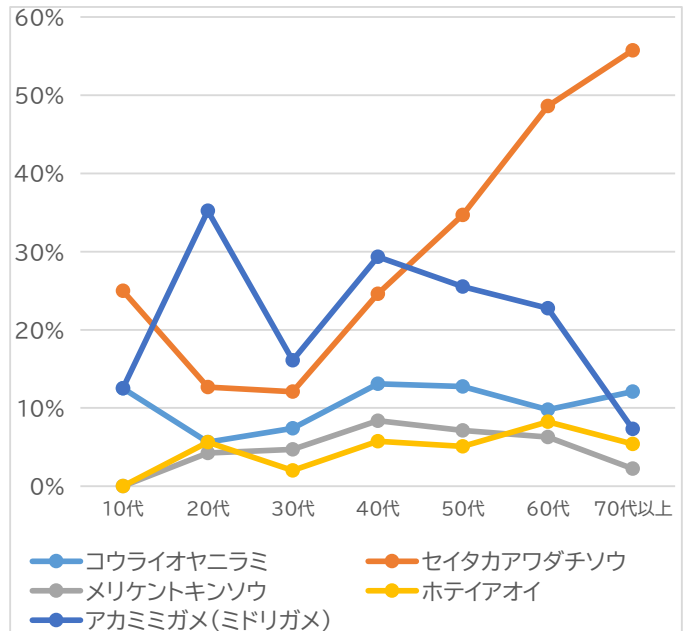


10-2 外来生物による生態系への影響が環境問題となっています。市内に生息していると知っている外来生物は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別 (「知らない」を除く)



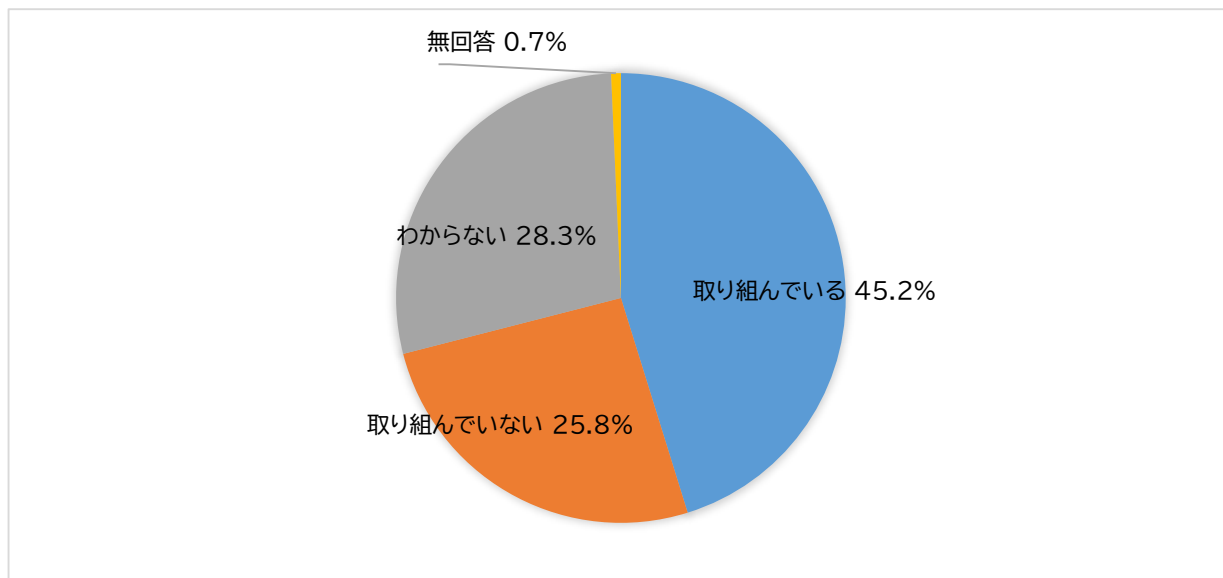
・「市内に生息していると知っている希少な動植物」については、「知らない」と答えた人が73.1%となりました。希少な動植物の中で最も知られていたのは「ハッチョウトンボ」で13.7%でした。

・「市内に生息していると知っている外来生物」については、「知らない」と答えた人は42.1%で、最も知られていた外来生物は「セイタカアワダチソウ」で37.4%となりました。

10 環境問題について

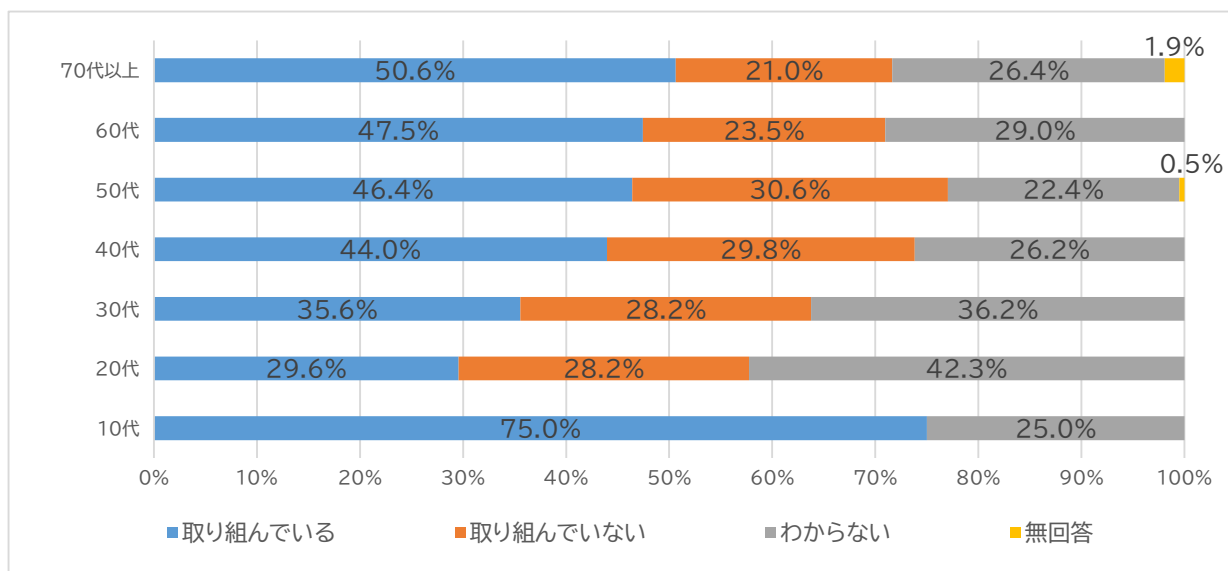
10-3 温室効果ガスの影響が環境問題となっています。節電や節水など家庭でカーボンニュートラルに関する取り組みを行っていますか。

全体



※カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引き、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。節電や省エネもカーボンニュートラルの取り組みの一つです

全体



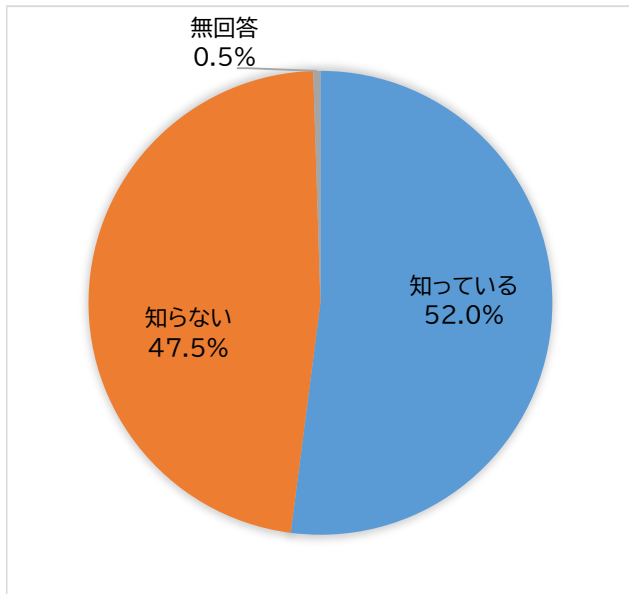
・家庭でカーボンニュートラルに関する取り組みを行っているかについては、「取り組んでいる」と答えた人が45.2%となり前回(令和6年度)36.4%と比較すると8.8ポイント増加しました。

・年代別で見ると10代は75.0%が「取り組んでいる」と回答していて、カーボンニュートラルに関する意識が非常に高いことが分かりました。20代以上では年代が上がるごとに「取り組んでいる」と答えた人の割合が高くなる傾向が見られました。

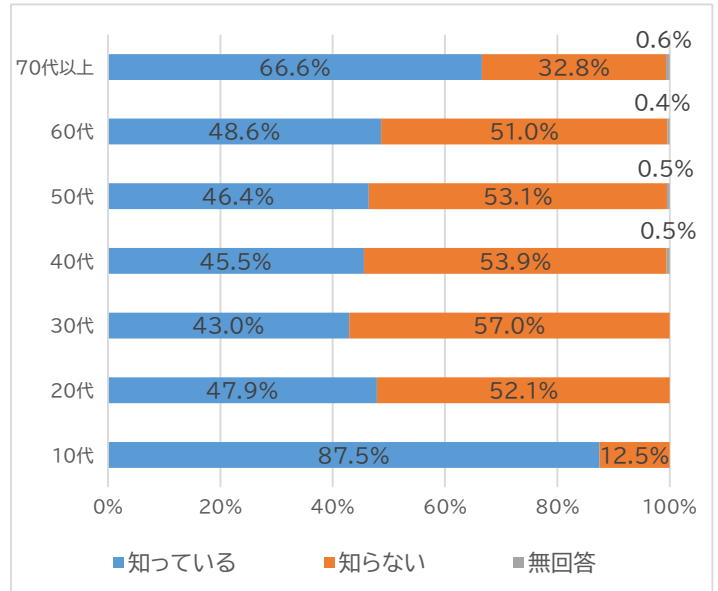
11 使用済小型家電製品のリサイクルについて

11-1 市の公共施設や市内商業施設等で使用済小型家電製品を回収していることを知っていますか。

全体

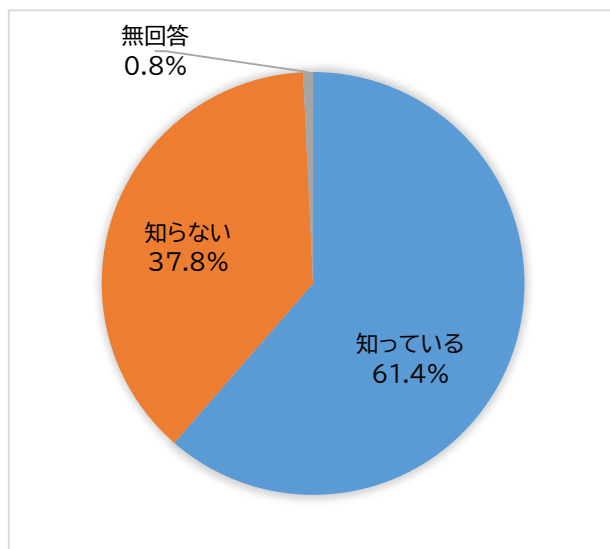


年代別

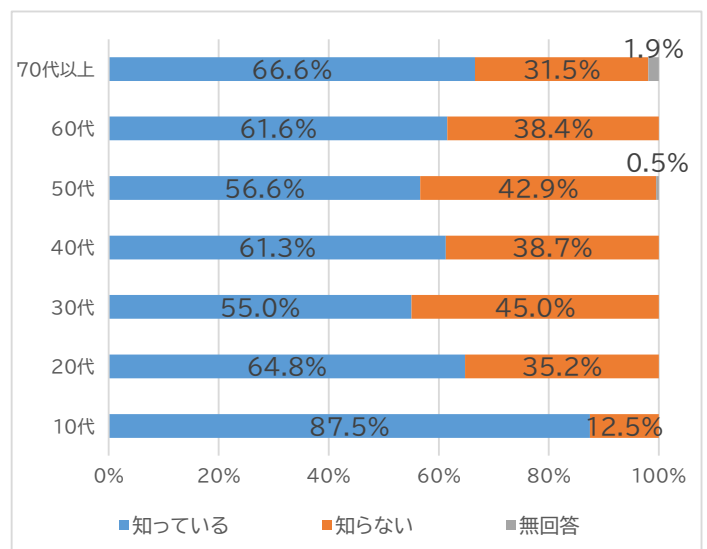


11-2 使用済小型家電製品は、リサイクルできることを知っていますか。

全体



年代別



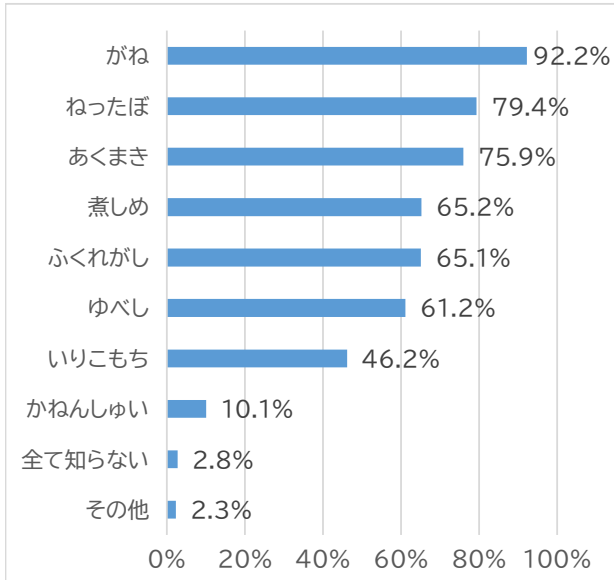
・「市の公共施設や市内商業施設等で使用済小型家電製品を回収していることを知っているか」について、「知っている」と答えた人が52.0%でした。年代別で見ると、「知っている」と答えた人の割合は、10代が87.5%と最も多く、次いで70代以上の66.6%となりました。

・「使用済小型家電製品はリサイクルできることを知っているか」については、「知っている」と答えた人が61.4%となりました。年代別で見ると、「知っている」と答えた人の割合は、10代が87.5%と最も多く、次いで70代以上の66.6%となりました。

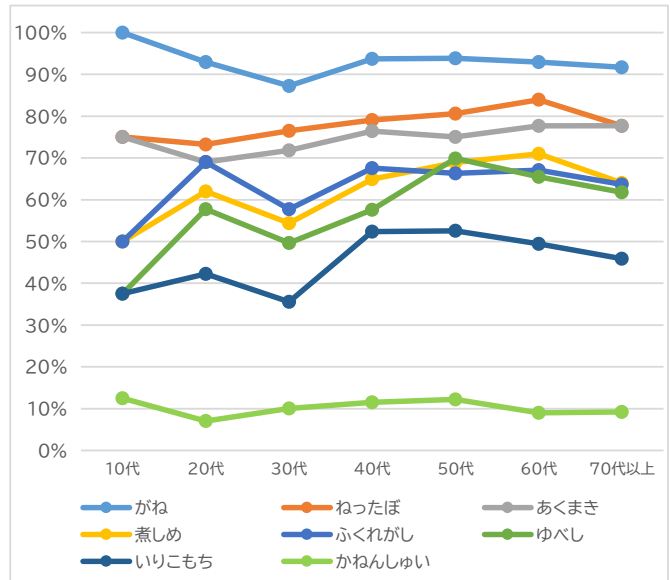
12 郷土料理と食について

12-1 都城の郷土料理だと知っている料理は何ですか。(当てはまるものを全てに○)

全体

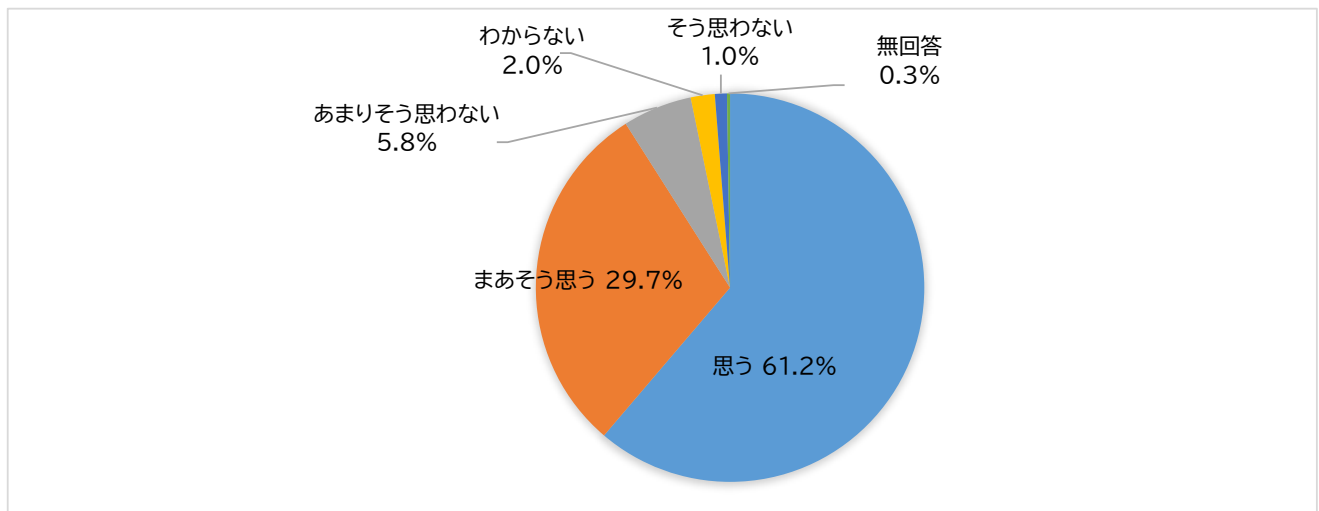


年代別 (総計上位8項目)



12-2 郷土料理を代々伝えていくことが大事だと思いますか。

全体



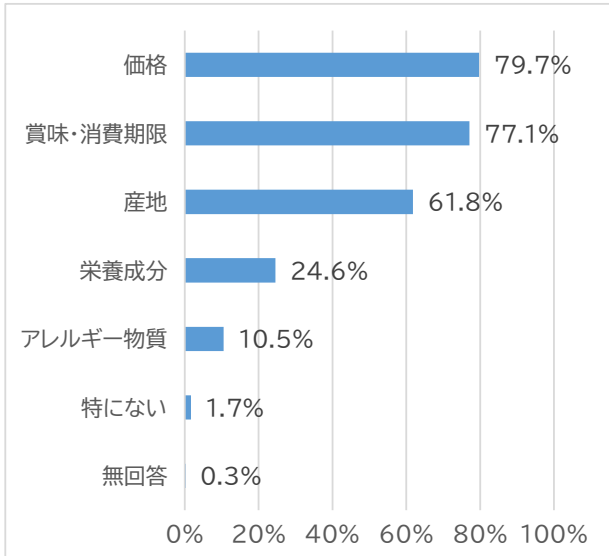
・「郷土料理だと知っている料理」については、「がね」が92.2%と最も高くなりました。年代別で見ても、全年代において「がね」が最も高い結果となり、次いで、「ねったぼ」が79.4%と「あくまき」が75.9%となりました。

・「郷土料理を代々伝えていくことが大事だと思うか」については、「思う」、「まあそう思う」と答えた人の合計は90.9%となりました。

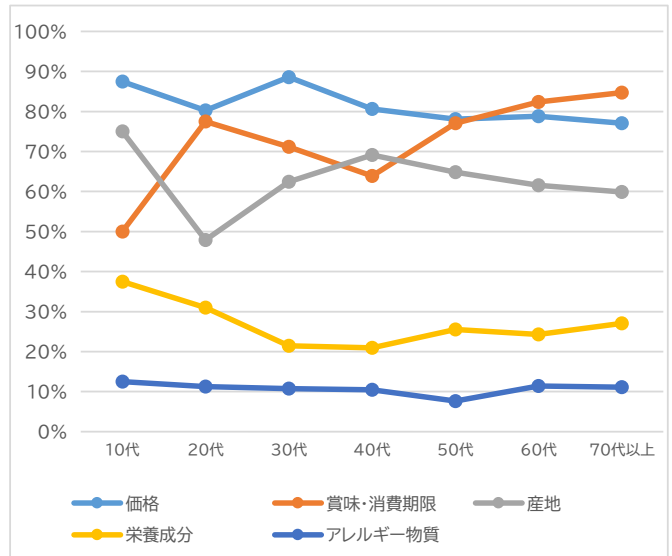
12 郷土料理と食について

12-3 日頃、食品を選ぶ際に気を付けていることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体

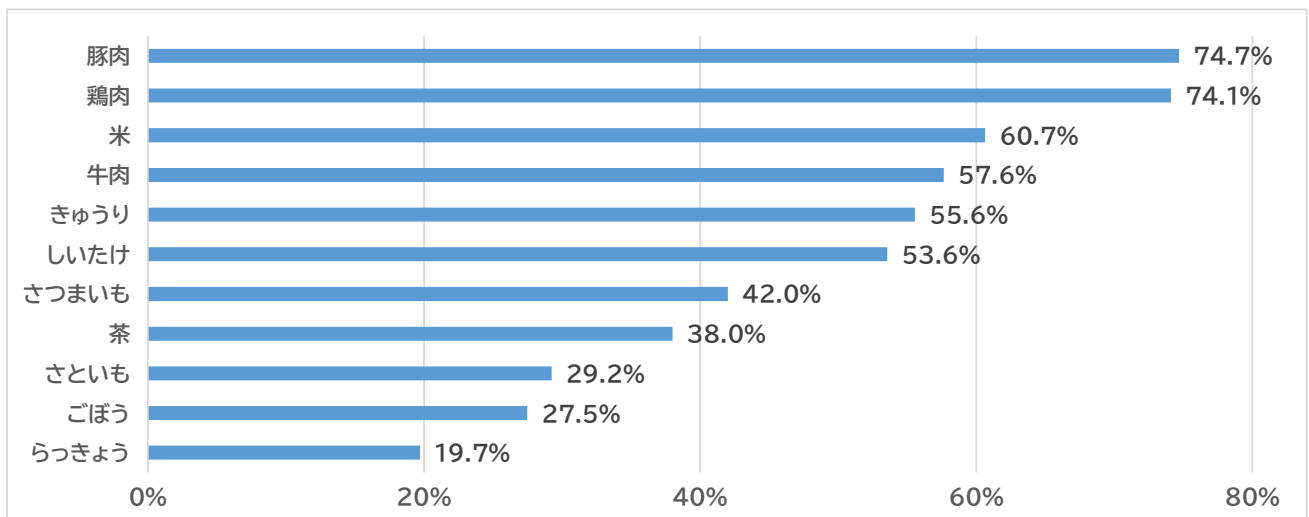


年代別 (総計上位5項目)



12-4 都城産の農林畜産物でよく口にするものは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体



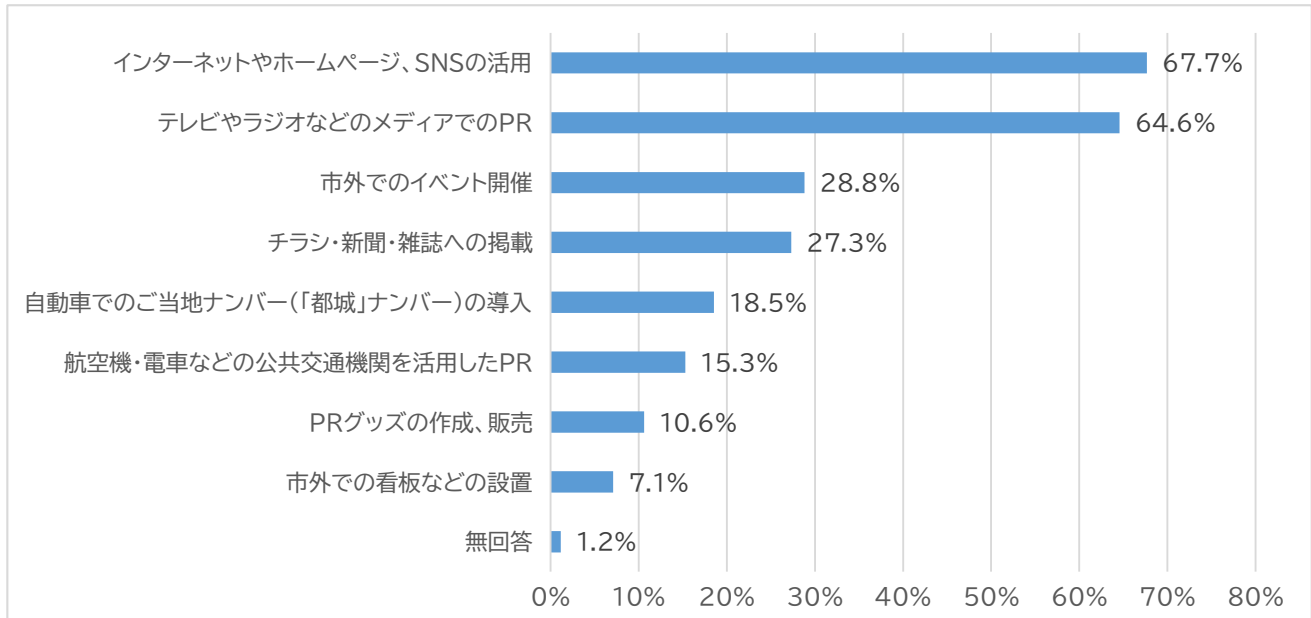
・「日頃、食品を選ぶ際に気を付けていること」については、「価格」が79.7%と最も多く、次いで「賞味・消費期限」が77.1%、「産地」が61.8%という結果になりました。年代別では、おおむねどの年代においても「価格」、「賞味・消費期限」、「産地」に気を付けて商品を選んでいきます。

・「都城産の農林畜産物でよく口にするもの」については、「豚肉」が74.7%が最も多く、次いで「鶏肉」が74.1%、「米」が60.7%という結果になりました。

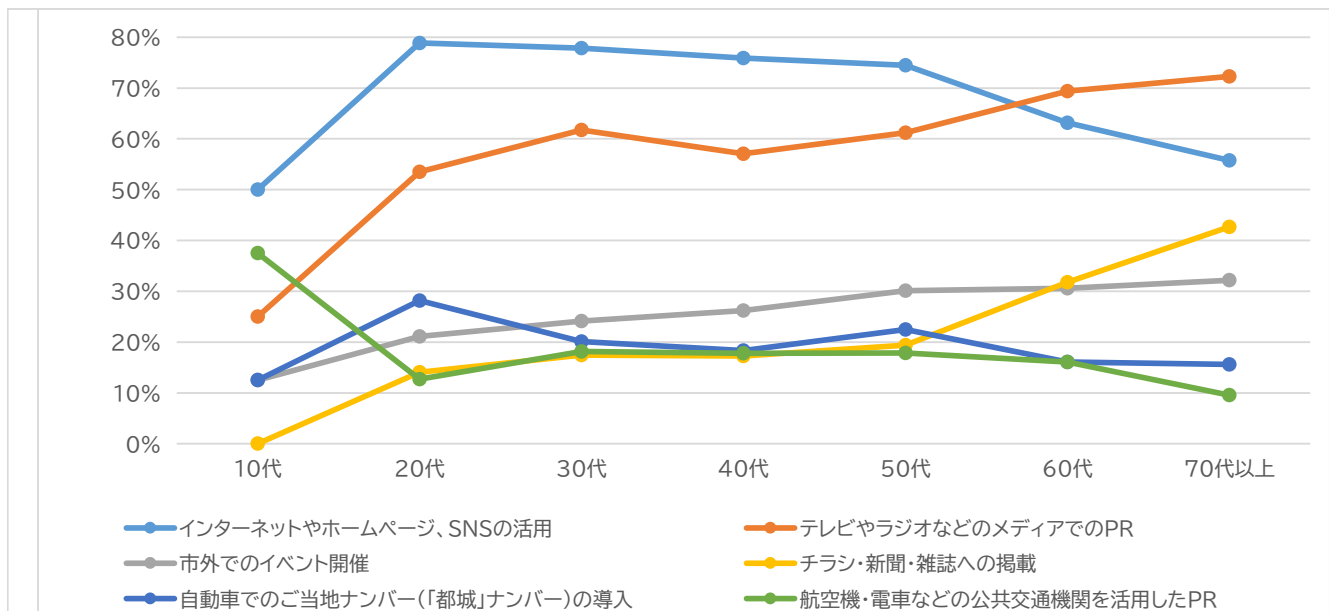
13 市の対外的PRについて

13 今後、市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別 (総計上位6項目)



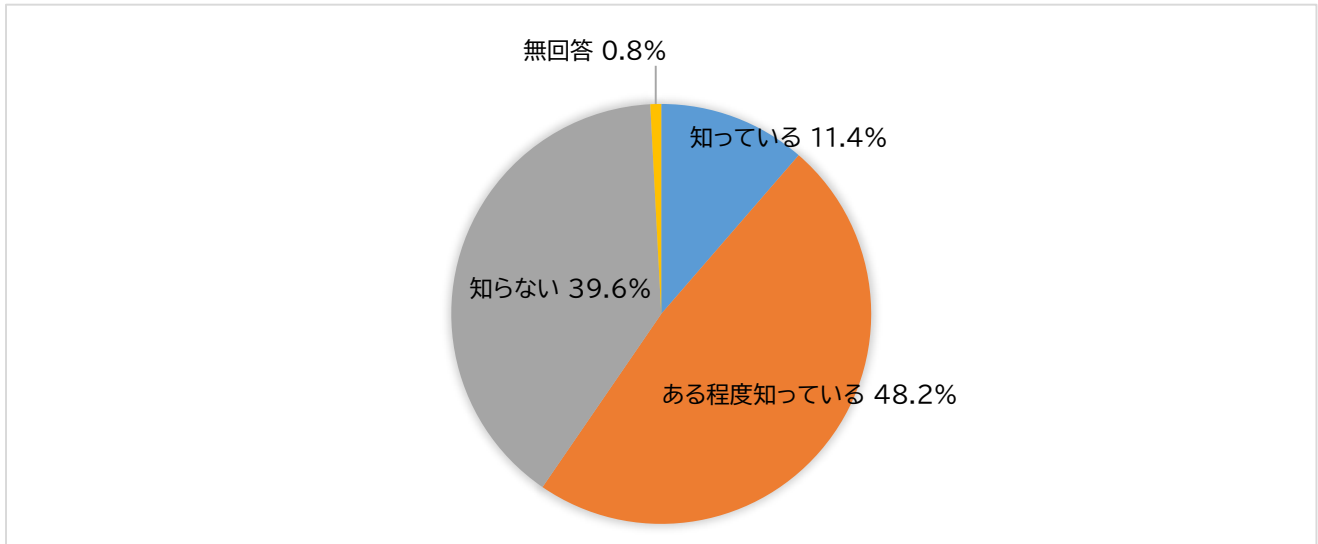
・「市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的か」については、「インターネットやホームページ、SNSの活用」が67.7%と最も多く、次いで「テレビやラジオなどのメディアでのPR」が64.6%となりました。

・年代別に見ると、10代から50代ではデジタルメディアを、60代以上はアナログメディアをより効果的と考える傾向が見られました。

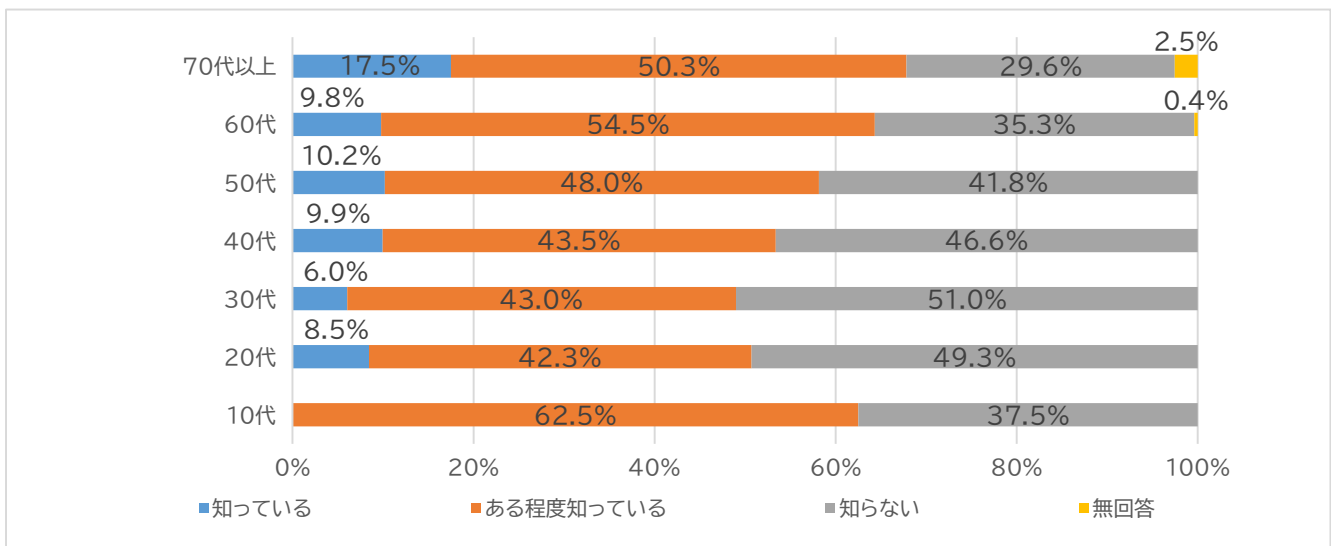
14 ふるさと納税について

14-1 ふるさと納税でいただいた寄附金がどのように使われているかを知っていますか。

全体



年代別



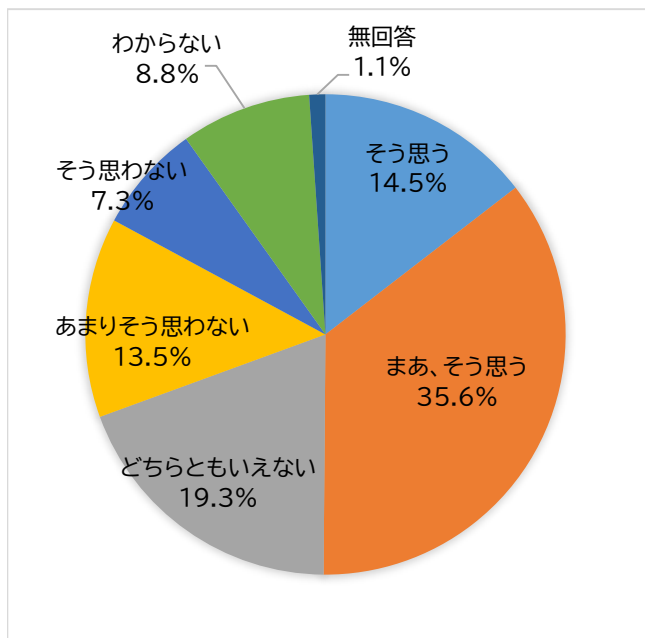
・「ふるさと納税でいただいた寄附金の使い道」については、「知っている」、「ある程度知っている」の合計が59.6%となり、前回(令和6年度)の55.6%と比べると4ポイント増加しました。

・年代別で見ると「知っている」、「ある程度知っている」の合計が多い年代は、70代以上で67.8%、次いで60代の64.3%、10代の62.5%という結果になりました。

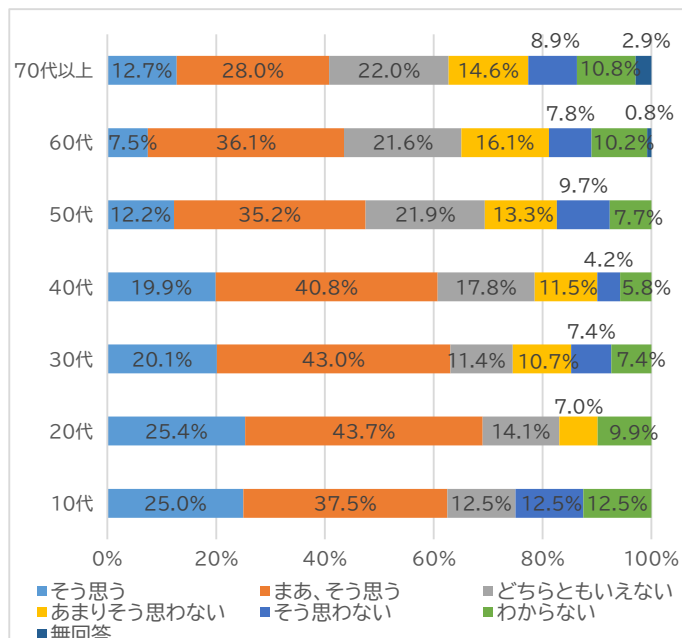
15 中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」について

15-1 中心市街地中核施設「Mallmall」が整備されて、中心市街地が活性化してきていると思いますか。

全体

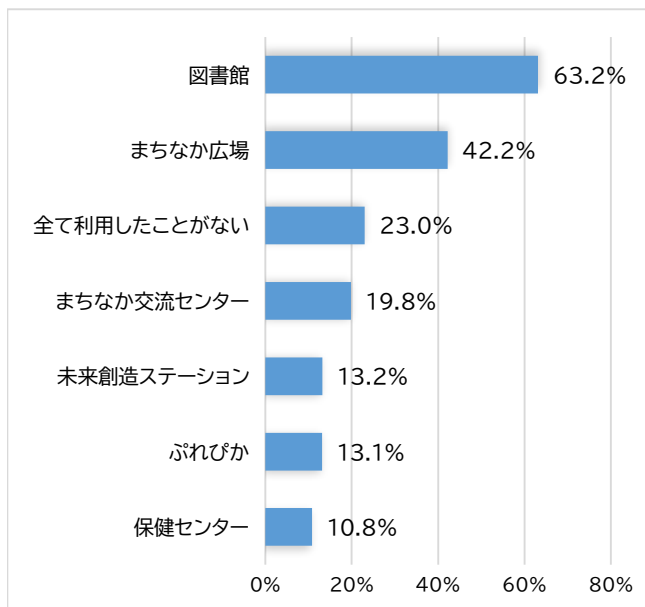


年代別

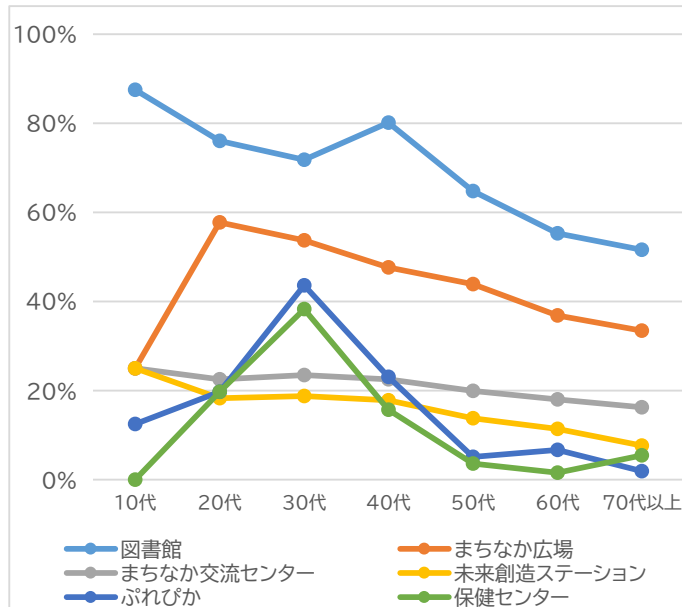


15-2 中心市街地中核施設「Mallmall」のどの施設を利用したことがありますか。

全体



年代別



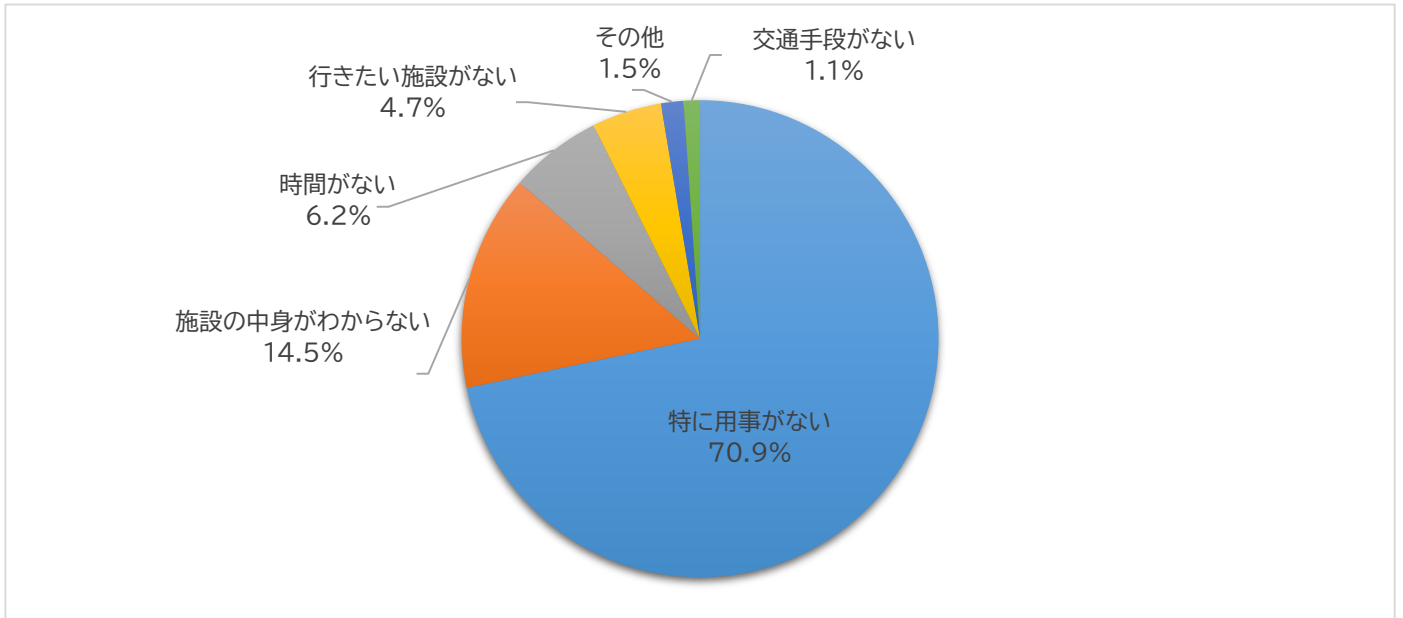
・「中心市街地が活性化してきていると思うか」については、「そう思う」、「まあそう思う」と答えた人が50.1%で半数以上になりました。

・「どの施設を利用したことがあるか」については、「図書館」が63.2%となり、全ての年代において50%以上の人が図書館を利用したことがあるという結果になりました。

15 中心市街地中核施設「Mallmall(まるまる)」について

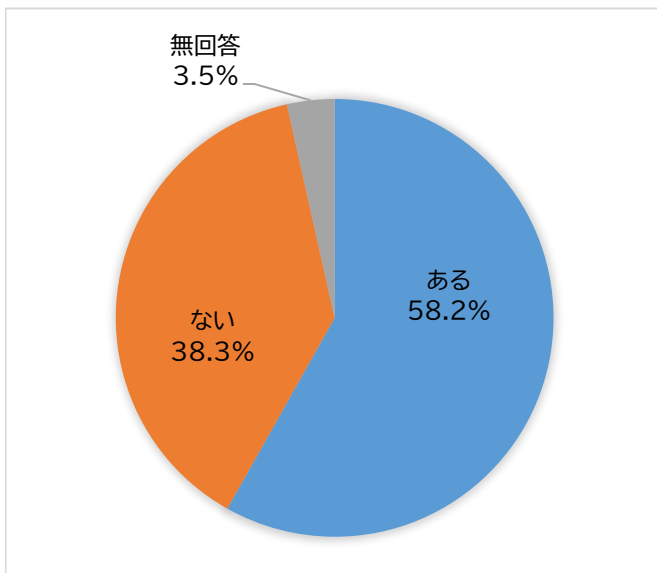
15-3 質問15-2で「全て利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。利用したことがない理由は何ですか。

全体

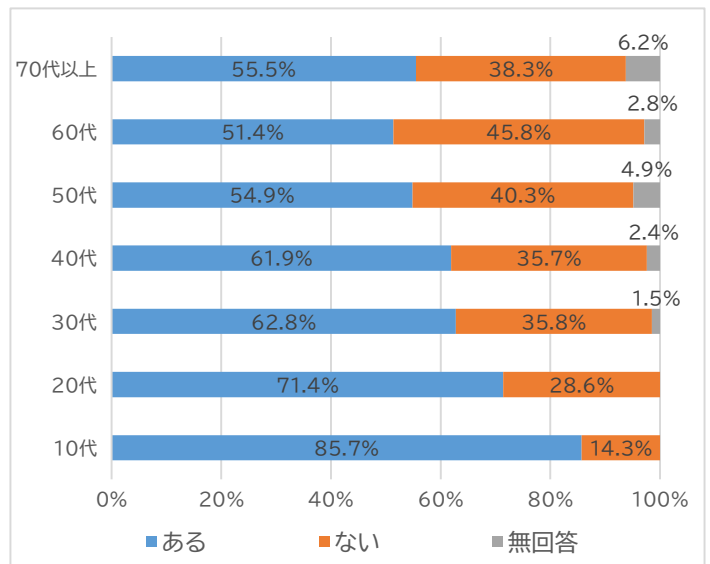


15-4 質問15-2で「1.ある」と回答された方へお尋ねします。施設利用の前後で、周辺商店街などを利用したことがありますか。

全体



年代別



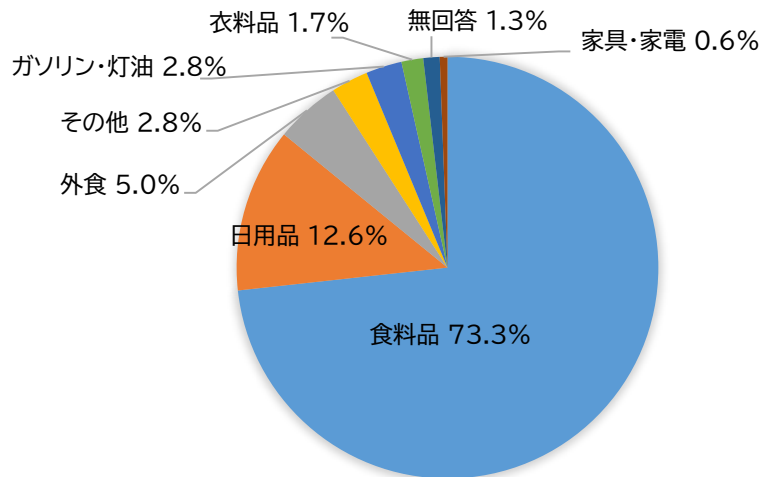
・「全て利用したことがない」と答えた人のうち、「利用したことがない理由」について「特に用事がない」と答えた人が70.9%と最も多く、次いで「施設の中身がわからない」が14.5%になりました。

・「施設利用の前後で、周辺商店街などを利用したことがあるか」については、「ある」と答えた人が58.2%となりました。年代別に見ると、10代の85.7%が最も多く、次いで20代の71.4%となりました。

16 都城市物価高騰対策！暮らし応援券について

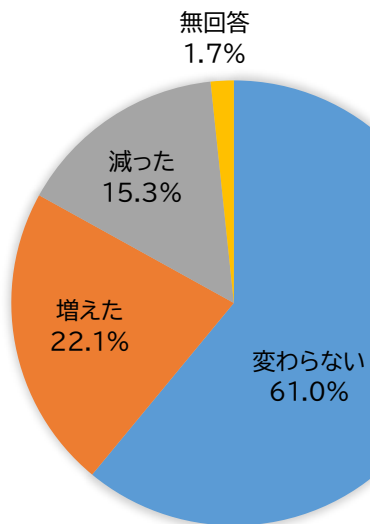
16-1 令和6年度の「都城市物価高騰対策！暮らし応援券」は主に何に利用しましたか。

全体

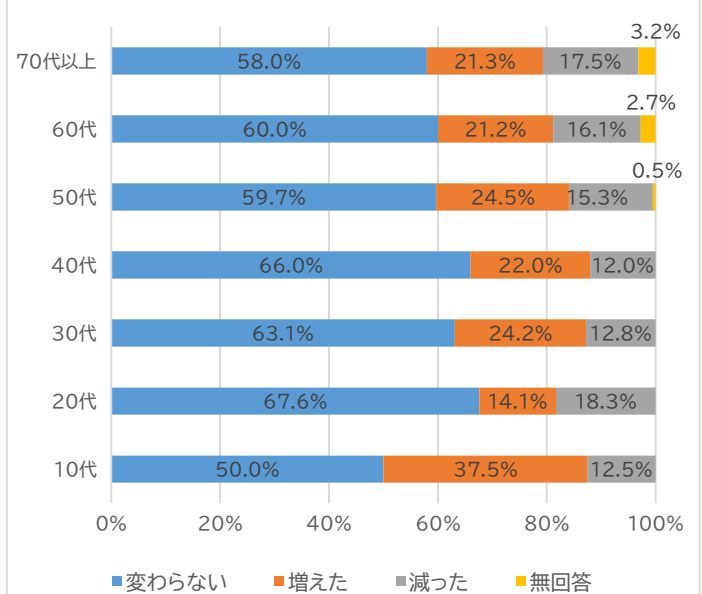


16-2 暮らし応援券によって買い物等への出費はどう変化しましたか。

全体



年代別



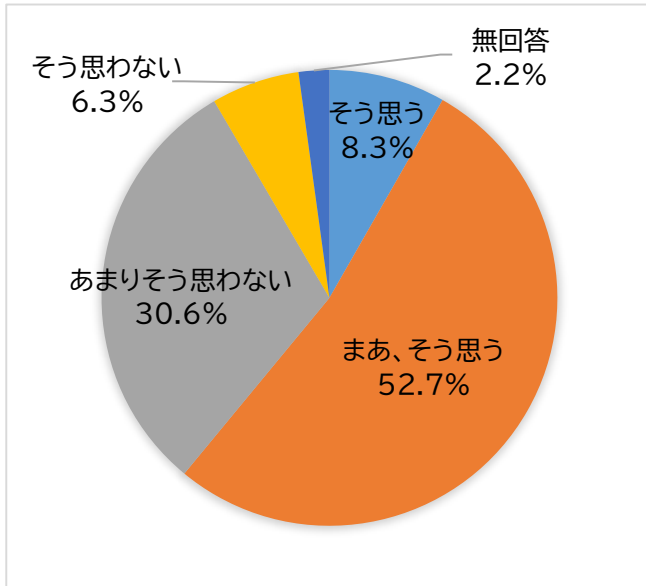
・「都城市物価高騰対策！暮らし応援券は主に何に利用したか」については、「食料品」が73.3%と最も多く、次いで「日用品」の12.6%となりました。

・「暮らし応援券によって買い物等への出費はどう変化したか」については、「変わらない」が61.0%と最も多くなりました。年代別で見ても、全ての年代で「変わらない」が一番多い結果となりました。

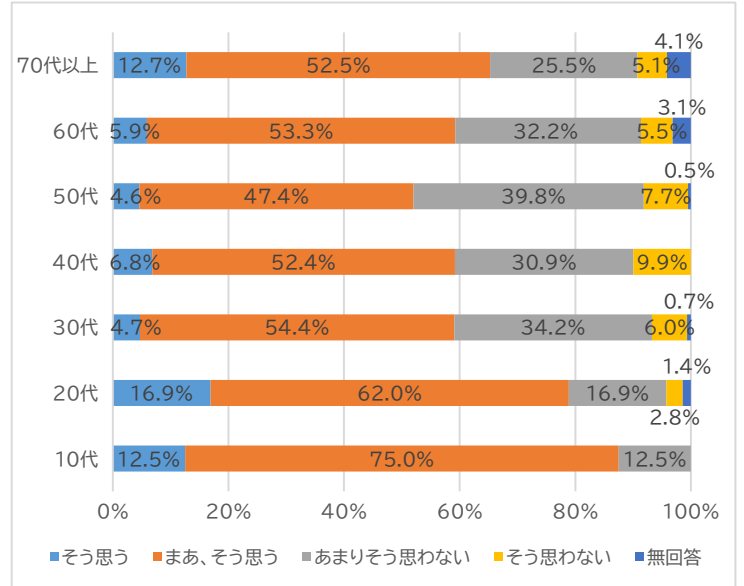
17 福祉の充実について

17-1 福祉に関する困りごとについて気軽に相談でき、安心して暮らせるまちだと思いますか。

全体

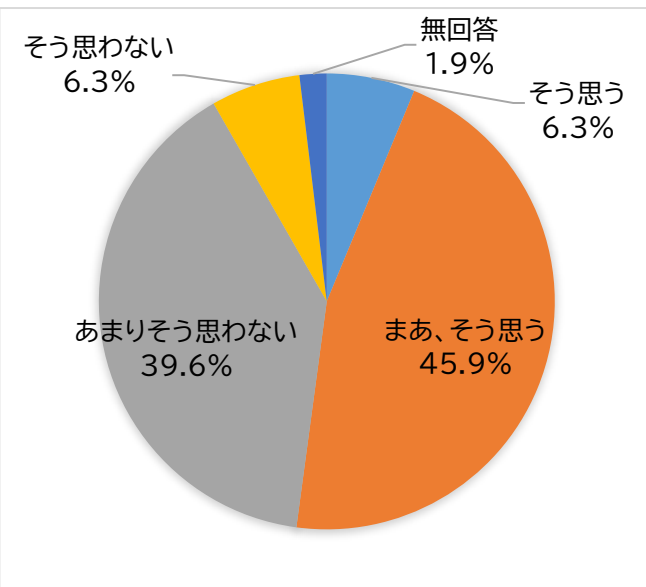


年代別

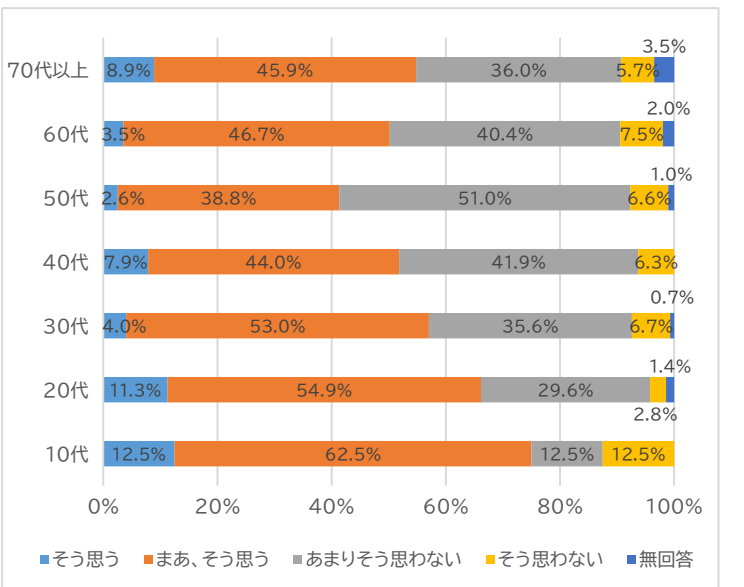


17-2 日常生活の中で地域住民が支え合い、誰もが地域の活動等の社会参加をすることができるまちだと思いますか。

全体



年代別



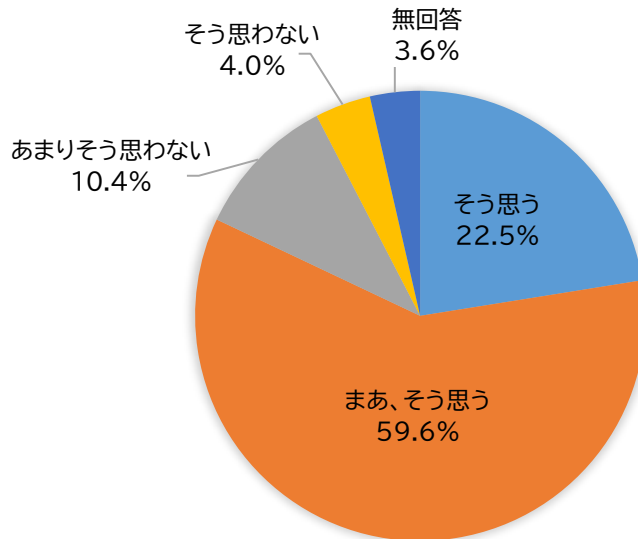
・「福祉に関する困りごとについて気軽に相談でき、安心して暮らせるまちだと思うか」については、「そう思う」、「まあ、そう思う」と答えた人の合計が61.0%となりました。年代別で見ると、10代、20代について「そう思う」、「まあ、そう思う」と答えた人の合計が70%を超える結果となりました。

・「日常生活の中で地域住民が支え合い、誰もが地域の活動等の社会参加をすることができるまちだと思うか」については、「そう思う」、「まあ、そう思う」と答えた人の合計が52.2%となりました。年代別で見ると、50代を除く全ての年代で「そう思う」、「まあ、そう思う」の合計が50%を超える結果となりました。

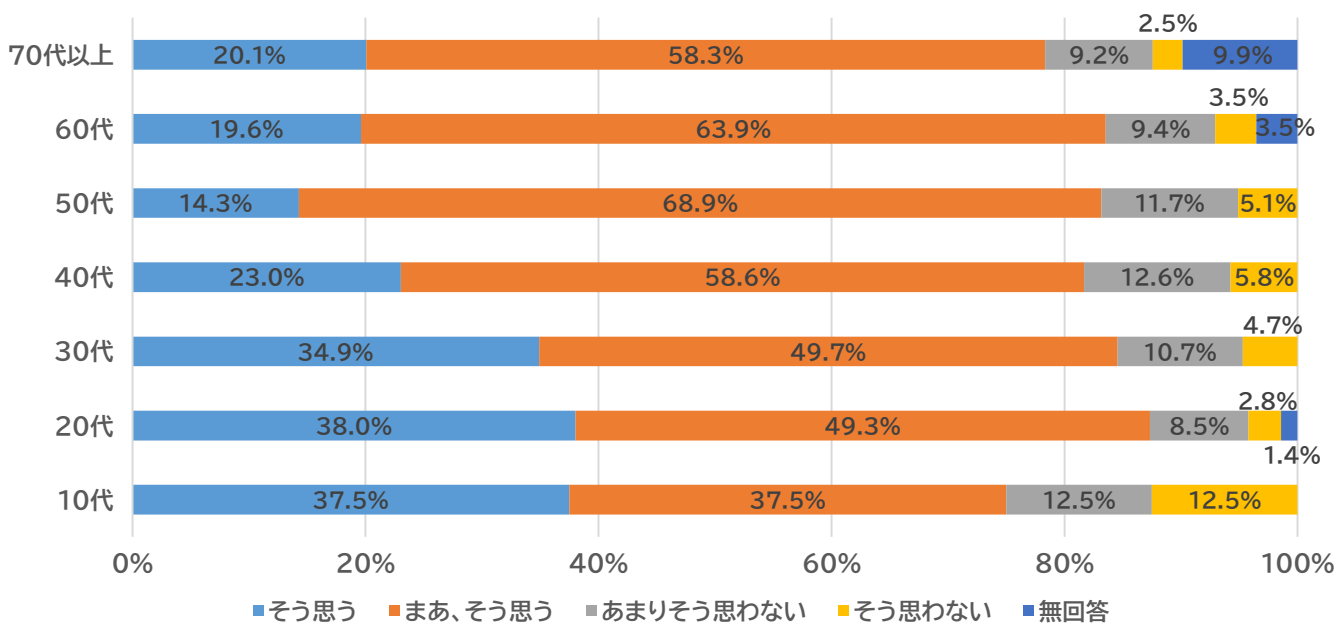
18 子育てについて

18 子育てしやすい、または子育てにやさしいまちだと思いますか。

全体



年代別



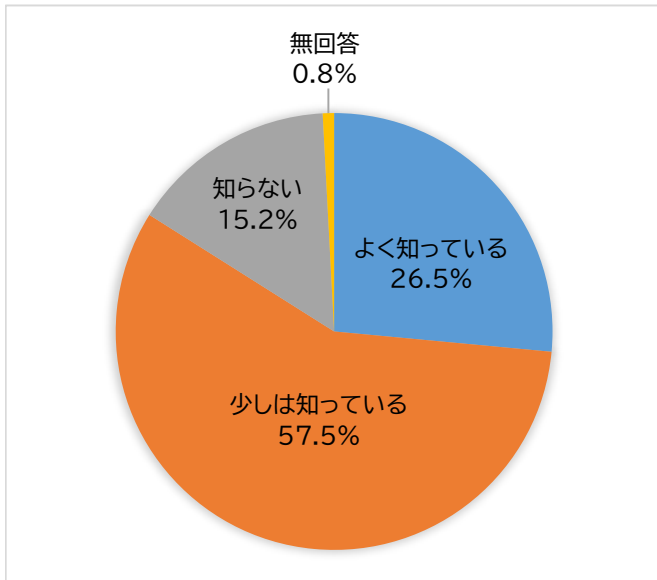
・「子育てしやすい、または子育てにやさしいまちだと思うか」について、「そう思う」、「まあ、そう思う」と答えた人の合計が82.1%と高い結果となりました。

・年代別に見ると、「そう思う」、「まあ、そう思う」の合計が最も高い結果となったのは、20代の87.3%、次いで30代の84.6%でした。

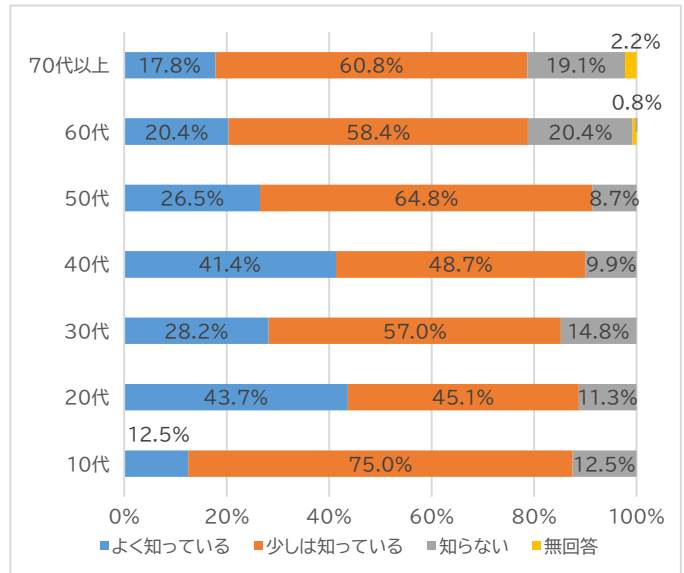
19 心の健康について

19-1 自殺で亡くなった人は、うつ病の人が多くと言われています。憂うつ、気分が重い、好きなこともやりたくないなどの「うつ病のサイン」を知っていますか。

全体

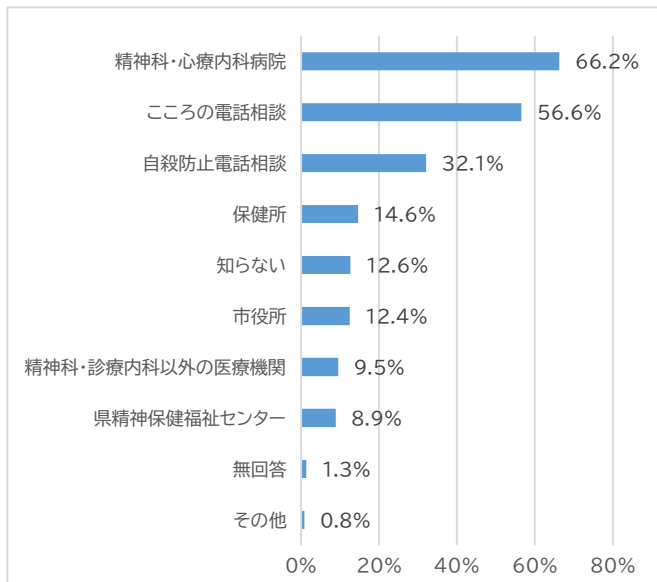


年代別

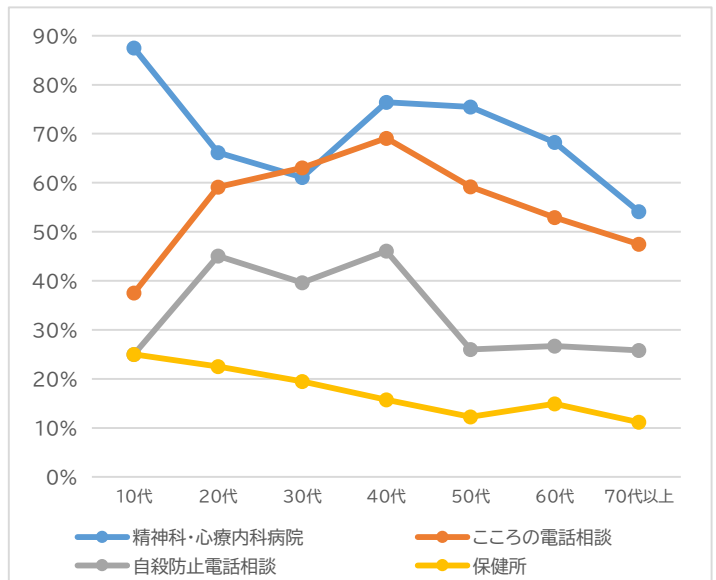


19-2 こころの悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別 (総計上位4項目)



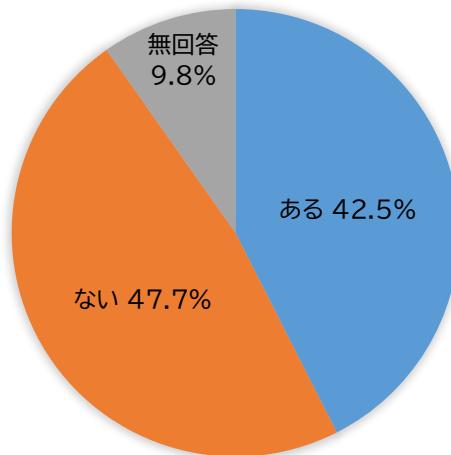
・「うつ病のサインを知っているか」について、「よく知っている」、「少しは知っている」と答えた人の合計は84.0%となりました。年代別に見ると、50代が91.3%と最も高く、次いで40代の90.1%となりました。

・「こころの悩みの相談先として知っている窓口」については、「精神科・心療内科病院」が66.2%と最も高く、次いで「こころの電話相談」の56.6%となりました。

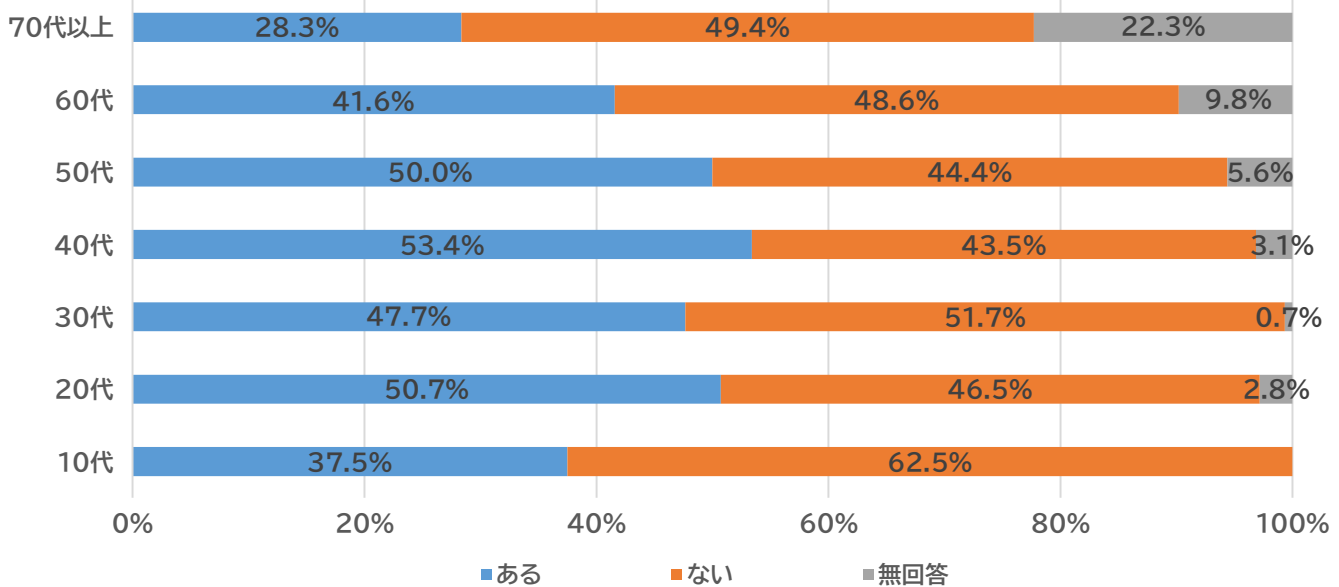
20 道路について

20 日頃利用している道路で、渋滞しているなど、不便と感じる交差点や道路がありますか。具体的な場所や内容があれば教えてください。

全体



年代別



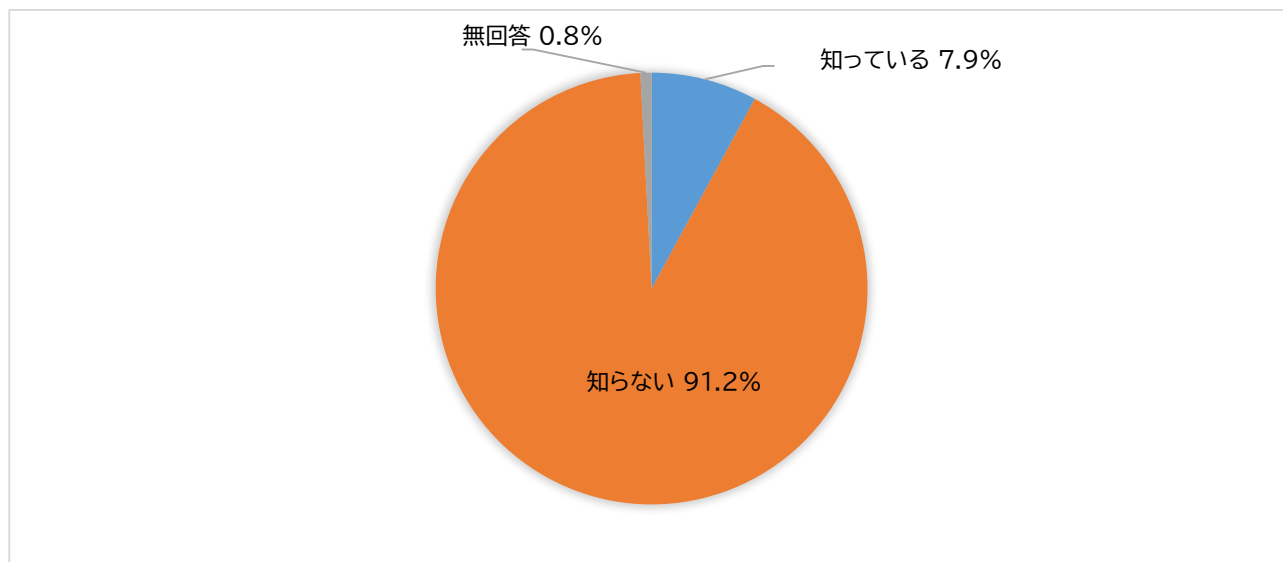
・「日頃利用している道路で、渋滞しているなど、不便と感じる交差点や道路があるか」については、42.5%の人が「ある」と答えました。

・年代別に見ると、「ある」と答えた人は、40代の53.4%が最も高い結果となり、次いで20代の50.7%となりました。

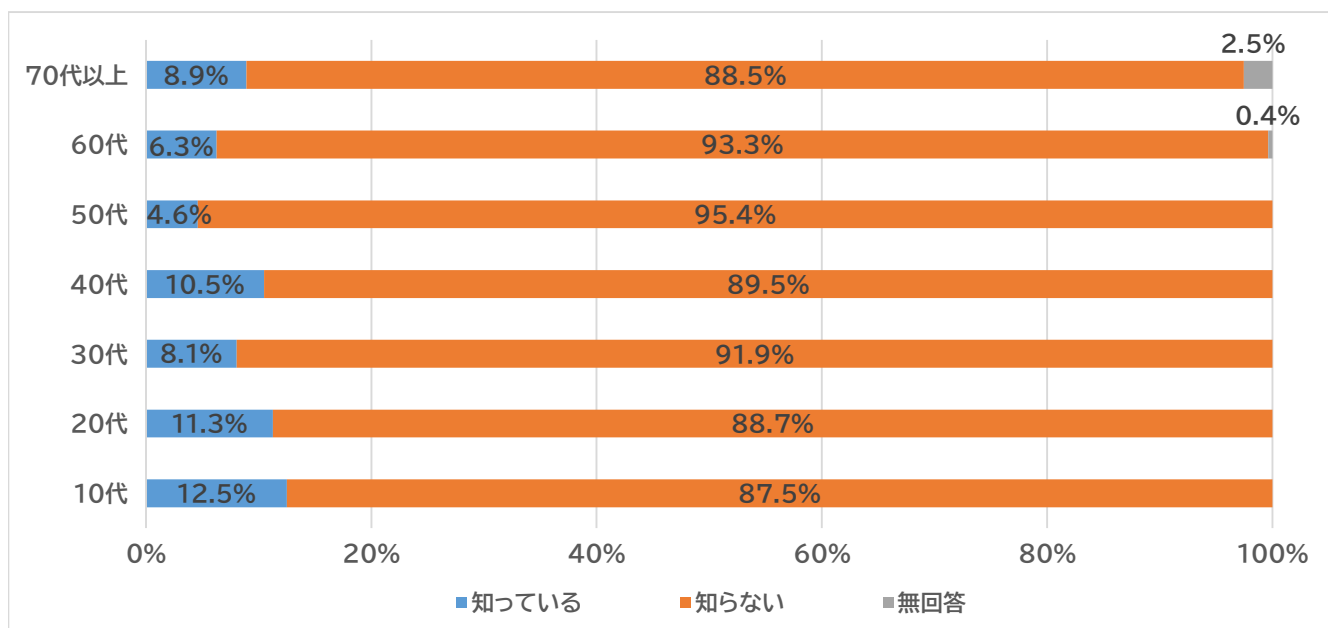
21 都城教育の日について

21 市では、一人一人が学びについて考え、教育への理解と関心を高める原点の日として、毎年2月18日を「都城教育の日」に制定していることを知っていますか。

全体



年代別



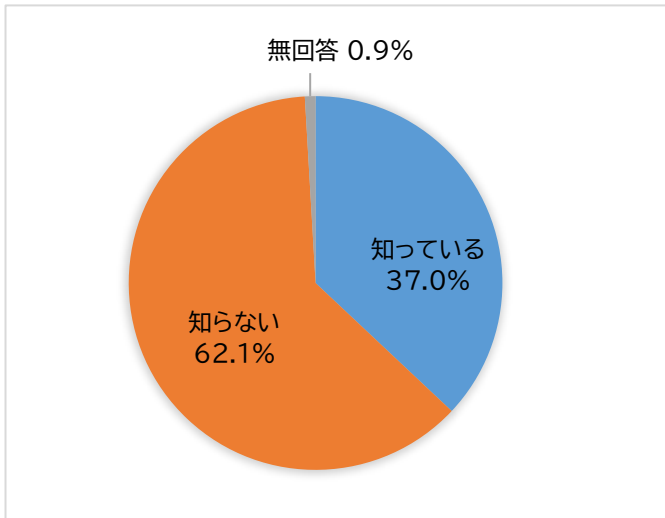
・「都城教育の日を知っているか」について、「知っている」と答えた人が7.9%で前回(令和6年度)の8.0%と比較すると0.1ポイント減少しました。

・年代別に見ると、「知っている」と答えた人は、10代の12.5%が最も高い結果となり、次いで20代が11.3%、40代が10.5%となりました。

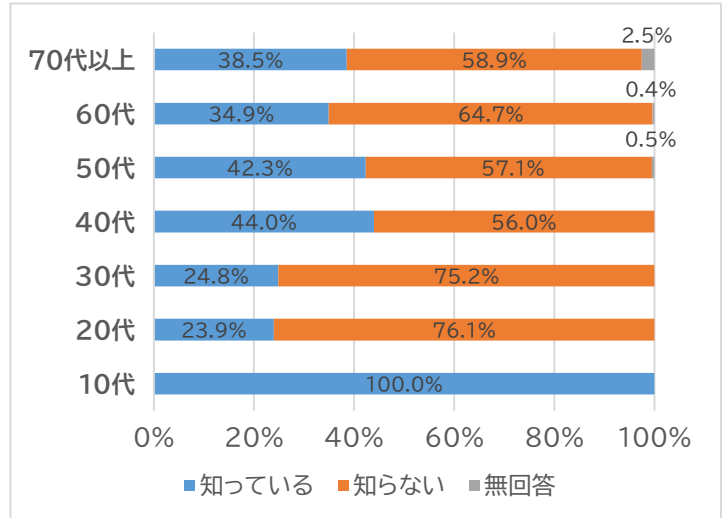
22 家庭の日について

22-1 宮崎県では青少年の健全な育成に関し、家庭の果たす役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めていること知っていますか。

全体

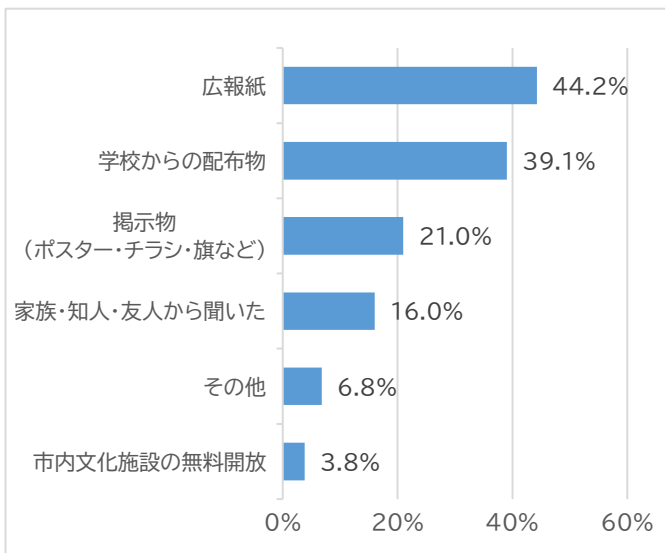


年代別

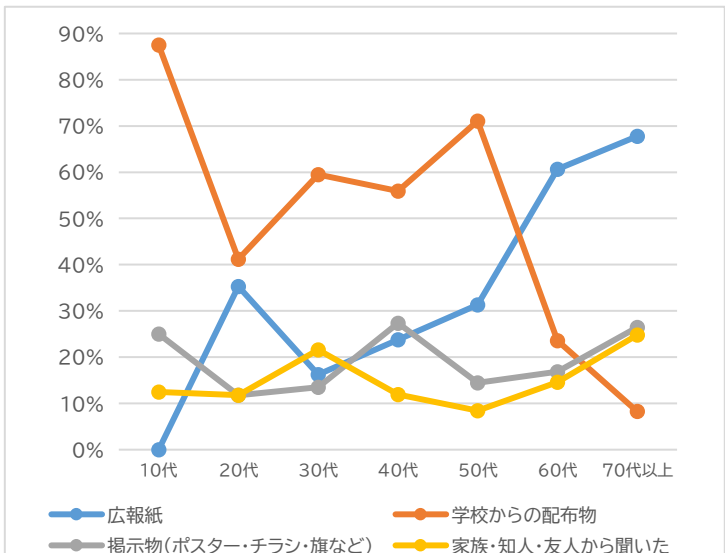


22-2 「家庭の日」を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別 (総計上位4項目)



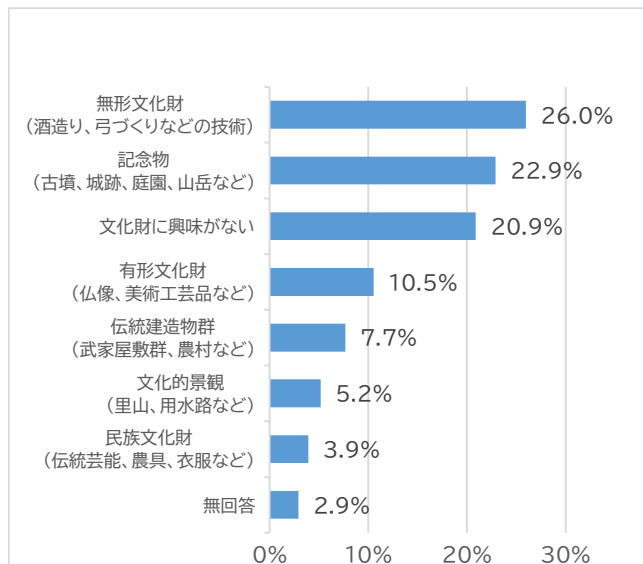
・「宮崎県では毎月第3日曜日を『家庭の日』と定めていること知っているか」については37.0%の人が「知っている」と答えました。年代別で見ると、10代では全ての人が「知っている」という結果になりました。

・「『家庭の日』を知ったきっかけ」については、「市の広報紙」が44.2%と最も高く、次いで「学校からの配布物」が39.1%、「掲示物」の21.0%となりました。年代別に見ると、10代から50代までは「学校からの配布物」が最も多く、60代、70代以上は「広報紙」が最も多い結果となりました。

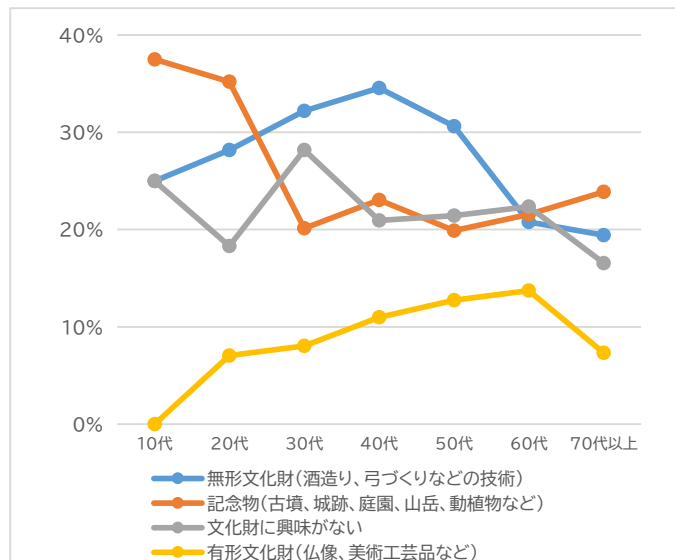
23 文化財について

23-1 あなたが興味のある文化財は何ですか。(最も当てはまるもの1つに○)

全体

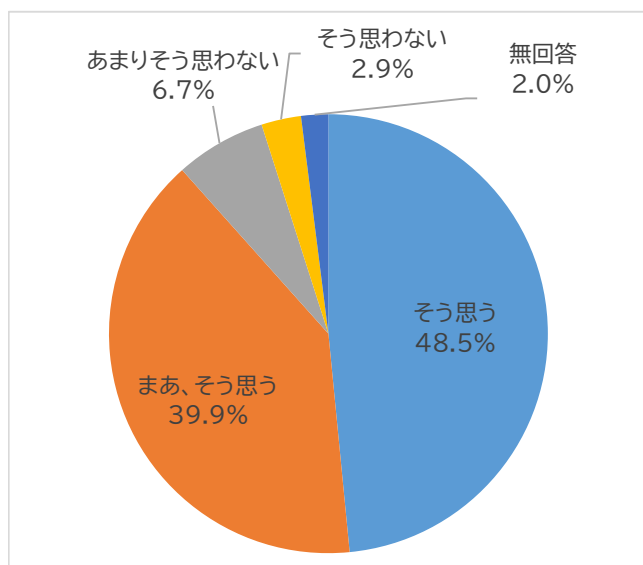


年代別 (総計上位4項目)

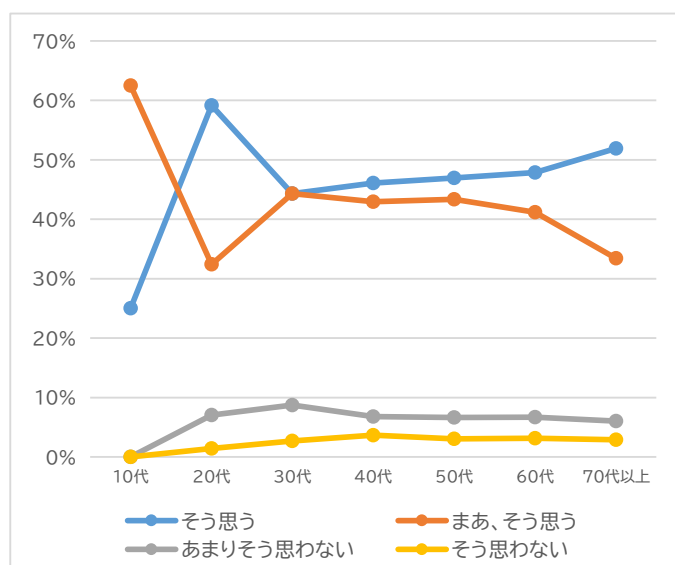


23-2 あなたは、文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことについて重要だと思いますか。

全体



年代別



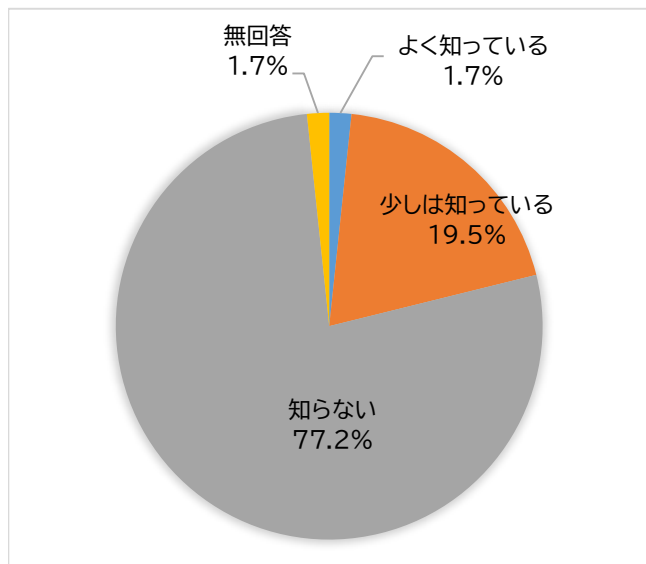
・「あなたが興味のある文化財は何か」については、「無形文化財(酒造り、弓づくりなどの技術)」が最も多く、次いで「記念物(古墳、城跡、庭園、山岳、動植物など)」という結果となりました。年代別に見ると、10代、20代、70代以上で一番多かったのは「記念物(古墳、城跡、庭園、山岳、動植物など)」、30代～50代では「無形文化財(酒造り、弓づくりなどの技術)」の結果となりました。

・「文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことについて重要だと思うか」については、「そう思う」、「まあ、そう思う」と答えた人の合計が88.4%となりました。

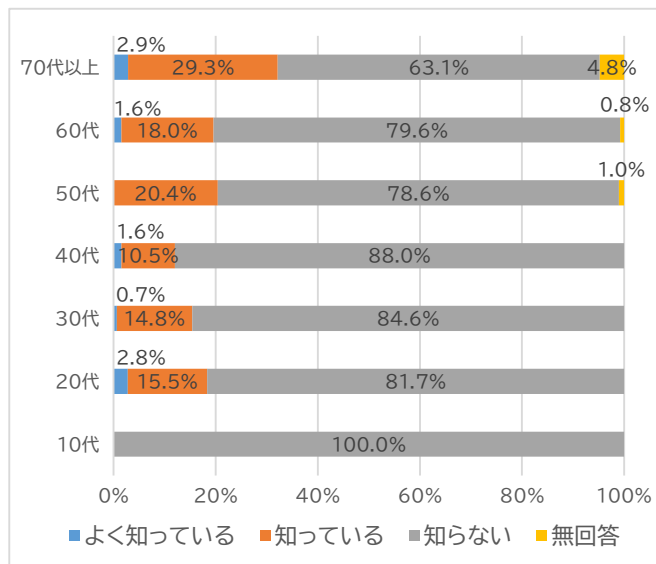
24 市議会活動について

24-1 現在、市議会が議会力向上に向けた活動(政策提言協議会活動)に取り組んでいることを知っていますか。

全体

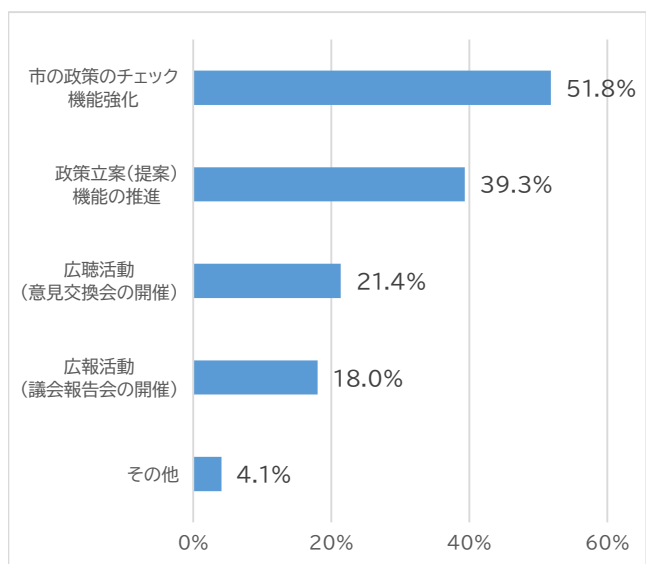


年代別

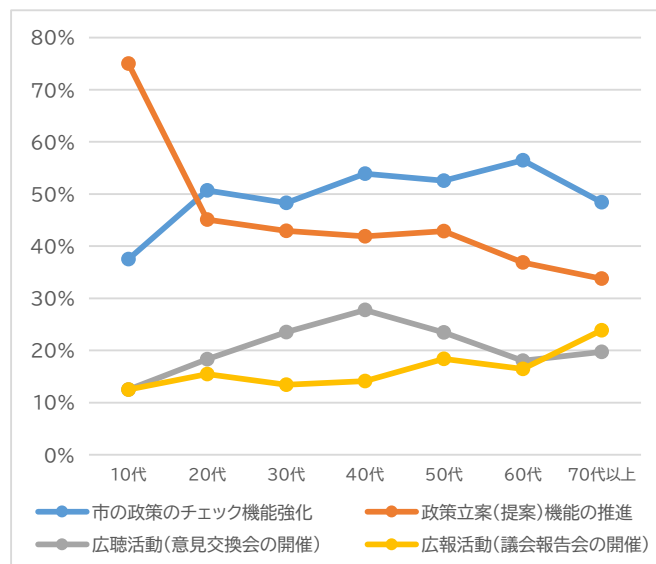


24-2 今後、議会の活動で期待する活動は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

全体



年代別



・「現在、市議会が議会力向上に向けた活動(政策提言協議会活動)に取り組んでいることを知っているか」については、「知らない」が77.2%になりました。年代別に見ると「よく知っている」、「少しは知っている」と答えた人の合計の割合が高かったのは70代以上、次いで60代の順になりました。

・今後、議会の活動で期待する活動については、「市の政策のチェック機能強化」が51.8%と半数を超えました。次いで、年代別に見た場合、10代～50代においては「政策立案(提案)機能の推進」の割合が40%を超える結果となりました。

第3章 資料

1 全体集計

1-1 性別を教えてください。(戸籍上ではなく、あなたの思う性別でお答えください。)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	男性	492	41.1%
(2)	女性	694	58.0%
(3)	その他	11	0.9%
	計	1,197	

1-2 年代を教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	10代	8	0.7%
(2)	20代	71	5.9%
(3)	30代	149	12.4%
(4)	40代	191	16.0%
(5)	50代	196	16.4%
(6)	60代	255	21.3%
(7)	70代以上	314	26.2%
(8)	答えたくない	5	0.4%
	無回答	8	0.7%
	計	1,197	

1-3 都城市での居住年数(通算)を教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	1年未満	21	2.3%
(2)	1年以上5年未満	90	4.8%
(3)	5年以上10年未満	58	5.0%
(4)	10年以上20年未満	115	10.5%
(5)	20年以上	895	76.4%
	無回答	18	1.1%
	計	1,197	

1-4 お住まいの地区を教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	姫城	81	6.8%
(2)	妻ヶ丘	144	12.0%
(3)	小松原	72	6.0%
(4)	祝吉	137	11.4%
(5)	五十市	142	11.9%
(6)	横市	116	9.7%
(7)	沖水	101	8.4%
(8)	志和池	50	4.2%
(9)	庄内	66	5.5%
(10)	西岳	6	0.5%
(11)	中郷	67	5.6%
(12)	山之口	35	2.9%
(13)	高城	68	5.7%
(14)	山田	41	3.4%
(15)	高崎	63	5.3%
	無回答	8	0.7%
	計	1,197	

2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1～34)をご記入ください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	農林畜産業の振興	80	6.7%
(2)	商工業の振興	47	3.9%
(3)	移住・定住の促進	404	33.8%
(4)	防災・消防対策	43	3.6%
(5)	防犯・交通安全対策	32	2.7%
(6)	保健・医療体制	129	10.8%
(7)	子ども・子育て支援	538	44.9%
(8)	福祉のまちづくり	55	4.6%
(9)	健康づくり	115	9.6%
(10)	学校教育の充実	65	5.4%
(11)	文化・芸術の振興	24	2.0%
(12)	生涯学習・社会教育の充実	26	2.2%
(13)	国際交流の推進	15	1.3%
(14)	スポーツの推進	295	24.6%
(15)	市民協働のまちづくり	10	0.8%
(16)	男女共同参画の推進	5	0.4%
(17)	人権の尊重	14	1.2%
(18)	まちなかの活性化	284	23.7%
(19)	計画的な市街地整備	56	4.7%
(20)	中山間地域の振興	3	0.3%
(21)	住環境の維持	21	1.8%
(22)	上下水道の整備	41	3.4%
(23)	道路の整備	179	15.0%
(24)	市の対外的PRの推進	107	8.9%
(25)	観光の振興	71	5.9%
(26)	自然環境の保全	9	0.8%
(27)	脱炭素の推進	4	0.3%
(28)	ごみ処理・リサイクル	298	24.9%
(29)	広域連携の推進	5	0.4%
(30)	接遇の向上	16	1.3%
(31)	デジタル化の推進	200	16.7%
(32)	広報広聴活動	27	2.3%
(33)	出会いの創出と婚活支援	34	2.8%
(34)	交通体系の確保	48	4.0%

2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1～34)をご記入ください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	農林畜産業の振興	141	11.8%
(2)	商工業の振興	106	8.9%
(3)	移住・定住の促進	61	5.1%
(4)	防災・消防対策	111	9.3%
(5)	防犯・交通安全対策	156	13.0%
(6)	保健・医療体制	285	23.8%
(7)	子ども・子育て支援	247	20.6%
(8)	福祉のまちづくり	222	18.5%
(9)	健康づくり	86	7.2%
(10)	学校教育の充実	143	11.9%
(11)	文化・芸術の振興	61	5.1%
(12)	生涯学習・社会教育の充実	41	3.4%
(13)	国際交流の推進	19	1.6%
(14)	スポーツの推進	47	3.9%
(15)	市民協働のまちづくり	32	2.7%
(16)	男女共同参画の推進	12	1.0%
(17)	人権の尊重	34	2.8%
(18)	まちなかの活性化	215	18.0%
(19)	計画的な市街地整備	120	10.0%
(20)	中山間地域の振興	93	7.8%
(21)	住環境の維持	121	10.1%
(22)	上下水道の整備	99	8.3%
(23)	道路の整備	318	26.6%
(24)	市の対外的PRの推進	28	2.3%
(25)	観光の振興	104	8.7%
(26)	自然環境の保全	75	6.3%
(27)	脱炭素の推進	34	2.8%
(28)	ごみ処理・リサイクル	90	7.5%
(29)	広域連携の推進	15	1.3%
(30)	接遇の向上	17	1.4%
(31)	デジタル化の推進	44	3.7%
(32)	広報広聴活動	14	1.2%
(33)	出合いの創出と婚活支援	70	5.8%
(34)	交通体系の確保	206	17.2%

3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	現在住んでいるところに住み続けたい	936	78.2%
(2)	市内の別の地域に住みたい	101	8.4%
(3)	市内には住みたくない	27	2.3%
(4)	わからない	133	11.1%
	計	1,197	

※質問3-1で「1.現在住んでいるところに住み続けたい」と回答した方にお尋ねします

3-2 住み続けたいと答えた理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	通勤や通学に便利だから	257	27.5%
(2)	買い物や通院に便利だから	437	46.7%
(3)	自然環境が良いから	224	23.9%
(4)	文化や教育面の環境が良いから	34	3.6%
(5)	住み慣れているから	566	60.5%
(6)	自分の家があるから	663	70.8%
(7)	親族が近くにいるから	244	26.1%
(8)	近所づきあいなど人間関係が良いから	187	20.0%
(9)	防災・防犯などの安心さから	107	11.4%
(10)	特に理由はない	11	1.2%
(11)	その他	10	1.1%

※質問3-1で「2.市内の別の地域に住みたい」「3.市内には住みたくない」と回答した方にお尋ねします

3-3 別の地域に住みたい、市内には住みたくないと答えた理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	通勤や通学に不便だから	25	19.5%
(2)	買い物や通院に不便だから	58	45.3%
(3)	自然環境が良くないから	7	5.5%
(4)	文化や教育面の環境が良くないから	12	9.4%
(5)	騒音など住環境が良くないから	19	14.8%
(6)	生まれ育った土地でないから	22	17.2%
(7)	地代や家賃が高いから	12	9.4%
(8)	近所づきあいなど人間関係が良くないから	18	14.1%
(9)	防災・防犯などが不安だから	20	15.6%
(10)	今の住居に不満があるから	15	11.7%
(11)	都会に住みたいから	13	10.2%
(12)	特に理由はない	8	6.3%
(13)	その他	28	21.9%

4 あなたは市の情報をどのような方法で得ていますか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	広報紙	767	54.1%
(2)	市のホームページ	347	61.4%
(3)	市が発信するSNS	358	23.9%
(4)	市のホームページ	347	12.2%
(5)	市役所窓口	30	19.3%
(6)	市のチラシ	177	8.5%
(7)	テレビやラジオ	366	8.4%
(8)	新聞	166	6.2%
(9)	その他	35	

5 令和9年に宮崎県で日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会)が開催されることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	972	81.2%
(2)	知らない	210	17.5%
	無回答	15	1.3%
	計	1,197	

- 6 令和7年4月、霧島酒造スポーツランド都城がオープンしました。今後、どのような行事が行われることを期待しますか。(最も当てはまるもの1つに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	プロスポーツのキャンプ	134	11.2%
(2)	プロスポーツの公式戦や全国規模のスポーツ大会	464	38.8%
(3)	音楽フェス、コンサートなどのイベント	542	45.3%
(4)	その他	24	2.0%
	無回答	33	2.8%
	計	1,197	

- 7 あなたは、健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	週に3日以上	282	23.6%
(2)	週に1～2日程度	296	24.7%
(3)	月に1～3日程度	126	10.5%
(4)	3カ月に1～2日程度	49	4.1%
(5)	年に1～3日程度	50	4.2%
(6)	全くしていない	384	32.1%
	無回答	10	0.8%
	計	1,197	

- 8-1 外国の方を身近に感じますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	身近に感じる	431	36.0%
(2)	身近に感じない	745	62.2%
	無回答	21	1.8%
	計	1,197	

- 8-2 都城市が、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	両都市との提携を知っている	151	12.6%
(2)	重慶市江津区との提携は知っている	8	0.7%
(3)	ウランバートル市との提携は知っている	289	24.1%
(4)	どちらの提携も知らない	744	62.2%
	無回答	5	0.4%
	計	1,197	

- 9-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	賛成	28	2.3%
(2)	どちらかといえば賛成	125	10.4%
(3)	どちらかといえば反対	368	30.7%
(4)	反対	514	42.9%
(5)	わからない	157	13.1%
	無回答	5	0.4%
	計	1,197	

9-2 「社会(政治や職場など)において、男女の地位は平等」だと思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	平等	122	10.2%
(2)	どちらかといえば平等	246	20.6%
(3)	どちらかといえば不平等	491	41.0%
(4)	不平等	228	19.0%
(5)	わからない	98	8.2%
	無回答	12	1.0%
	計	1,197	

10-1 野生生物や希少な動植物の減少または絶滅が環境問題となっています。市内に生息している知っている希少な動植物は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	ハッチョウトンボ	164	13.7%
(2)	サクラソウ	122	10.2%
(3)	コマツカサススキ	16	1.3%
(4)	オオヨドシマドジョウ	86	7.2%
(5)	ニホンイシガメ	92	7.7%
(6)	知らない	875	73.1%
	無回答	16	1.3%

10-2 外来生物による生態系への影響が環境問題となっています。市内に生息している知っている外来生物は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	コウライオヤニラミ	129	10.8%
(2)	セイタカアワダチソウ	448	37.4%
(3)	メリケントキンソウ	63	5.3%
(4)	ホテイアオイ	67	5.6%
(5)	アカミミガメ(通称ミドリガメ)	239	20.0%
(6)	知らない	504	42.1%
	無回答	8	0.7%

10-3 温室効果ガスの影響が環境問題となっています。節電や節水など家庭でカーボンニュートラルに関する取り組みを行っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	取り組んでいる	541	45.2%
(2)	取り組んでいない	309	25.8%
(3)	わからない	339	28.3%
	無回答	8	0.7%
	計	1,197	

11-1 市の公共施設や市内商業施設等で使用済小型家電製品を回収していることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	623	52.0%
(2)	知らない	568	47.5%
	無回答	6	0.5%
	計	1,197	

11-2 使用済小型家電製品は、リサイクルできることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	735	61.4%
(2)	知らない	453	37.8%
	無回答	9	0.8%
	計	1,197	

12-1 都城の郷土料理だと知っている料理は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	ゆべし	732	61.2%
(2)	ねったぼ	950	79.4%
(3)	かねんしゅい	121	10.1%
(4)	ふくれがし	779	65.1%
(5)	あくまき	909	75.9%
(6)	煮しめ	781	65.2%
(7)	いりこもち	553	46.2%
(8)	がね	1,104	92.2%
(9)	その他	28	2.3%
(10)	全て知らない	33	2.8%

12-2 郷土料理を代々伝えていくことが大事だと思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	思う	733	61.2%
(2)	まあそう思う	356	29.7%
(3)	あまりそう思わない	69	5.8%
(4)	そう思わない	12	1.0%
(5)	わからない	24	2.0%
	無回答	3	0.3%
	計	1,197	

12-3 日頃、食品を選ぶ際に気を付けていることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	賞味・消費期限	923	77.1%
(2)	価格	954	79.7%
(3)	産地	740	61.8%
(4)	栄養成分	294	24.6%
(5)	アレルギー物質	126	10.5%
(6)	特にない	20	1.7%
	無回答	3	0.3%

12-4 都城産の農林畜産物でよく口にするものは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	米	726	60.7%
(2)	豚肉	894	74.7%
(3)	鶏肉	887	74.1%
(4)	牛肉	690	57.6%
(5)	きゅうり	665	55.6%
(6)	茶	455	38.0%
(7)	しいたけ	641	53.6%
(8)	ごぼう	329	27.5%
(9)	さつまいも	503	42.0%
(10)	さといも	350	29.2%
(11)	らっきょう	236	19.7%
	無回答	4	0.3%

- 13 今後、市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的だと思いますか。
(当てはまるもの全てに○)

(1)	テレビやラジオなどのメディアでのPR	773	64.6%
(2)	インターネットやホームページ、SNSの活用	810	67.7%
(3)	チラシ・新聞・雑誌への掲載	327	27.3%
(4)	市外でのイベント開催	345	28.8%
(5)	市外での看板などの設置	85	7.1%
(6)	PRグッズの作成、販売	127	10.6%
(7)	航空機・電車などの公共交通機関を活用したPR	183	15.3%
(8)	自動車でのご当地ナンバー(「都城」ナンバー)の導入	222	18.5%
	無回答	14	1.2%

- 14 ふるさと納税でいただいた寄附金がどのように使われているかを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	136	11.4%
(2)	ある程度知っている	577	48.2%
(3)	知らない	474	39.6%
	無回答	10	0.8%
	計	1,197	

- 15-1 中心市街地中核施設「Mallmall」が整備されて、中心市街地が活性化していると思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	174	14.5%
(2)	まあ、そう思う	426	35.6%
(3)	どちらともいえない	231	19.3%
(4)	あまりそう思わない	161	13.5%
(5)	そう思わない	87	7.3%
(6)	わからない	105	8.8%
	無回答	13	1.1%
	計	1,197	

- 15-2 中心市街地中核施設「Mallmall」のどの施設を利用したことがありますか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	図書館	756	63.2%
(2)	未来創造ステーション	158	13.2%
(3)	まちなか広場	505	42.2%
(4)	まちなか交流センター	237	19.8%
(5)	保健センター	129	10.8%
(6)	ふれびか	157	13.1%
(7)	全て利用したことがない	275	23.0%
	無回答	9	0.8%

※質問15-2で「7.全て利用したことがない」と答えた方にお尋ねします

- 15-3 利用したことがない理由は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	施設の中身がわからない	40	14.5%
(2)	特に用事(目的)がない	195	70.9%
(3)	行きたい施設がない	13	4.7%
(4)	交通手段がない	3	1.1%
(5)	時間がない	17	6.2%
(6)	その他	4	1.5%

※質問15-2で中心市街地中核施設「Mallmall」を利用したことがある方へお尋ねします

- 15-4 施設利用の前後で、周辺商店街を利用したことがありますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	ある	531	58.2%
(2)	ない	350	38.3%
	無回答	32	3.5%

16-1 令和6年度の「都城市物価高騰対策！暮らし応援券」は主に何に利用しましたか。
(最も当てはまるもの1つに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	食料品	877	73.3%
(2)	日用品	151	12.6%
(3)	衣料品	20	1.7%
(4)	ガソリン・灯油	33	2.8%
(5)	家具・家電	7	0.6%
(6)	外食	60	5.0%
(7)	その他	34	2.8%
	無回答	15	1.3%
	計	1,197	

16-2 暮らし応援券によって買い物等の出費はどう変化しましたか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	増えた	264	22.1%
(2)	減った	183	15.3%
(3)	変わらない	730	61.0%
	無回答	20	1.7%
	計	1,197	

※質問16-2で「1.増えた」と回答した方にお尋ねします

質問16-3 主にどのような理由で出費が増えましたか。(最も当てはまるもの1つに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	買い物の量や頻度が増えた	139	52.7%
(2)	普段は買わない高価なものを買った	46	17.4%
(3)	外食や娯楽への出費が増えた	41	15.5%
(4)	普段は利用しない店舗を利用した	32	12.1%
(5)	その他	6	2.3%

17-1 福祉に関する困りごとについて気軽に相談でき、安心して暮らせるまちだと思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	99	8.3%
(2)	まあ、そう思う	631	52.7%
(3)	あまりそう思わない	366	30.6%
(4)	そう思わない	75	6.3%
	無回答	26	2.2%
	計	1,197	

17-2 日常生活の中で地域住民が支え合い、誰もが地域の活動等の社会参加をすることができるまちだと思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	75	6.3%
(2)	まあ、そう思う	549	45.9%
(3)	あまりそう思わない	474	39.6%
(4)	そう思わない	76	6.3%
	無回答	23	1.9%
	計	1,197	

18 子育てしやすい、または子育てにやさしいまちだと思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	269	22.5%
(2)	まあ、そう思う	713	59.6%
(3)	あまりそう思わない	124	10.4%
(4)	そう思わない	48	4.0%
	無回答	43	3.6%
	全体	1,197	

19-1 自殺で亡くなった人は、うつ病の人が多くと言われています。憂うつ、気分が重い、好きなこともやりたくないなどの「うつ病のサイン」を知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	よく知っている	317	26.5%
(2)	少しは知っている	688	57.5%
(3)	知らない	182	15.2%
	無回答	10	0.8%
	計	1,197	

19-2 こころの悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	精神科・心療内科病院	793	66.2%
(2)	精神科・診療内科以外の医療機関	114	9.5%
(3)	保健所	175	14.6%
(4)	県精神保健福祉センター	106	8.9%
(5)	市役所	149	12.4%
(6)	こころの電話相談	677	56.6%
(7)	自殺防止電話相談	384	32.1%
(8)	知らない	151	12.6%
(9)	その他	10	0.8%
	無回答	16	1.3%

20 日頃利用している道路で、渋滞しているなど、不便と感じる交差点や道路がありますか。
具体的な場所や内容があれば教えてください。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	ある	509	42.5%
(2)	ない	571	47.7%
	無回答	117	9.8%
	計	1,197	5.3%

21 市では、一人一人が学びについて考え、教育への理解と関心を高める原点の日として、毎年2月18日を「都城教育の日」に制定していることを知っていますか。

(1)	知っている	95	7.9%
(2)	知らない	1,092	91.2%
	無回答	10	0.8%
	計	1,197	

22-1 宮崎県では青少年の健全な育成に関し、家庭の果たす役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めていることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	知っている	443	37.0%
(2)	知らない	743	62.1%
	無回答	11	0.9%
	計	1,197	

※質問22-1で「知っている」と回答した方へお尋ねします

22-2 「家庭の日」を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	広報紙	196	44.2%
(2)	掲示物(ポスター・チラシ・旗など)	93	21.0%
(3)	学校からの配布物	173	39.1%
(4)	市内文化施設の無料開放	17	3.8%
(5)	家族・知人・友人から聞いた	71	16.0%
(6)	その他	30	6.8%

23-1 あなたが興味のある文化財は何ですか。(最も当てはまるもの1つに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	有形文化財(仏像、美術工芸品など)	126	10.5%
(2)	無形文化財(酒造り、弓づくりなどの技術)	311	26.0%
(3)	民族文化財(伝統芸能、農具、衣服など)	47	3.9%
(4)	記念物(古墳、城跡、庭園、山岳、動植物など)	274	22.9%
(5)	文化的景観(里山、用水路など)	62	5.2%
(6)	伝統建造物群(武家屋敷群、農村など)	92	7.7%
(7)	文化財に興味がない	250	20.9%
	無回答	35	2.9%
	計	1,197	

23-2 あなたは、文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことについて重要だと思いますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	そう思う	580	48.5%
(2)	まあ、そう思う	478	39.9%
(3)	あまりそう思わない	80	6.7%
(4)	そう思わない	35	2.9%
	無回答	24	2.0%
	計	1,197	

24-1 現在、市議会が議会力向上に向けた活動(政策提言協議会活動)に取り組んでいることを知っていますか。

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	よく知っている	20	1.7%
(2)	少しは知っている	233	19.5%
(3)	知らない	924	77.2%
	無回答	20	1.7%
	計	1,197	

24-2 今後、議会の活動で期待する活動は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

		回答数	(回答数/回答者合計)
(1)	市の政策のチェック機能強化	620	52.2%
(2)	政策立案(提案)機能の推進	471	14.5%
(3)	広聴活動(意見交換会の開催)	256	21.1%
(4)	広報活動(議会報告会の開催)	216	1.7%
(5)	その他	49	9.8%
	無回答	100	0.7%

【調査票】

【回答に当たってのお願い】 全問回答目安時間：15分

- ◆ ご回答は、宛名のご本人様にお願いします。(代筆でも構いません)
- ◆ ご回答は、当てはまる番号に直接○を付けてください。
なお、質問によっては、回答数を指定している質問や、番号を記入していただく質問がありますので、ご注意ください。
- ◆ ご回答が「その他()」に当てはまる場合は、()の中に、具体的にその内容をご記入ください。

【インターネット回答へのご協力のお願い】

--三つ折り線--

本調査は、インターネットによる回答が便利です。
お手持ちのスマートフォンやタブレットなどから、右の QR を読み取っていただくか
下のアドレスから、回答ページにお進みください。

<アドレス>

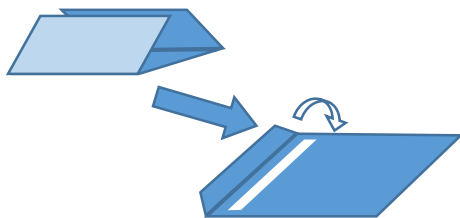
<https://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/ques/questionnaire.php?openid=1117>

※インターネット回答をされる方は、この調査票の返送は不要です



郵送で回答される場合の返送手順

① 調査票を返信用封筒に入れてください。



② 封筒に付いているシールで封をしてください。

③ 切手を貼らずに
最寄りのポストに
投函してください。



--三つ折り線--

本調査でお答えいただいた内容は、全て統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。お考えのままにお答えください。

調査期間： 6月12日(木) から 7月16日(水) まで

※7月16日(水)までに、ポストに投函していただくか、インターネットでの回答をお願いします

● あなた自身のことについて

質問1-1 性別を教えてください。(戸籍上ではなく、あなたの思う性別をお答えください。)

1. 男性 2. 女性 3. その他

質問1-2 年代を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代以上 8. 答えたくない

質問1-3 都城市での居住年数(通算)を教えてください。

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

質問1-4 お住まいの地区を教えてください。(下記「地区別町名一覧」をご参照ください)

1. 姫城 2. 妻ヶ丘 3. 小松原
4. 祝吉 5. 五十市 6. 横市
7. 沖水 8. 志和池 9. 庄内
10. 西岳 11. 中郷 12. 山之口
13. 高城 14. 山田 15. 高崎

【地区別町名一覧】

姫城地区	早鈴町、姫城町、甲斐元町、八幡町、松元町、牟田町、蔵原町、上町、中町、西町、下長飯町、都島町
妻ヶ丘地区	上東町、東町、天神町、中原町、上長飯町、一万城町、菖蒲原町、若葉町、妻ヶ丘町、花繰町、広原町
小松原地区	前田町、平江町、小松原町、北原町、大王町、宮丸町、志比田町、栄町
祝吉地区	千町、立野町、早水町、神之山町、年見町、上川東1～4丁目、下川東1～4丁目、郡元町、郡元1～4丁目、祝吉町、祝吉1～3丁目
五十市地区	今町、大岩田町、南鷹尾町、五十町、平塚町、久保原町、鷹尾1～5丁目
横市地区	横市町、南横市町、蓑原町、都原町
沖水地区	吉尾町、金田町、太郎坊町、高木町、都北町
志和池地区	上水流町、下水流町、岩満町、丸谷町、野々美谷町
庄内地区	乙房町、関之尾町、庄内町、菓子野町
西岳地区	美川町、高野町、吉之元町、御池町、夏尾町
中郷地区	梅北町、安久町、豊満町

● 市の取り組みについて

本市では、主に次のような施策や事業を行っています。

- | | | |
|----------------|--------------|------------------|
| 1. 農林畜産業の振興 | 2. 商工業の振興 | 3. 移住・定住の促進 |
| 4. 防災・消防対策 | 5. 防犯・交通安全対策 | 6. 保健・医療体制 |
| 7. 子ども・子育て支援 | 8. 福祉のまちづくり | 9. 健康づくり |
| 10. 学校教育の充実 | 11. 文化・芸術の振興 | 12. 生涯学習・社会教育の充実 |
| 13. 国際交流の推進 | 14. スポーツの推進 | 15. 市民協働のまちづくり |
| 16. 男女共同参画の推進 | 17. 人権の尊重 | 18. まちなかの活性化 |
| 19. 計画的な市街地整備 | 20. 中山間地域の振興 | 21. 住環境の維持 |
| 22. 上下水道の整備 | 23. 道路の整備 | 24. 市の対外的PRの推進 |
| 25. 観光の振興 | 26. 自然環境の保全 | 27. 脱炭素の推進 |
| 28. ごみ処理・リサイクル | 29. 広域連携の推進 | 30. 接遇の向上 |
| 31. デジタル化の推進 | 32. 広報広聴活動 | 33. 出会いの創出と婚活支援 |
| 34. 交通体系の確保 | | |

質問2-1 市が行っている施策や事業の中から、以前に比べて「良くなっているもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1～34)をご記入ください。

回答欄(1～34の中から3つまで選んで番号を記入してください)

2-1 良くなっているもの			
---------------	--	--	--

質問2-2 市が行っている施策や事業の中から「今後、もっと力を入れてほしいもの」を3つまで選んで、下記の回答欄に番号(1～34)をご記入ください。

回答欄(1～34の中から3つまで選んで番号を記入してください)

2-2 今後もっと力を入れてほしいもの			
---------------------	--	--	--

● 住みやすさについて

質問3-1 これからも都城市に住み続けたいですか。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 現在住んでいるところに住み続けたい | 2. 市内の別の地域に住みたい |
| 3. 市内には住みたくない | 4. わからない |

※質問3-1 で「1.現在住んでいるところに住み続けたい」と回答した方にお尋ねします

質問3-2 住み続けたいと答えた理由を教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 通勤や通学に便利だから | 2. 買い物や通院に便利だから |
| 3. 自然環境が良いから | 4. 文化や教育面の環境が良いから |
| 5. 住み慣れているから | 6. 自分の家があるから |
| 7. 親族が近くにいるから | 8. 近所付き合いなど人間関係が良いから |
| 9. 防災・防犯などの安心さから | 10. 特に理由はない |
| 11. その他() | |

※質問3-1 で「2.市内の別の地域に住みたい」「3.市内には住みたくない」と回答した方にお尋ねします

質問3-3 別の地域に住みたい、市内には住みたくないと答えた理由を教えてください。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 通勤や通学に不便だから | 2. 買い物や通院に不便だから |
| 3. 自然環境が良くないから | 4. 文化や教育面の環境が良くないから |
| 5. 騒音など住環境が良くないから | 6. 生まれ育った土地でないから |
| 7. 地代や家賃が高いから | 8. 近所付き合いなど人間関係が良くないから |
| 9. 防災・防犯などが不安だから | 10. 今の住居に不満があるから |
| 11. 都会に住みたいから | 12. 特に理由はない |
| 13. その他() | |

● あなたの考えや日頃の行動について

4 市の情報について

質問4 あなたは市の情報をどのような方法で得ていますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------|-------------|---------------|
| 1. 広報紙 | 2. 市のホームページ | 3. 市が発信する SNS |
| 4. 市役所窓口 | 5. 市のチラシ | 6. テレビやラジオ |
| 7. 新聞 | 8. その他() | |

5 日本のひなた宮崎 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について

質問5 令和9年に宮崎県で日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ(国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会)が開催されることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

※国民スポーツ大会 … 国民体育大会(国体)が令和6年の佐賀大会から名称変更されました
※都城市は、総合開会式、閉会式が開催されるメイン会場(霧島酒造スポーツランド都城)となります。
開催される正式競技は、国スポ(陸上競技、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス)、障スポ(陸上競技、バレーボール、ボッチャ)です

6 霧島酒造スポーツランド都城について

質問6 令和7年4月、霧島酒造スポーツランド都城がオープンしました。今後、どのような行事が行われることを期待しますか。(最も当てはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. プロスポーツのキャンプ | 2. プロスポーツの公式戦や全国規模のスポーツ大会 |
| 3. 音楽フェス、コンサートなどのイベント | 4. その他() |

7 スポーツについて

質問7 あなたは、健康や楽しみなどのために、運動・スポーツ(体操やウォーキングなどを含む)を行っていますか。

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 週に3日以上 | 2. 週に1~2日程度 | 3. 月に1~3日程度 |
| 4. 3カ月に1~2日程度 | 5. 年に1~3日程度 | 6. 全くしていない |

8 国際交流について

質問8-1 外国の方を身近に感じますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 身近に感じる | 2. 身近に感じない |
|-----------|------------|

質問8-2 都城市が、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市の提携を行っていることを知っていますか。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 両都市との提携を知っている | 2. 重慶市江津区との提携は知っている |
| 3. ウランバートル市との提携は知っている | 4. どちらの提携も知らない |

9 男女共同参画について

質問9-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような性別によって役割を固定する考え方についてどう思いますか。

- | | | |
|-------|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 |
| 4. 反対 | 5. わからない | |

質問9-2 「社会(政治や職場など)において、男女の地位は平等」だと思いませんか。

- | | | |
|--------|---------------|----------------|
| 1. 平等 | 2. どちらかといえば平等 | 3. どちらかといえば不平等 |
| 4. 不平等 | 5. わからない | |

10 環境問題について

質問10-1 野生生物や希少な動植物の減少または絶滅が環境問題となっています。市内に生息していると知っている希少な動植物は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. ハッチョウトンボ | 2. サクラソウ | 3. コマツカサススキ |
| 4. オオヨドシマドジョウ | 5. ニホンイシガメ | 6. 知らない |

質問10-2 外来生物による生態系への影響が環境問題となっています。市内に生息していると知っている外来生物は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|--------------|--------------------|--------------|
| 1. コウライオヤニラミ | 2. セイタカアワダチソウ | 3. メリケントキンソウ |
| 4. ホテイアオイ | 5. アカミミガメ(通称ミドリガメ) | 6. 知らない |

質問10-3 温室効果ガスの影響が環境問題となっています。節電や節水など家庭でカーボンニュートラルに関する取り組みを行っていますか。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組んでいない | 3. わからない |
|------------|-------------|----------|

※カーボンニュートラルとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引き、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。
節電や省エネもカーボンニュートラルの取り組みの一つです

13 市の対外的PRについて

質問13 今後、市が対外的PRを推進する上で、どのようなものが効果的だと思いますか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. テレビやラジオなどのメディアでのPR | 2. インターネットやホームページ、SNSの活用 |
| 3. チラシ・新聞・雑誌への掲載 | 4. 市外でのイベント開催 |
| 5. 市外での看板などの設置 | 6. PRグッズの作成、販売 |
| 7. 航空機・電車などの公共交通機関を活用したPR | 8. 自動車でのご当地ナンバー（「都城」ナンバー）の導入 |

14 ふるさと納税について

質問14 ふるさと納税でいただいた寄附金がどのように使われているかを知っていますか。

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. 知っている | 2. ある程度知っている | 3. 知らない |
|----------|--------------|---------|

15 中心市街地中核施設「Mallmall（まるまる）」について

質問15-1 中心市街地中核施設「Mallmall」が整備されて、中心市街地が活性化してきていると思いますか。

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあ、そう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | 6. わからない |

質問15-2 中心市街地中核施設「Mallmall」のどの施設を利用したことがありますか。

(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 図書館 | 2. 未来創造ステーション | 3. まちなか広場 |
| 4. まちなか交流センター | 5. 保健センター | 6. ぷれぴか |
| 7. 全て利用したことがない | | |

※「6. ぷれぴか」とは、子育て世代活動支援センターのことです

※質問15-2で「7. 全て利用したことがない」と答えた方にお尋ねします

質問15-3 利用したことがない理由は何ですか。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 施設の中身がわからない | 2. 特に用事(目的)がない | 3. 行きたい施設がない |
| 4. 交通手段がない | 5. 時間が合わない | 6. その他() |

※質問15-2で中心市街地中核施設「Mallmall」を利用したことがある方へお尋ねします

質問15-4 施設利用の前後で、周辺商店街等を利用したことがありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

16 都城市物価高騰対策！暮らし応援券について

質問16-1 令和6年度の「都城市物価高騰対策！暮らし応援券」は主に何に利用しましたか。
(最も当てはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------|---------|-------|
| 1.食料品 | 2.日用品 | 3.衣料品 |
| 4.ガソリン・灯油 | 5.家具・家電 | 6.外食 |
| 7.その他() | | |

質問16-2 暮らし応援券によって買い物等の出費はどう変化しましたか。

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1.増えた | 2.減った | 3.変わらない |
|-------|-------|---------|

※質問16-2 で「1.増えた」と回答した方へお尋ねします

質問16-3 主にどのような理由で出費が増えましたか。(最も当てはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1.買い物の量や頻度が増えた | 2.普段は買わない高価なものを買った |
| 3.外食や娯楽への出費が増えた | 4.普段は利用しない店舗を利用した |
| 5.その他() | |

17 福祉の充実について

質問17-1 福祉に関する困りごとについて気軽に相談でき、安心して暮らせるまちだと思いますか。

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1.そう思う | 2.まあ、そう思う | 3.あまりそう思わない |
| 4.そう思わない | | |

質問17-2 日常生活の中で地域住民が支え合い、誰もが地域の活動等の社会参加をすることができるまちだと思いますか。

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1.そう思う | 2.まあ、そう思う | 3.あまりそう思わない |
| 4.そう思わない | | |

18 子育てについて

質問18 子育てしやすい、または子育てに優しいまちだと思いますか。

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1.そう思う | 2.まあ、そう思う | 3.あまりそう思わない |
| 4.そう思わない | | |

19 心の健康について

質問19-1 自殺で亡くなった人は、うつ病の人が多くと言われています。憂うつ、気分が重い、好きなこともやりたくないなどの「うつ病のサイン」を知っていますか。

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1.よく知っている | 2.少しは知っている | 3.知らない |
|-----------|------------|--------|

質問19-2 こころの悩みの相談先として知っている窓口はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| 1. 精神科・心療内科病院 | 2. 1. 以外の医療機関 | 3. 保健所 |
| 4. 県精神保健福祉センター | 5. 市役所 | 6. こころの電話相談 |
| 7. 自殺防止電話相談 | 8. 知らない | 9. その他() |

20 道路について

質問20 日頃利用している道路で、渋滞しているなど、不便と感じる交差点や道路がありますか。
具体的な場所や内容があれば教えてください。

1. ある
(具体的な場所)

※具体的な場所の記載例：〇〇店南側の交差点が渋滞

2. ない

21 都城教育の日について

質問21 市では、一人一人が学びについて考え、教育への理解と関心を高める原点の日として、毎年2月18日を「都城教育の日」に制定していることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

22 家庭の日について

質問22-1 宮崎県では青少年の健全な育成に関し、家庭の果たす役割についての理解を深めるため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めていることを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

※質問22-1 で「1. 知っている」と回答した方へお尋ねします

質問22-2 「家庭の日」を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるもの全てに○)

- | | | |
|----------------|----------------------|-------------|
| 1. 広報紙 | 2. 掲示物(ポスター・チラシ・旗など) | 3. 学校からの配布物 |
| 4. 市内文化施設の無料開放 | 5. 家族・知人・友人から聞いた | 6. その他() |

23 文化財について

質問23-1 あなたが興味のある文化財は何ですか。(最も当てはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1.有形文化財(仏像、美術工芸品など) | 2.無形文化財(酒造り、弓づくりなどの技術) |
| 3.民族文化財(伝統芸能、農具、衣服など) | 4.記念物(古墳、城跡、庭園、山岳、動植物など) |
| 5.文化的景観(里山、用水路など) | 6.伝統建造物群(武家屋敷群、農村など) |
| 7.文化財に興味がない | |

質問23-2 あなたは、文化財を地域の宝として次世代に伝えていくことについて重要だと思いますか。

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 1.そう思う | 2.まあ、そう思う | 3.あまりそう思わない |
| 4.そう思わない | | |

24 市議会活動について

質問24-1 現在、市議会が議会力向上に向けた活動(政策提言協議会活動)に取り組んでいることを知っていますか。

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 1.よく知っている | 2.知っている | 3.知らない |
|-----------|---------|--------|

※政策提言協議会とは、市民の暮らしをより良くするため、市の課題について議員が自由に意見を出し合い、具体的な政策を提案する場です

質問24-2 今後、議会の活動で期待する活動は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1.市の政策のチェック機能強化 | 2.政策立案(提案)機能の推進 |
| 3.広聴活動(意見交換会の開催) | 4.広報活動(議会報告会の開催) |
| 5.その他() | |

25 市政に関するご意見・ご要望について

市政に関するご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。



以上で、アンケートは終了です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

💡 回答された希望者の中から抽選で 10 名様に地場産品をプレゼント 💡

アンケートに回答いただいた方のうち、希望者に、抽選で10名様に地場産品をプレゼントいたします。

プレゼントの抽選を希望される方は、次の項目に氏名・住所・電話番号をご記入ください。

なお、当選の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

【プレゼント応募希望者】

氏 名	
住 所	
電話番号	

※プレゼントを希望されない方は、氏名・住所・電話番号の記入は必要ありません

【問い合わせ先】

〒885-8555

都城市姫城町6街区21号

都城市役所 秘書広報課 広聴担当

直通電話：0986-23-3174

メー ル： kocho@city.miyakonojo.miyazaki.jp